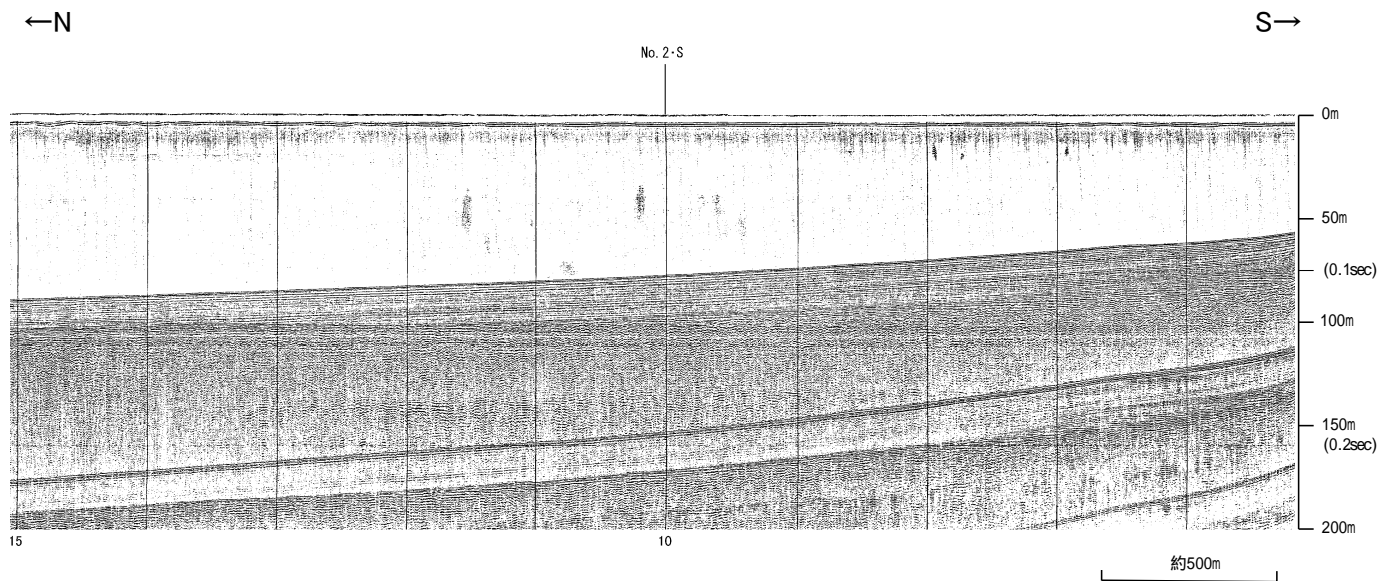
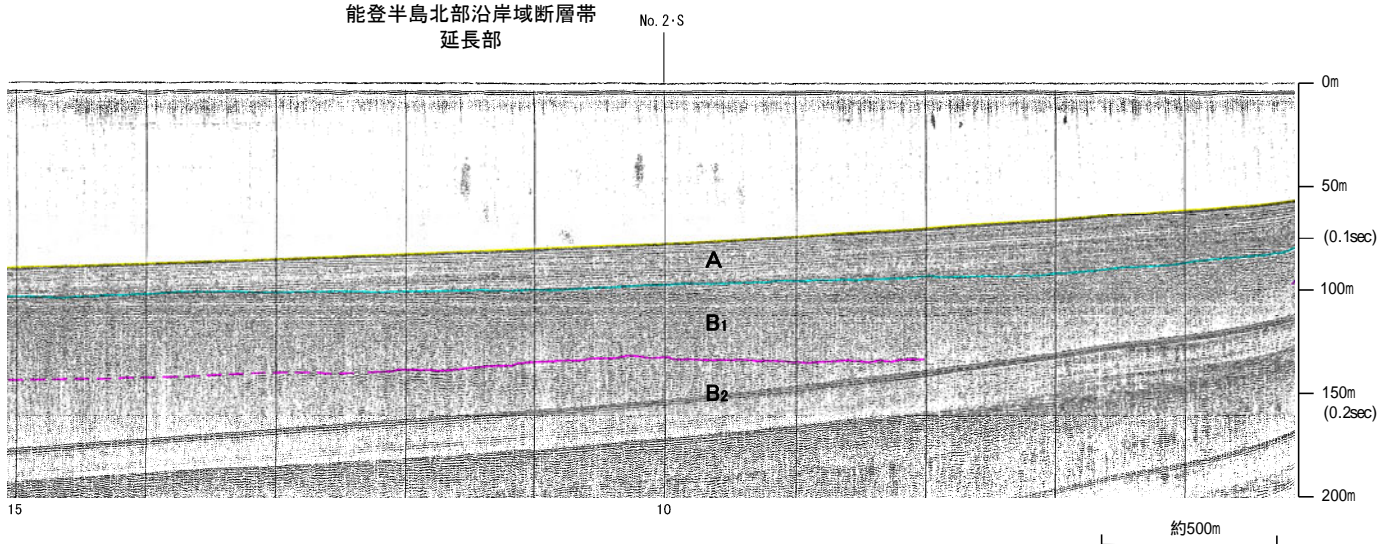


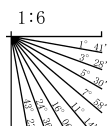
# 北陸電カスパーカー No.108-1・S



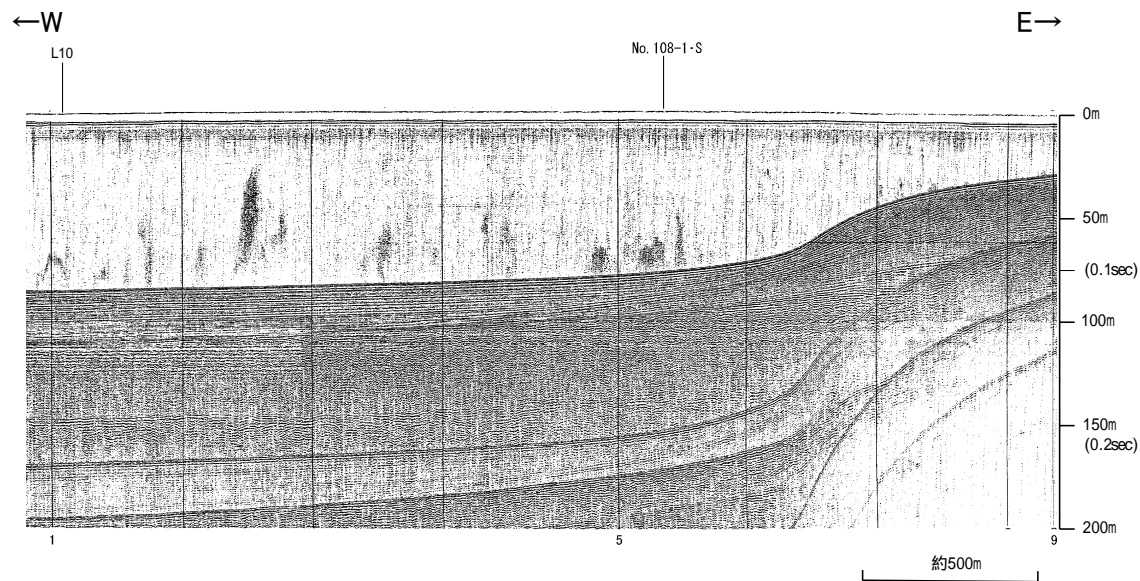
能登半島北部沿岸域断層帯  
延長部



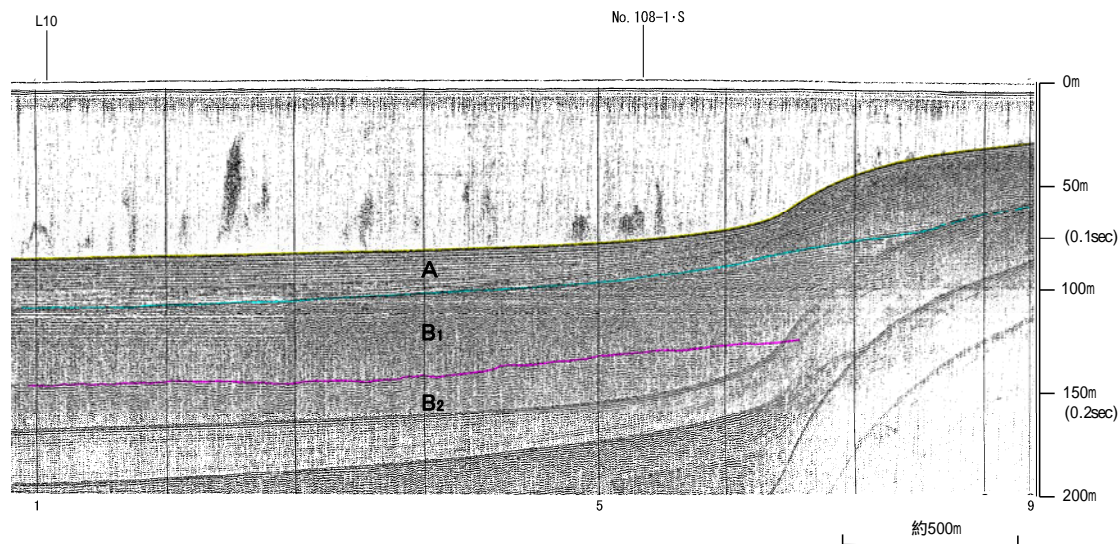
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B層
		B <sub>2</sub> 層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
		D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



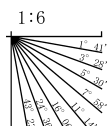
# 北陸電カスパーカー No.2・S



能登半島北部沿岸域断層帯  
延長部



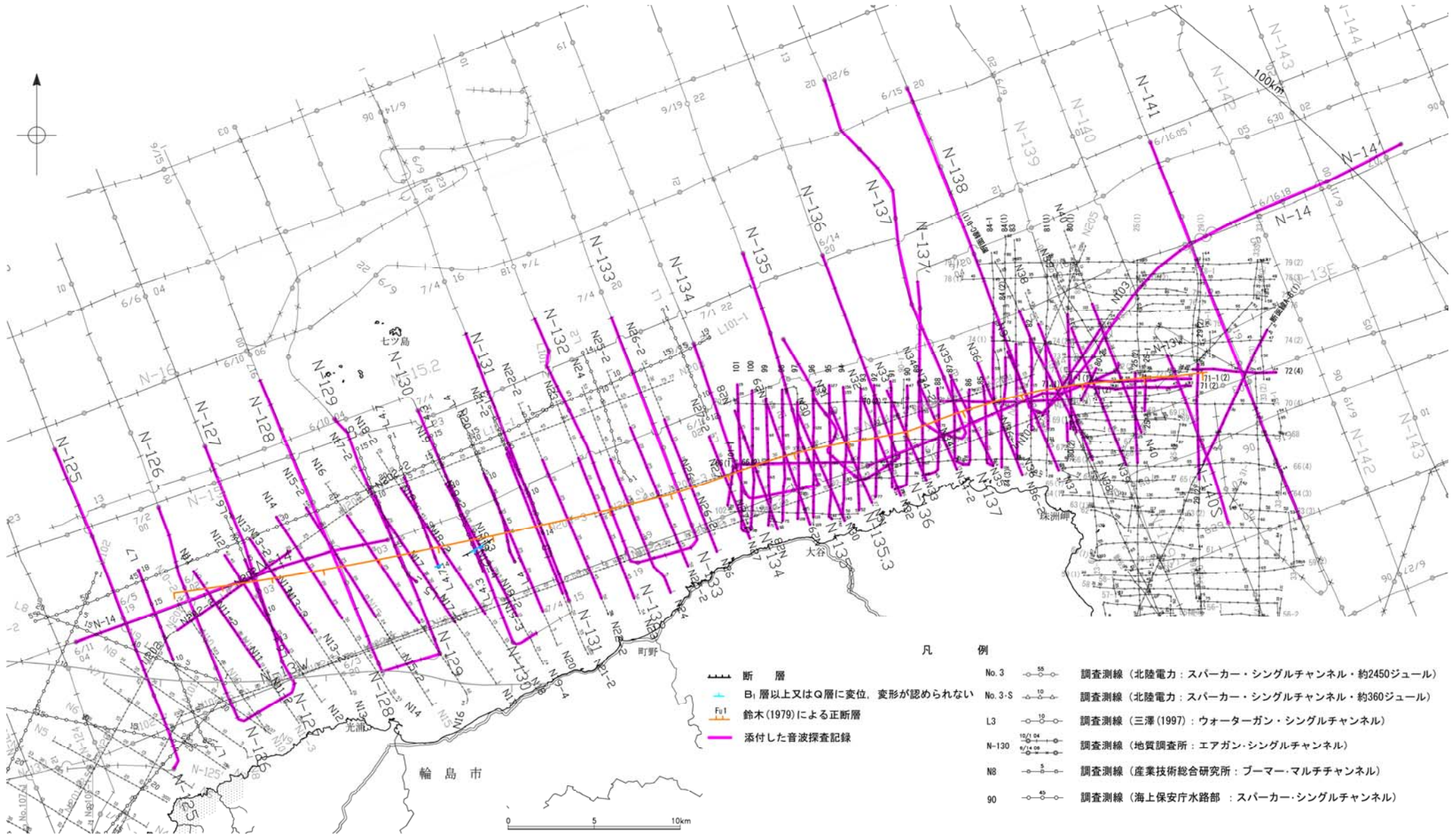
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
	前期	B <sub>4</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D <sub>1</sub> 層
先第三紀		D <sub>2</sub> 層



---

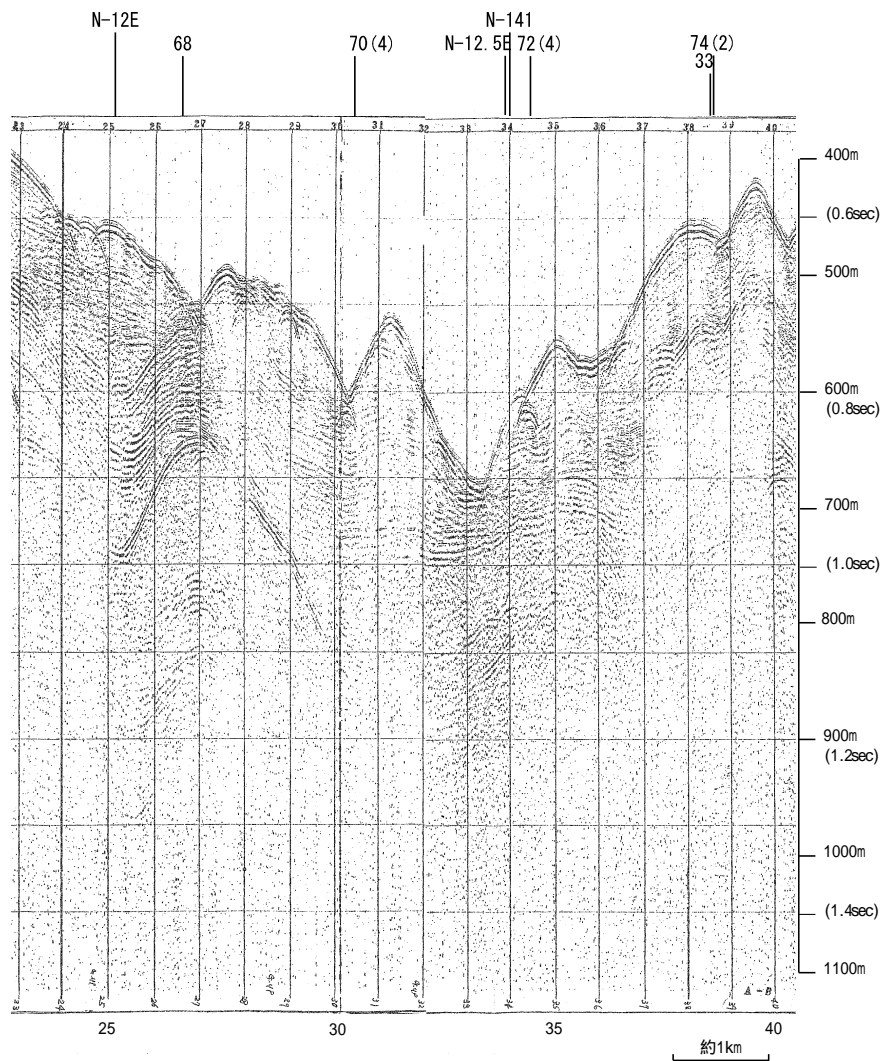
$F_U1$

# 音波探査記録 添付測線(F<sub>U</sub>1)

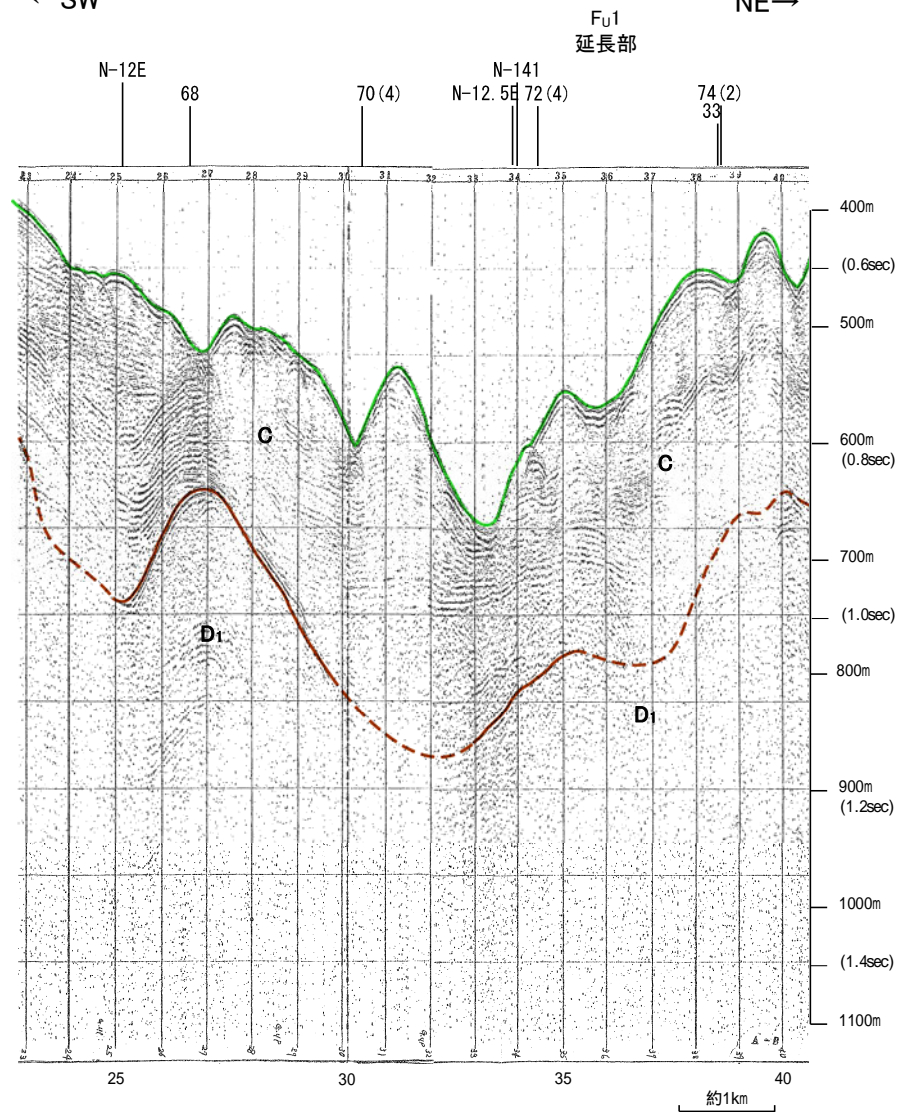


# 海上保安庁スパーカー 断面線A-B(1)

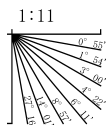
←SW NE→



←SW NE→

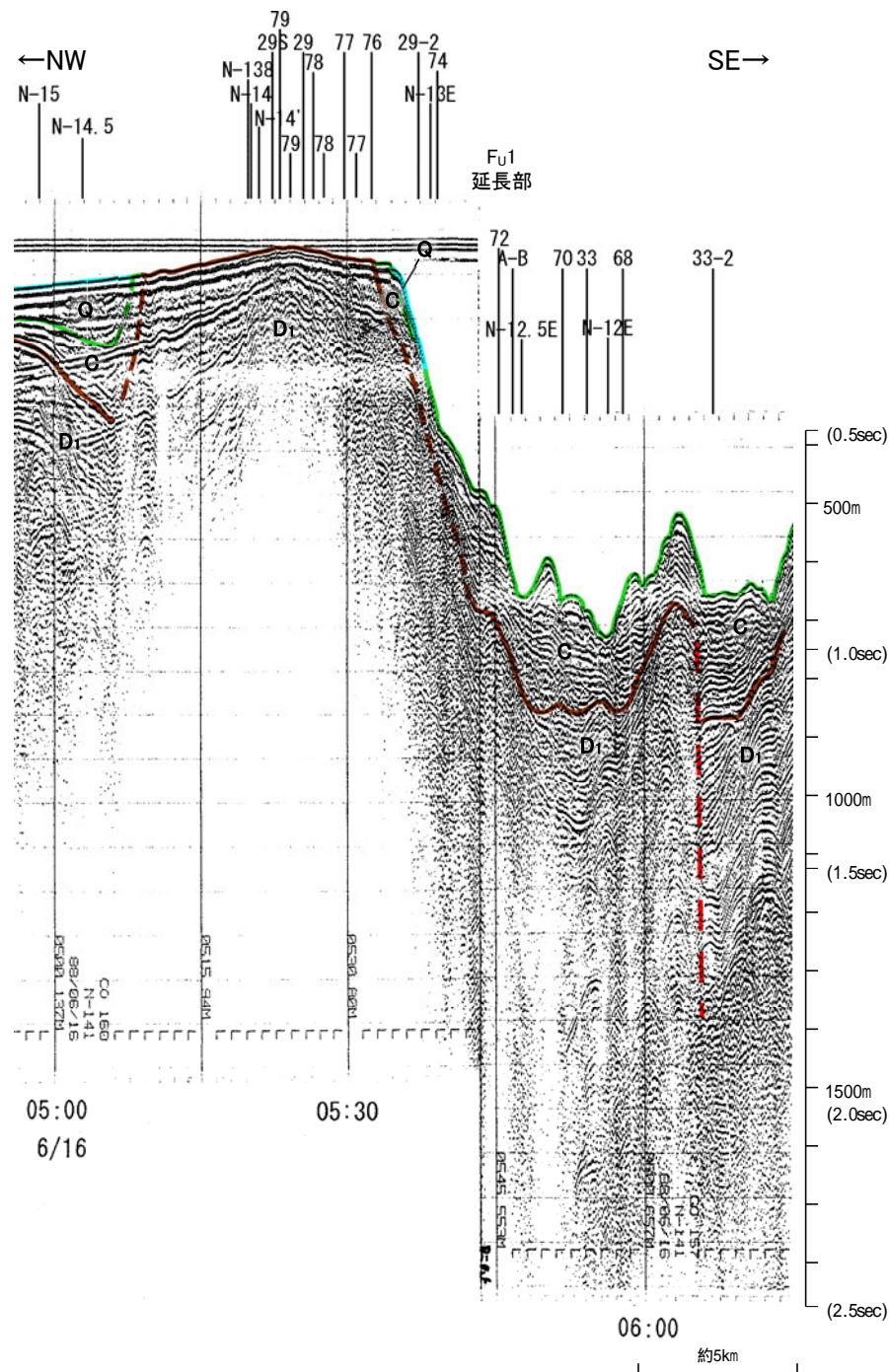
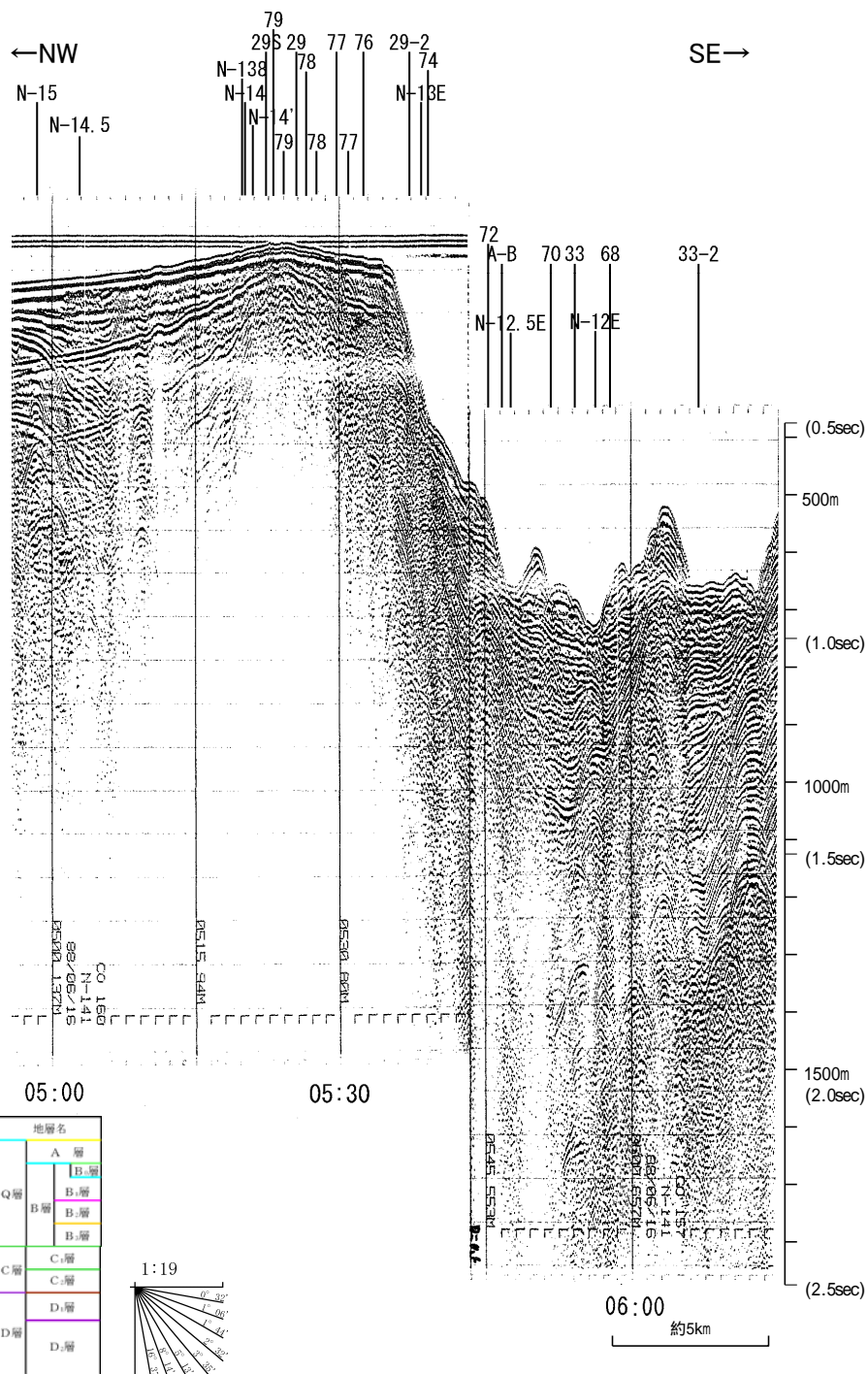


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層



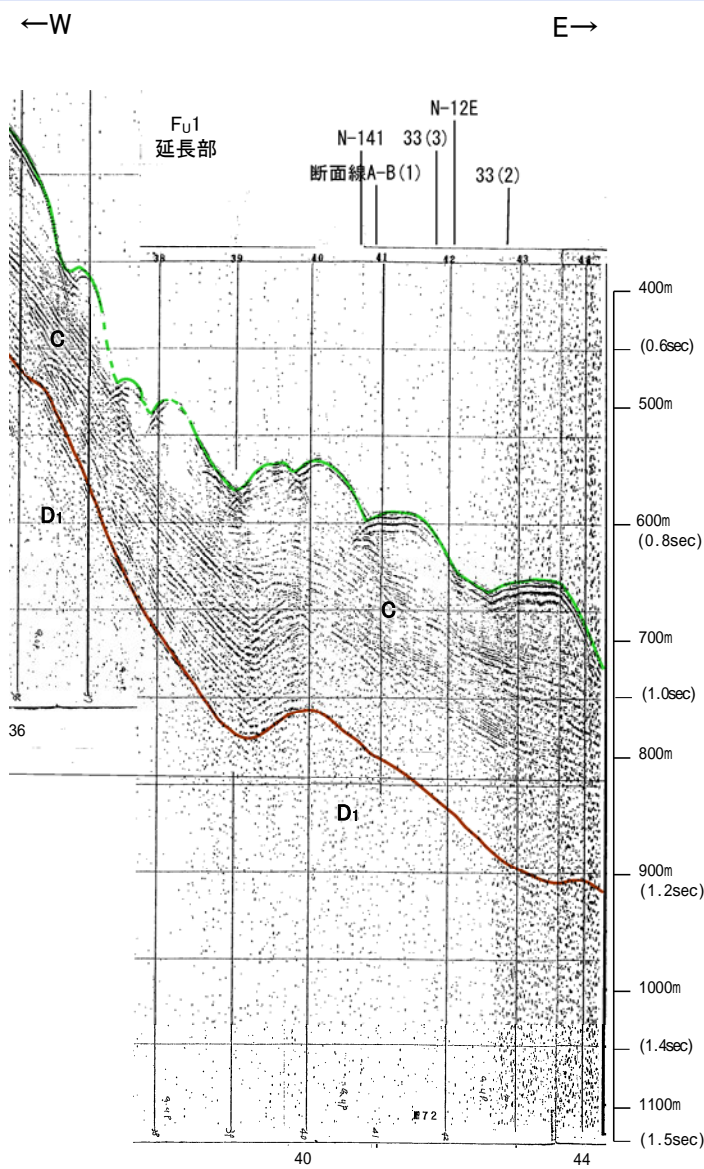
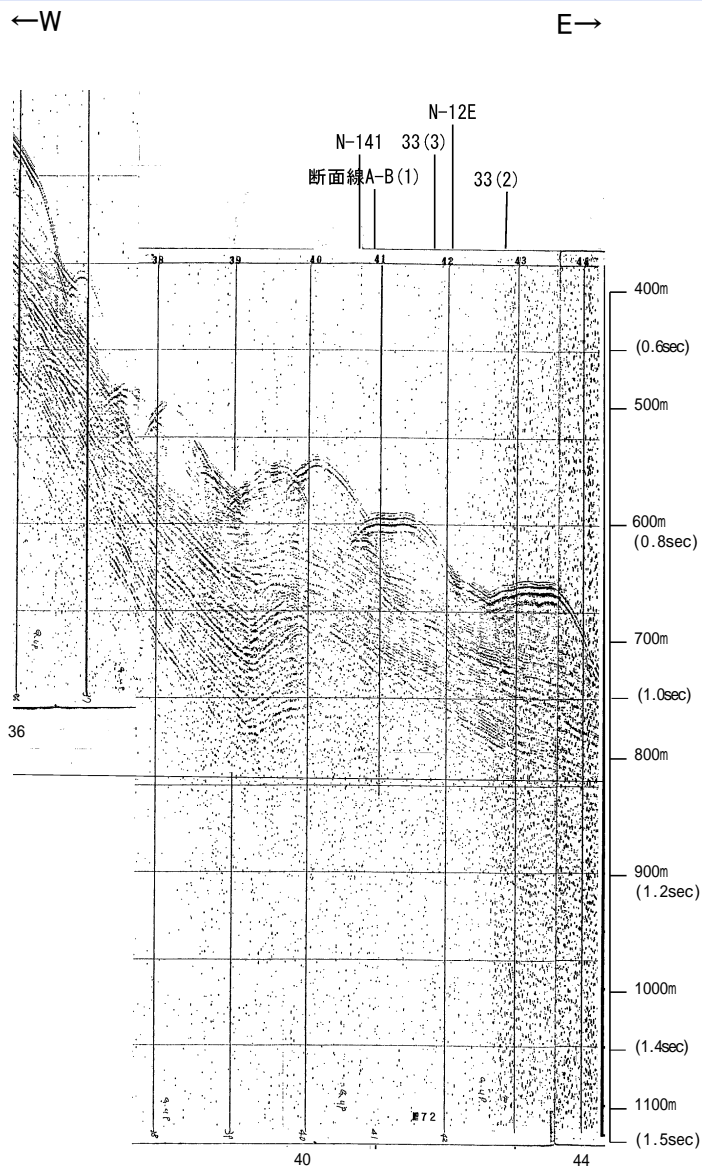
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-141

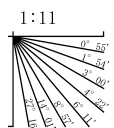


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 72(4)

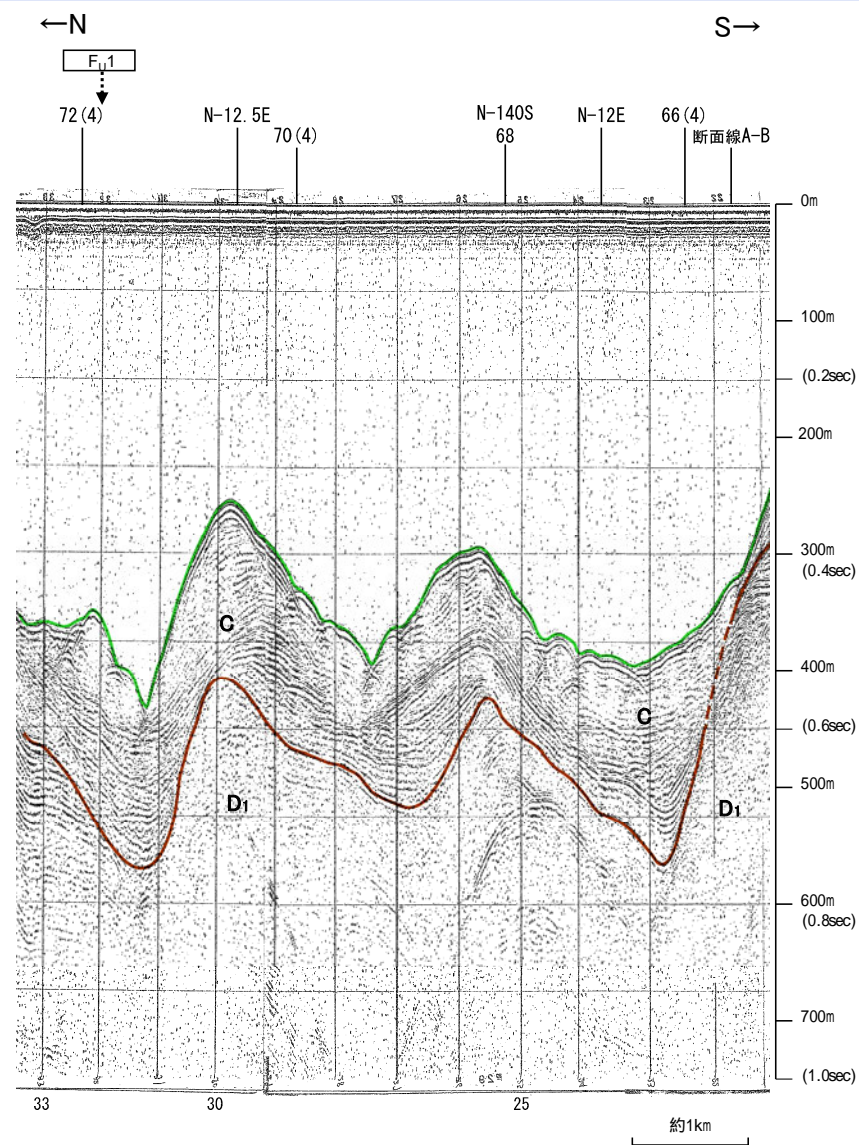
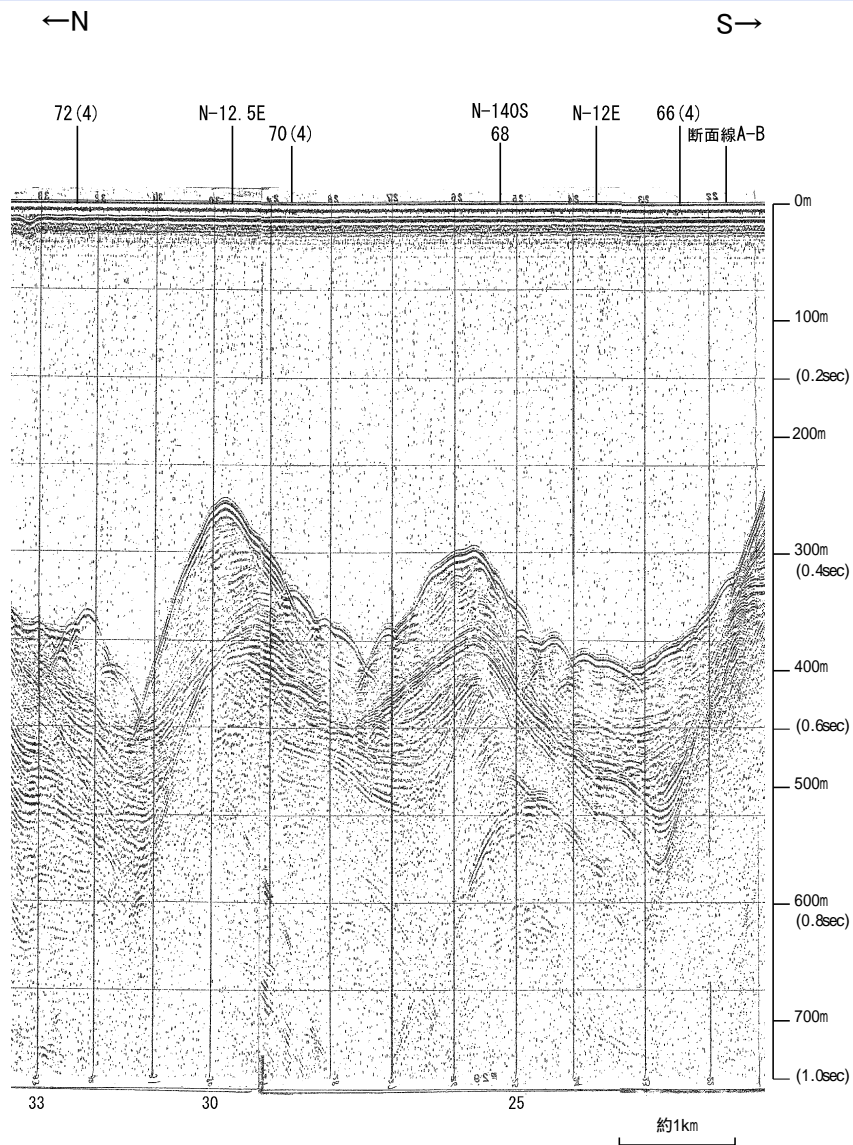


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
	前期	C層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
先第三紀		D層

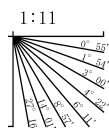


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 29(2)



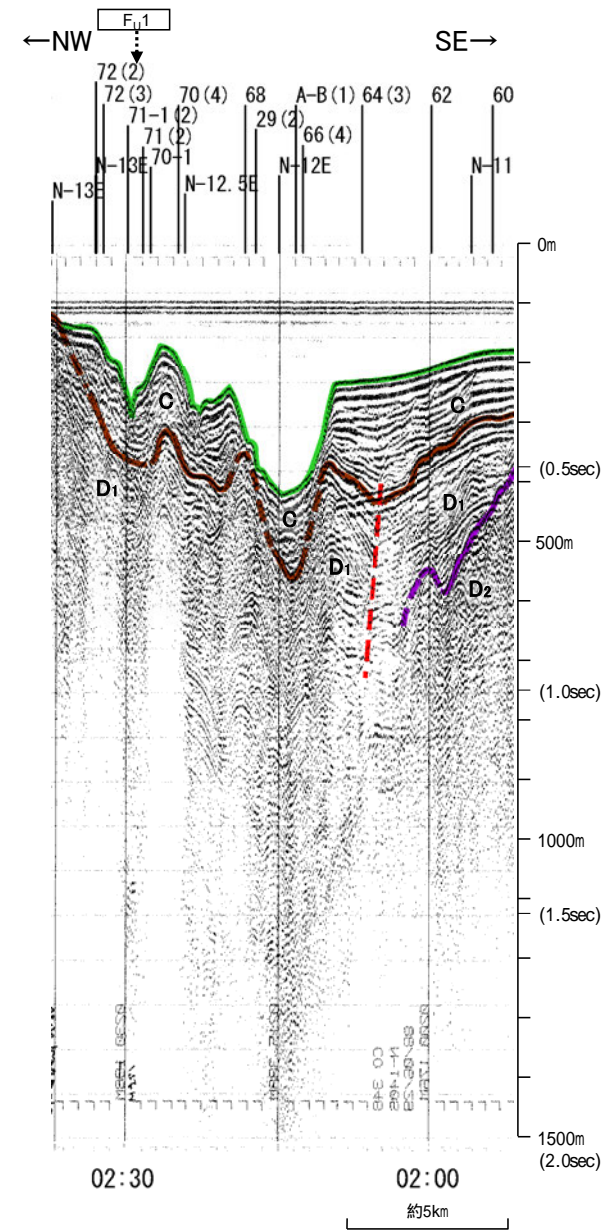
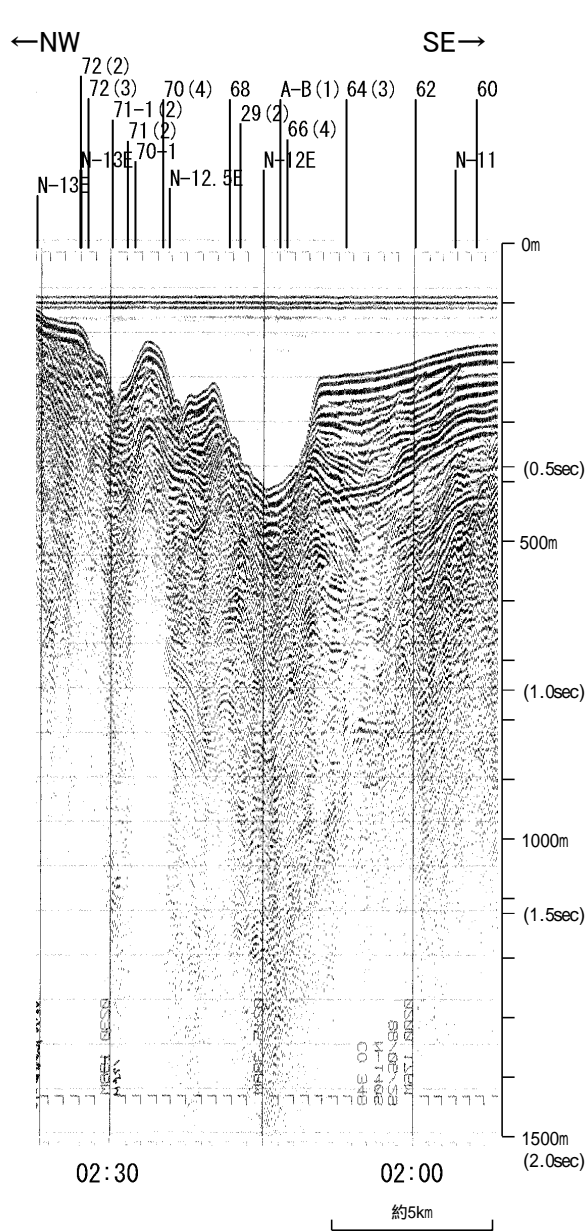
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
		B <sub>4</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層



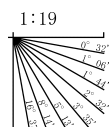
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



# 地質調査所エアガン N-140S



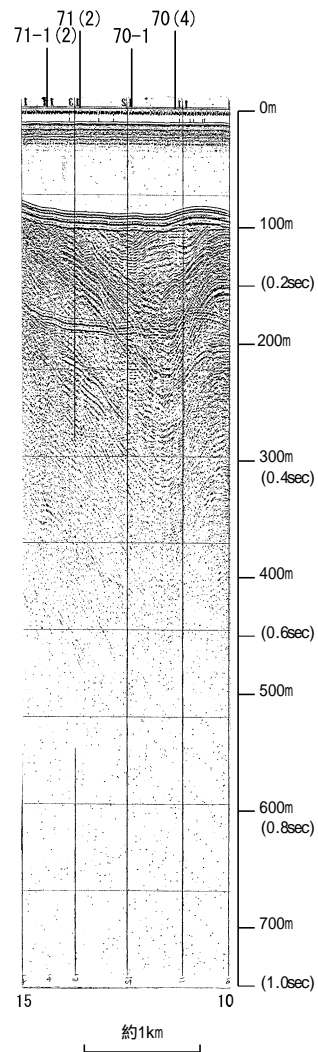
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	Q層	A層
	後期		B <sub>1</sub> 層
	中期	B層	
	前期	B <sub>2</sub> 層	
第三紀	新第三紀	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層



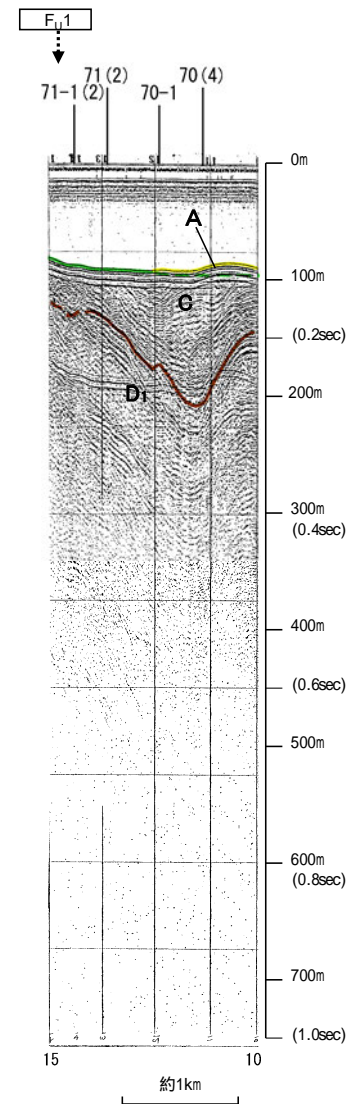
・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 25-1

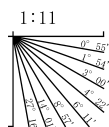
←N S→



←N S→

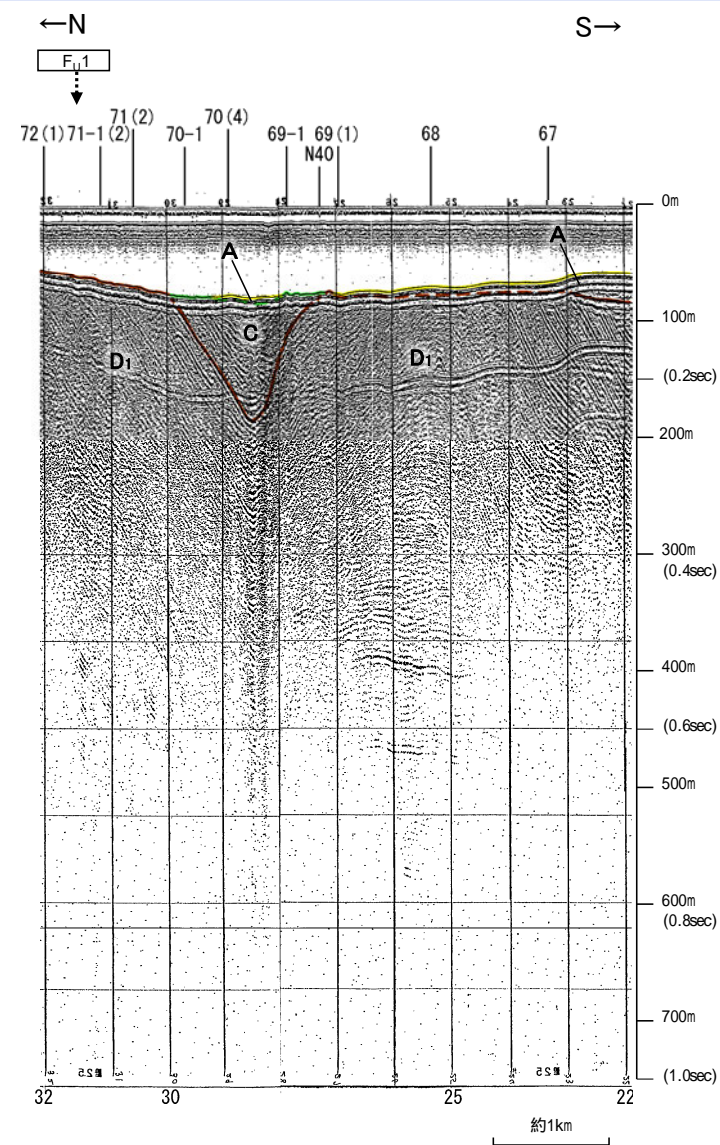
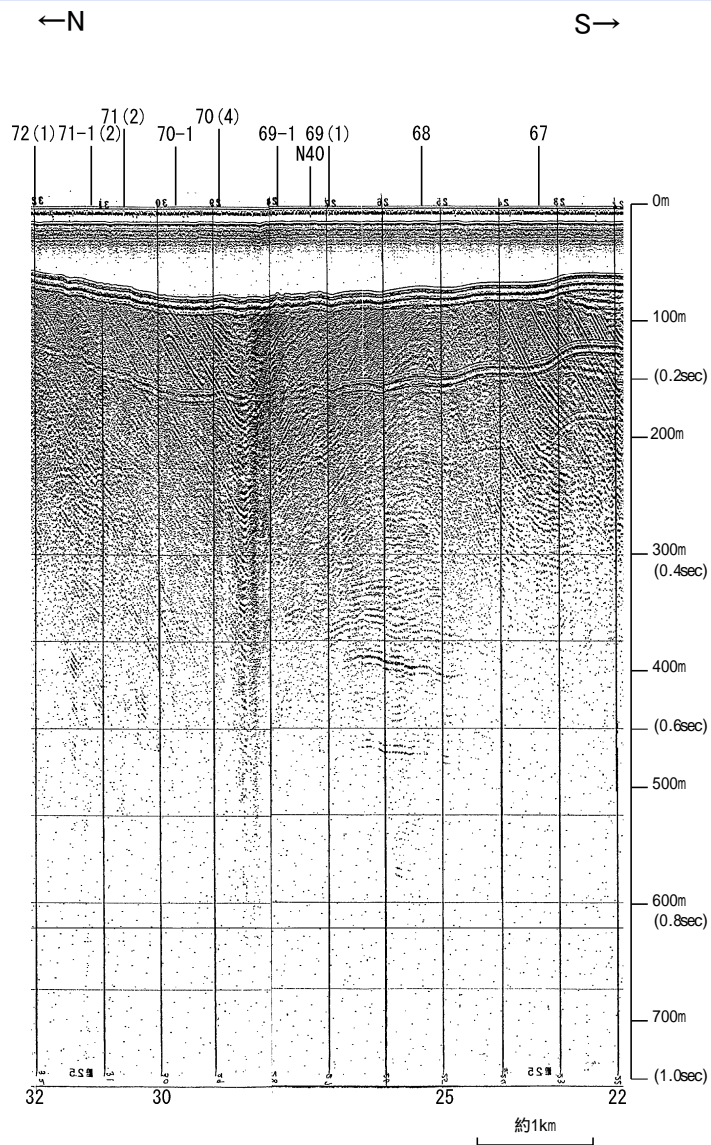


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
		B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
先第三紀		D層

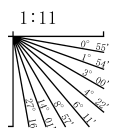


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 25(2)



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
	先第三紀	D層

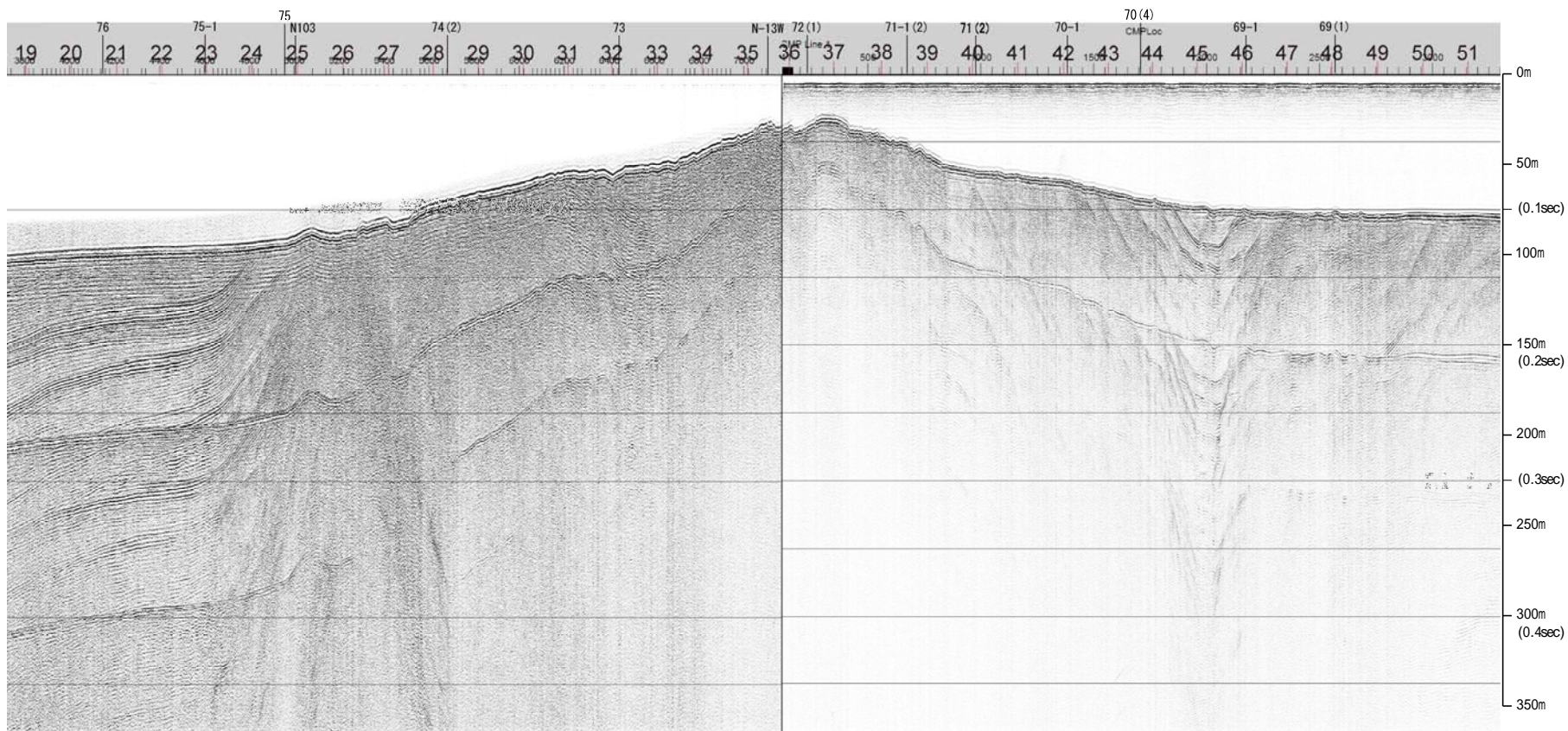


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

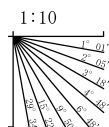
# 産総研ブーマー N40

←NNW

SSE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
		B層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀		D層



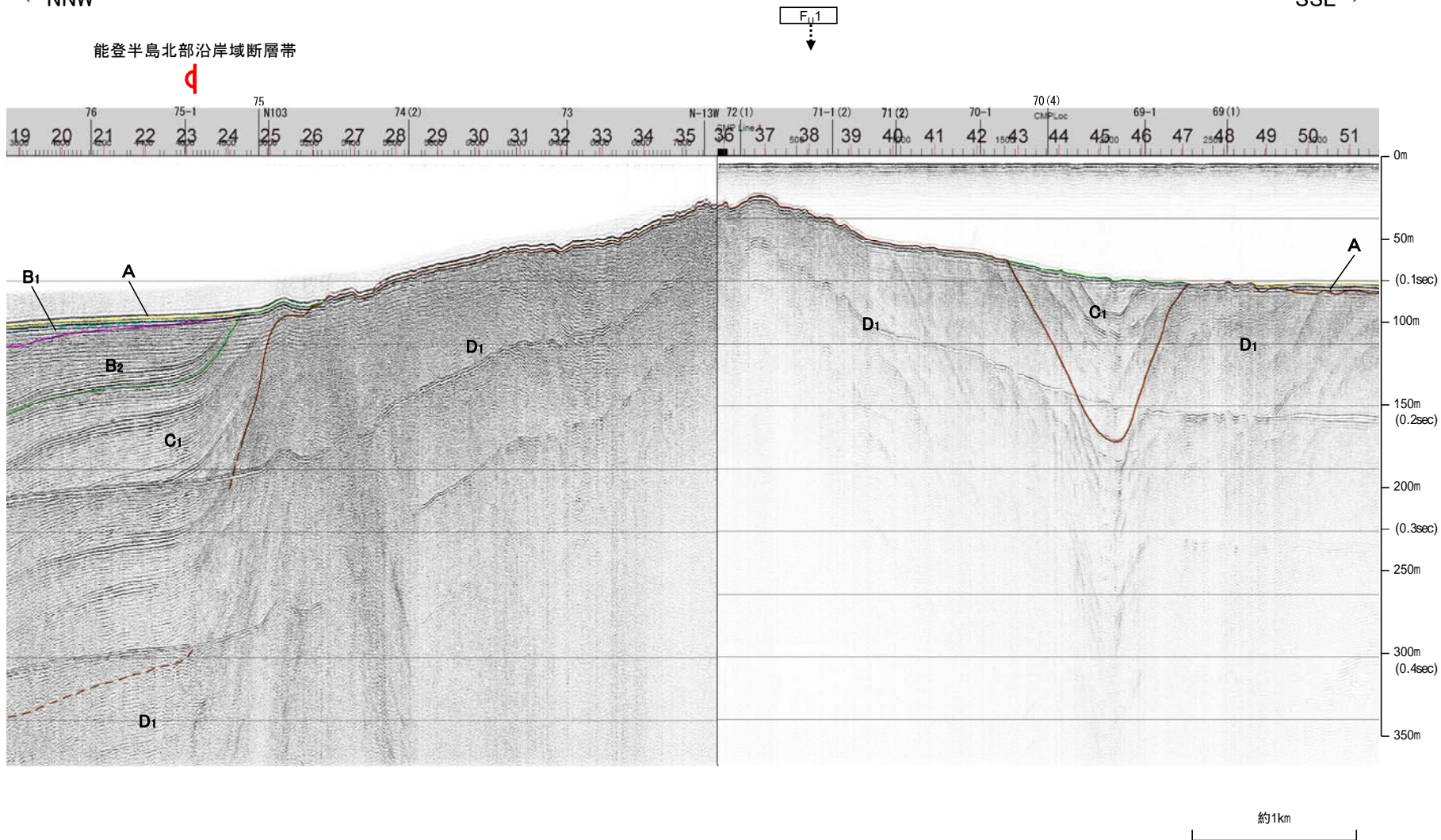
約1km

# 産総研ブーマー N40

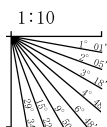
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

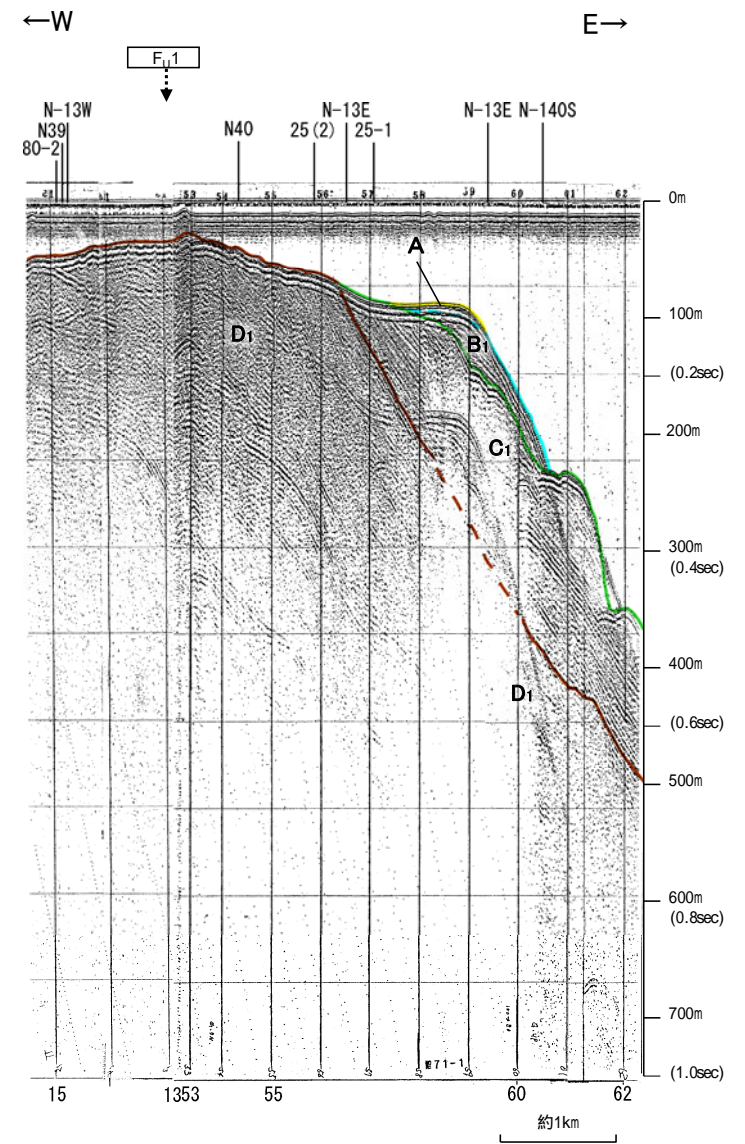
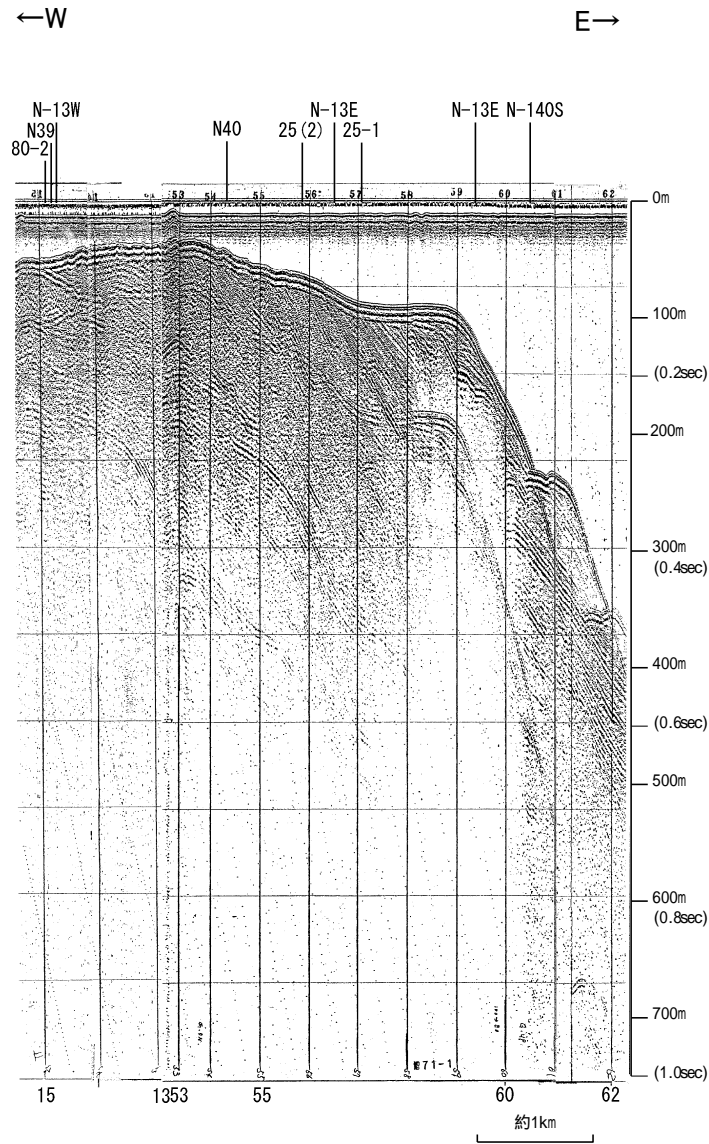


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		前期	B <sub>1</sub> 層
	中世	前期	B <sub>2</sub> 層
		後期	B <sub>1</sub> 層
第三紀	新第三紀	鮮新世	C <sub>1</sub> 層
		中新世	C <sub>2</sub> 層
	古第三紀		D <sub>1</sub> 層
		先第三紀	D <sub>2</sub> 層

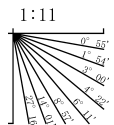


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 71-1(1),71-1(2)



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B層
		B <sub>2</sub> 層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>2</sub> 層
先第三紀	D <sub>3</sub> 層	

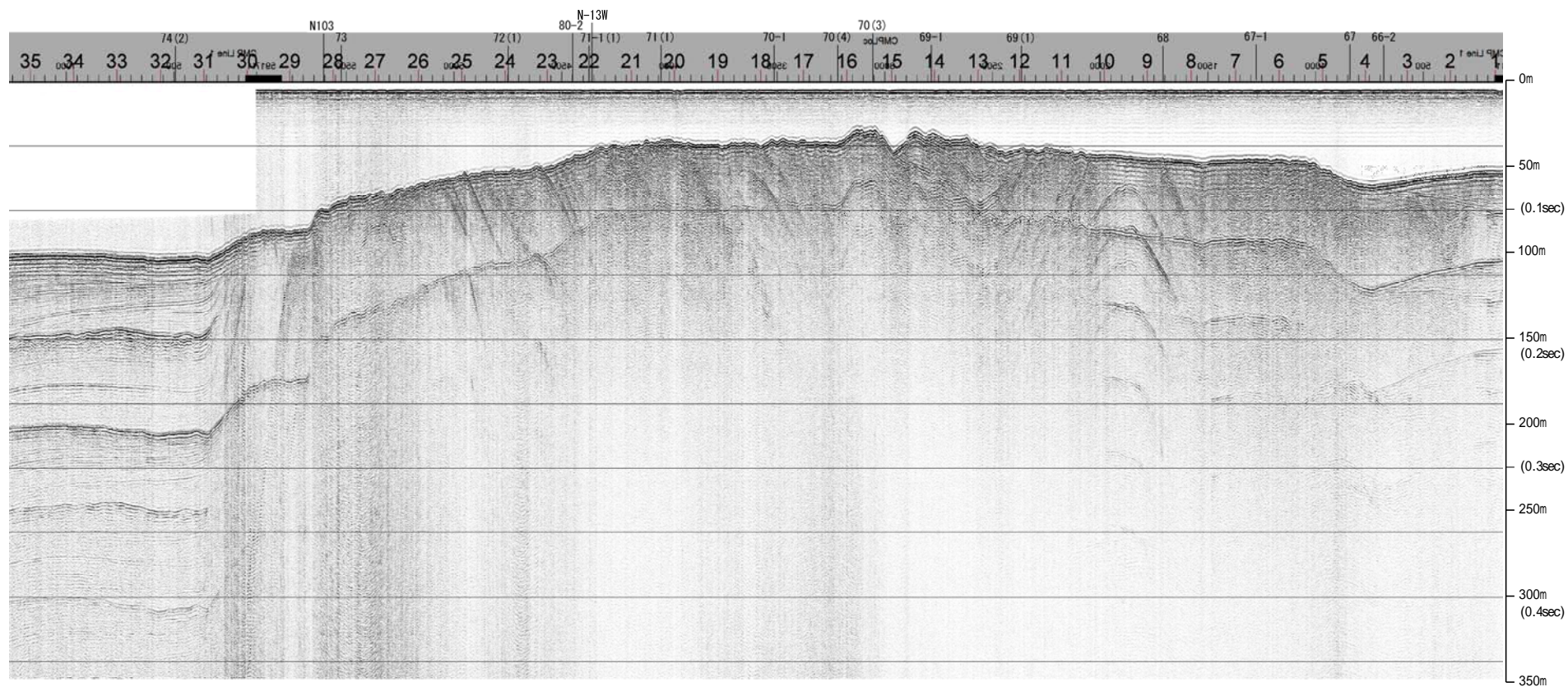


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 産総研ブーマー N39

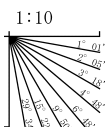
←NNW

SSE→



約1km

地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
	先第三紀	D層

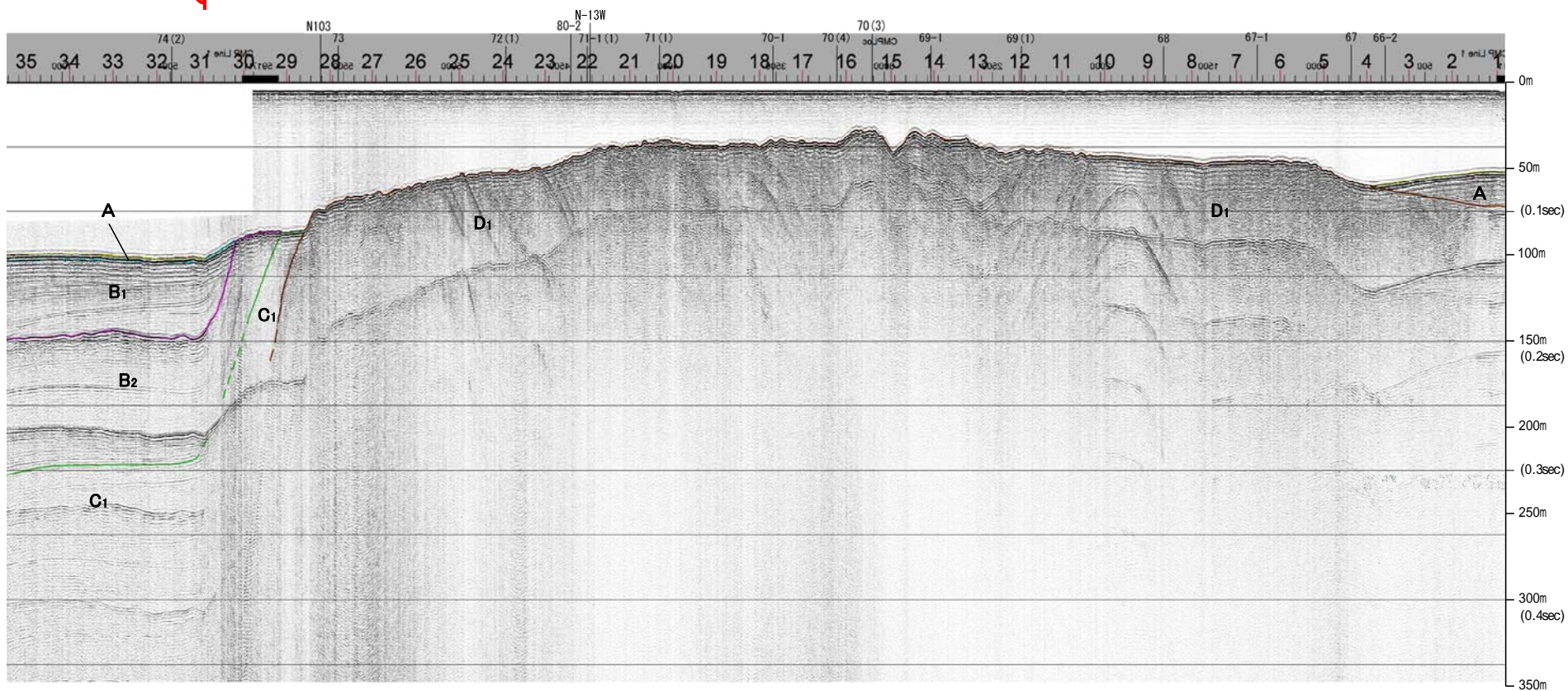


# 産総研ブーマー N39

←NNW

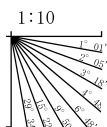
SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯



約1km

地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	C <sub>1</sub> 層
第三紀	中新世	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>2</sub> 層
先第三紀		

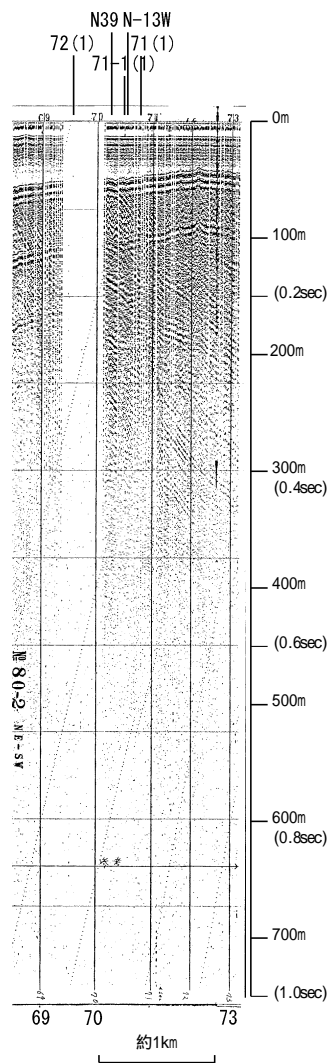


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

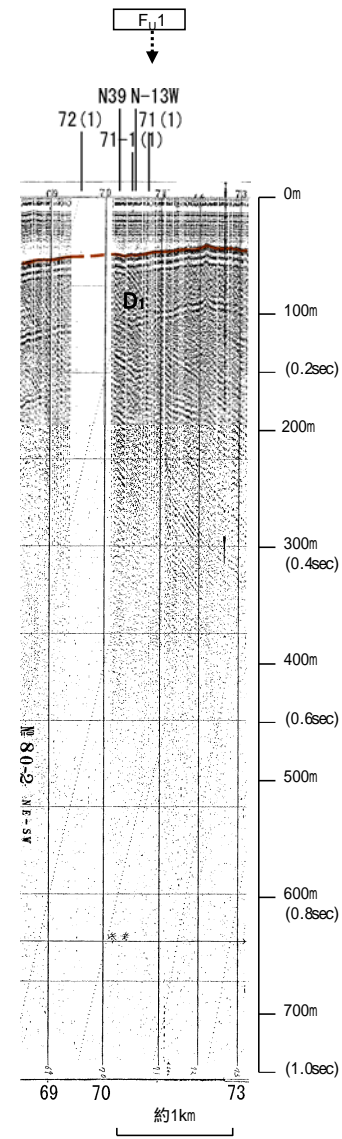


# 海上保安庁スパーカー 80-2

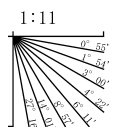
←NE SW→



←NE SW→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		中期	B層
	前期	B層	B層
		B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層



・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

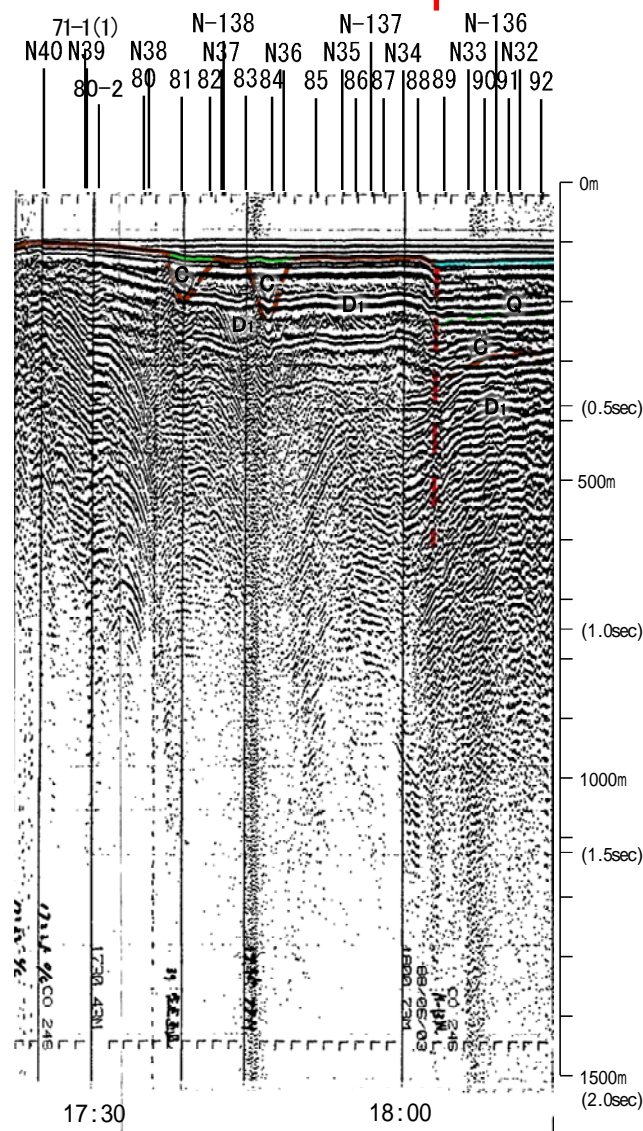
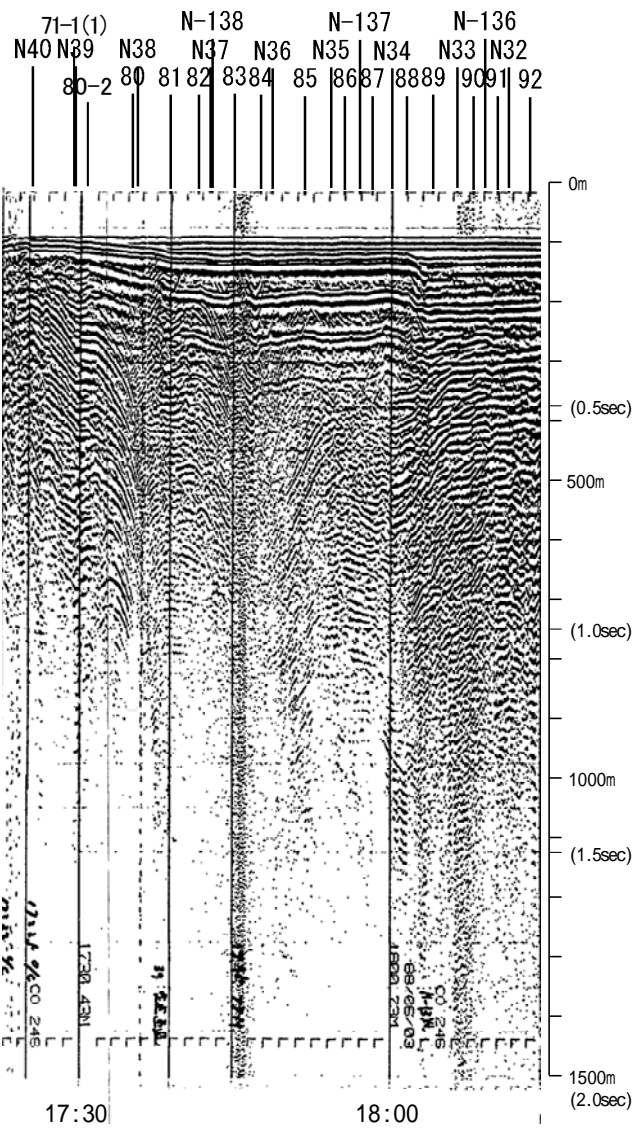
# 地質調査所エアガン N-13W

←NE SW→

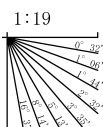
←NE SW→

F<sub>v</sub>1

能登半島北部沿岸域断層帯

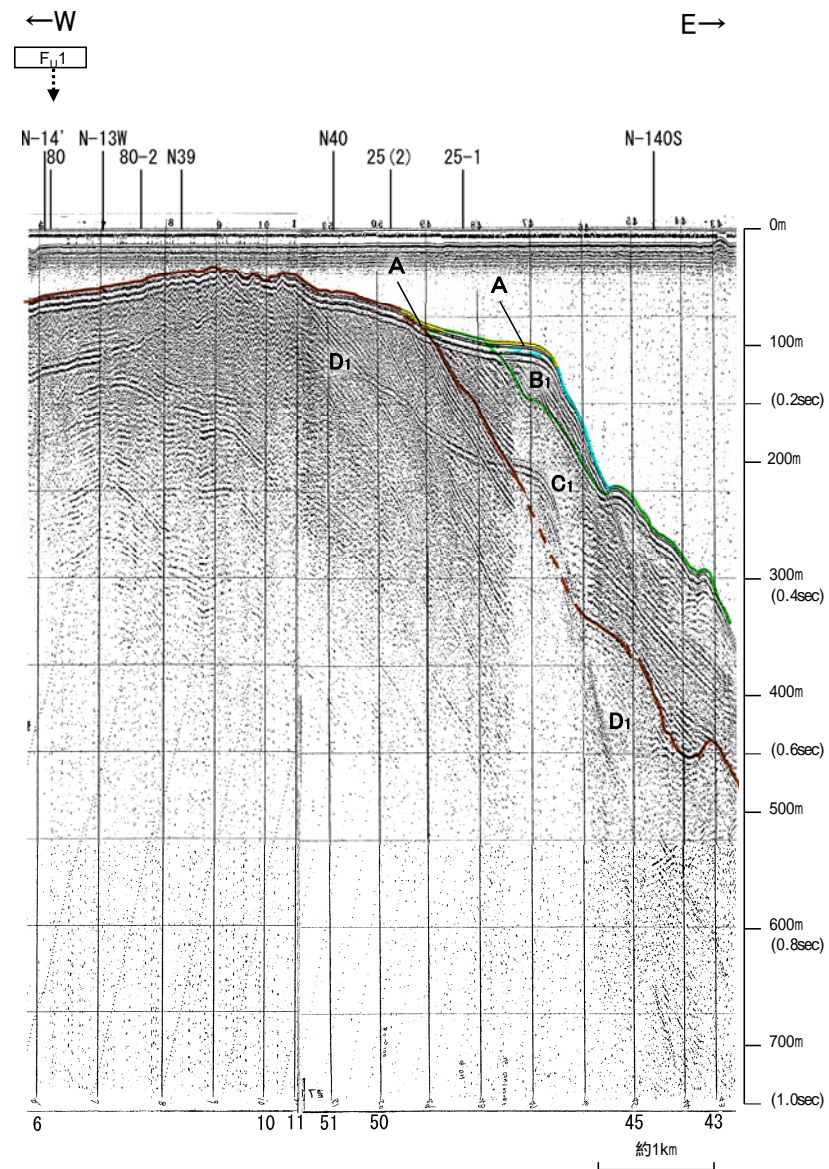
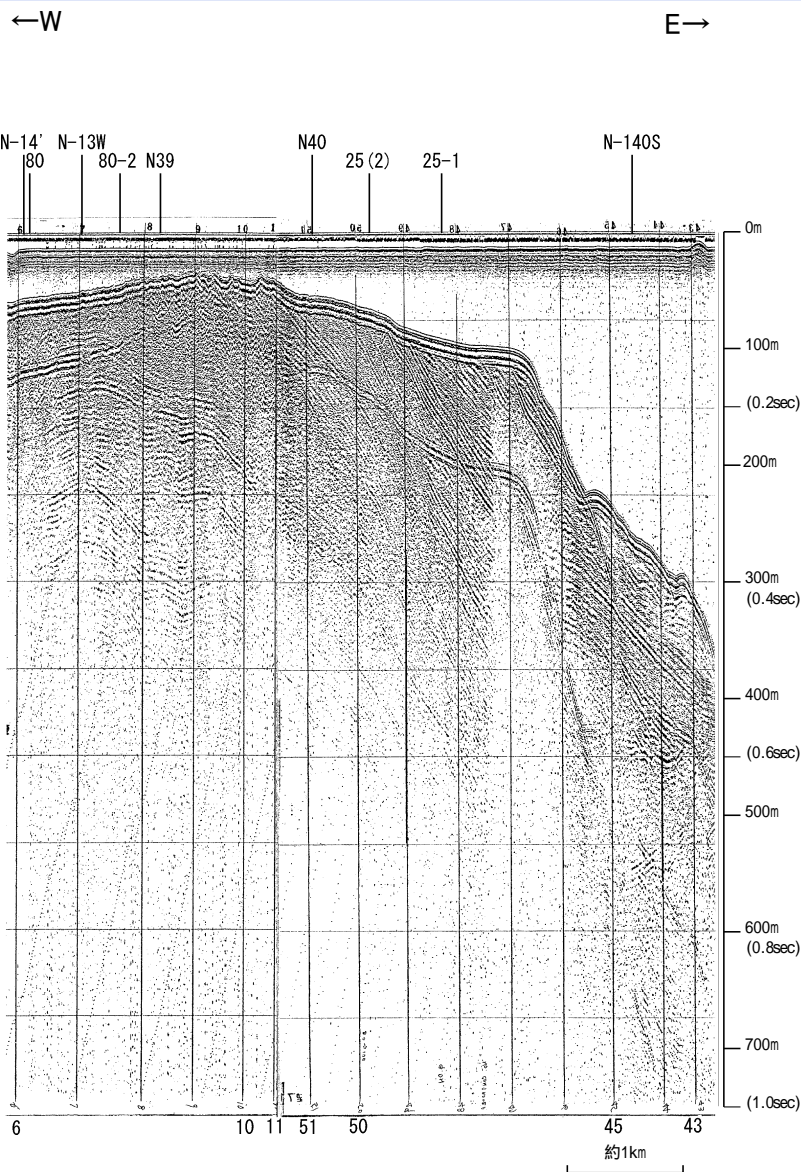


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	前期	C層
		D層
新第三紀	鮮新世	C <sub>1</sub> 層
	中新世	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>2</sub> 層
先第三紀		D <sub>3</sub> 層

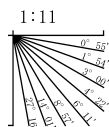


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 71(1),71(2)

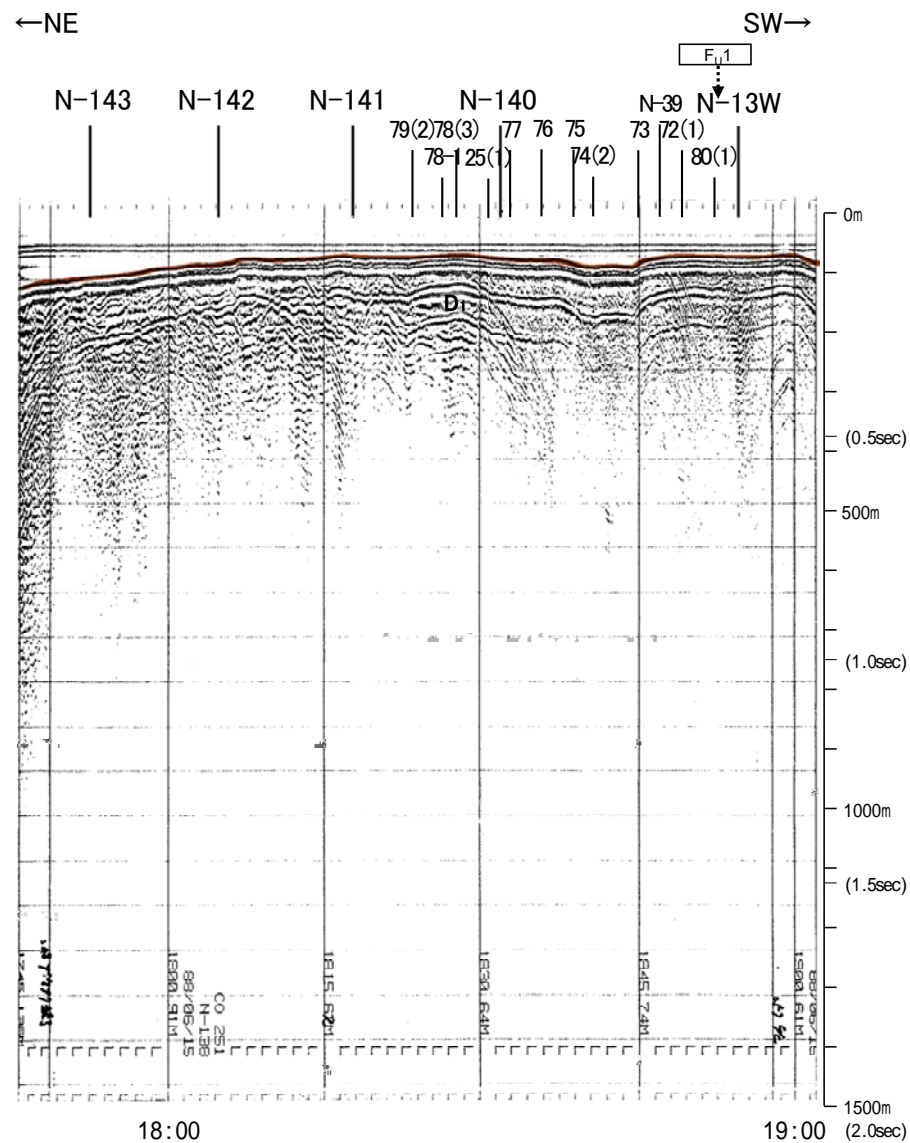
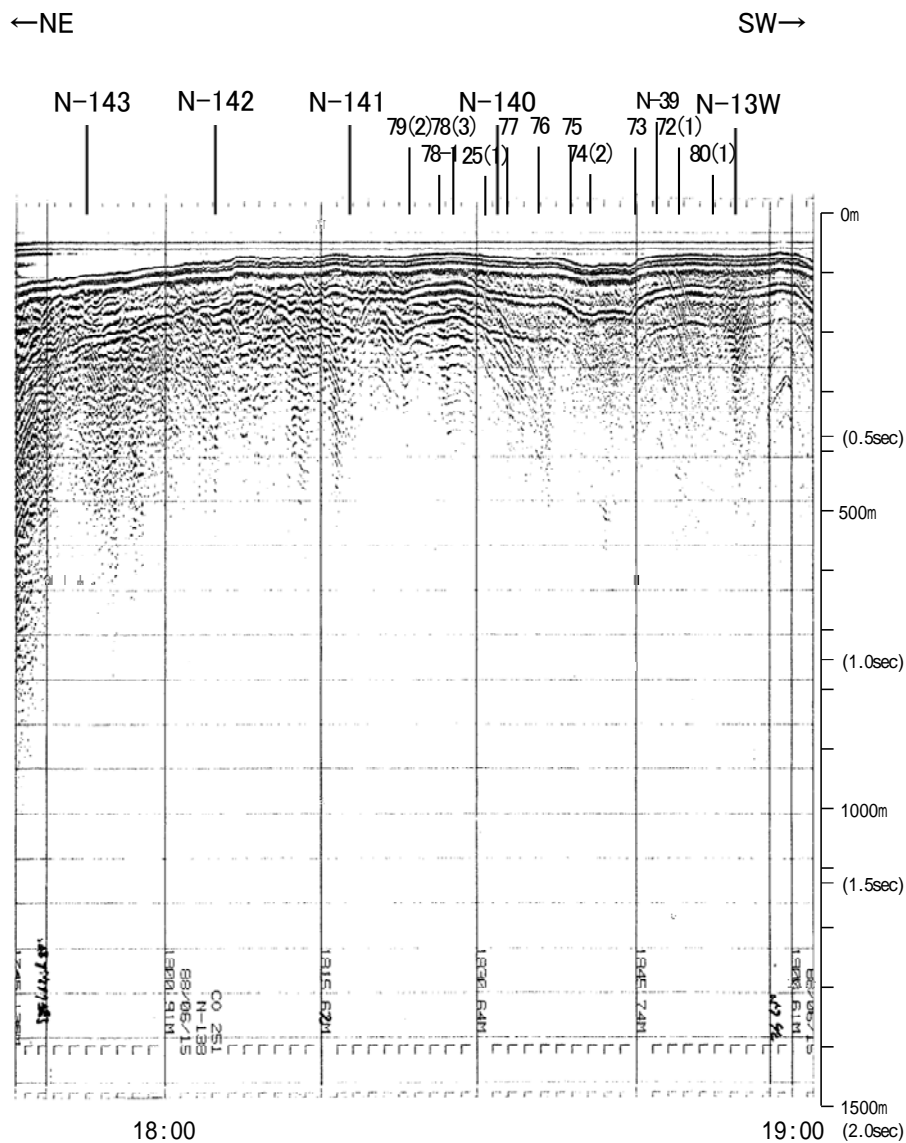


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	Q層
		B層
		B <sub>2</sub> 層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C <sub>1</sub> 層
	中新世	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>2</sub> 層
先第三紀		

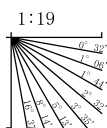


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-14'

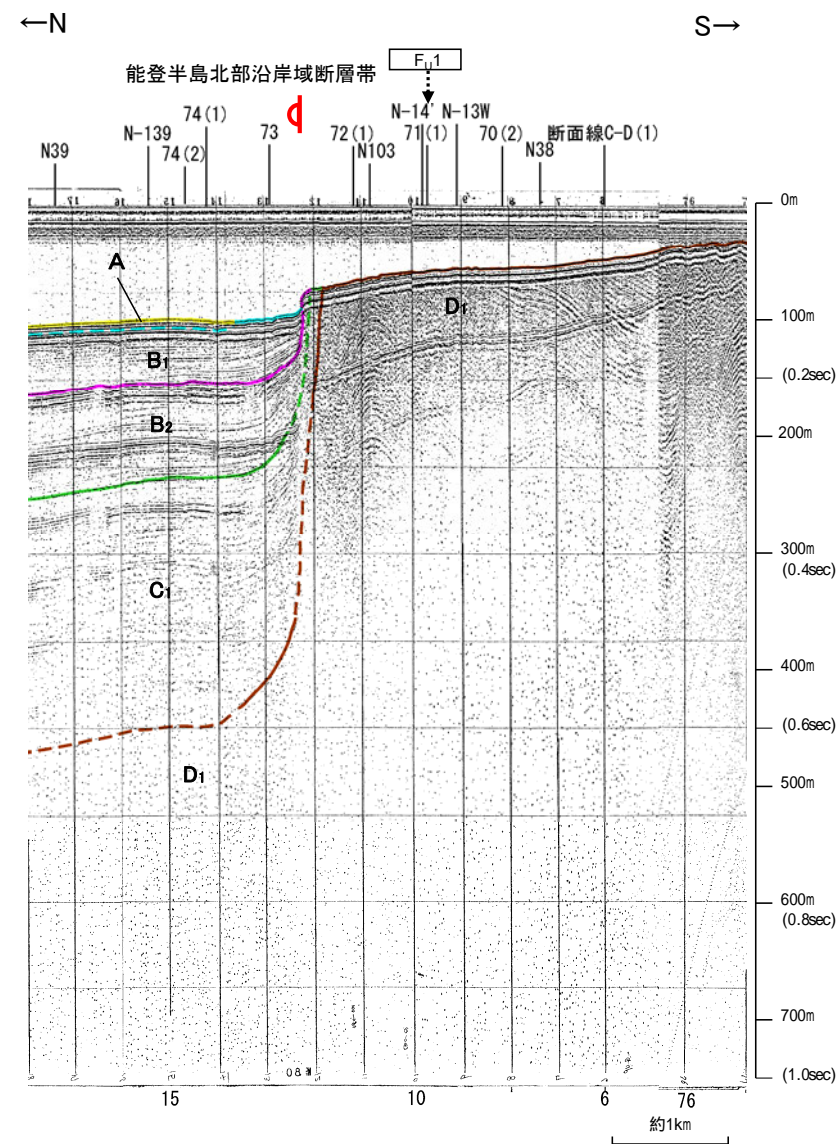
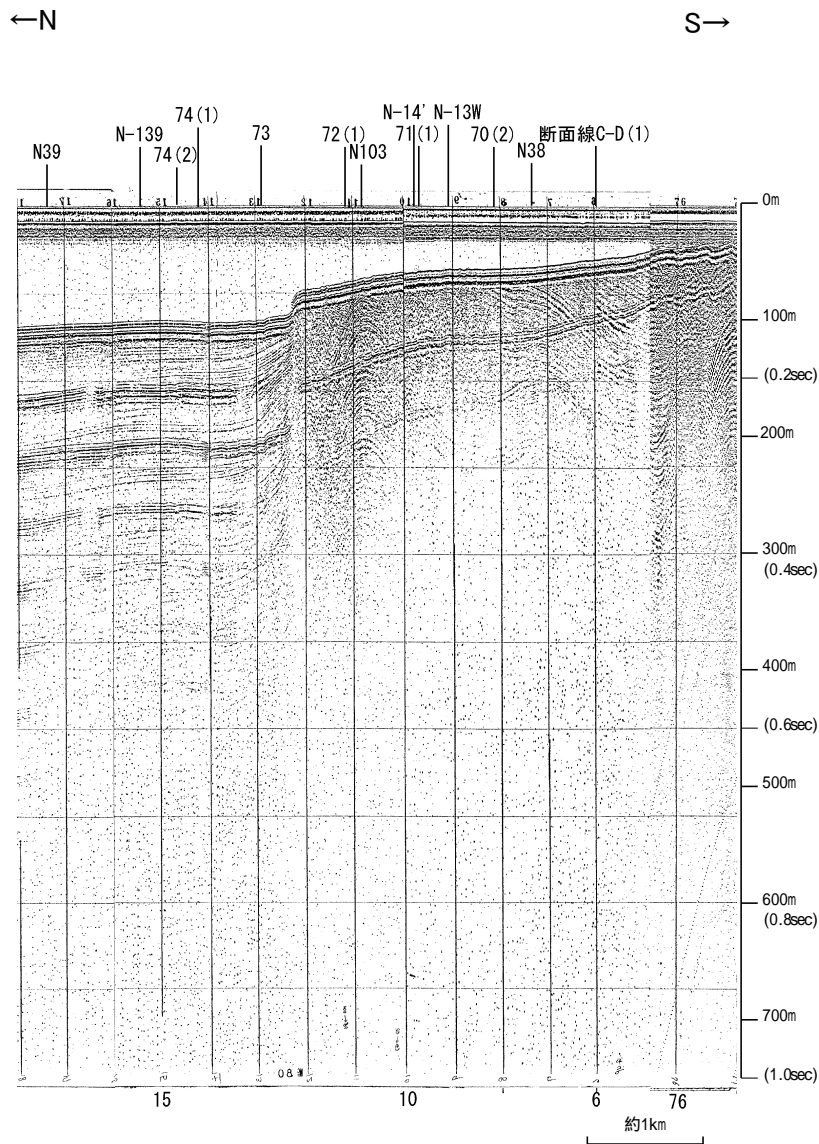


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B層
	前期	B <sub>2</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀	D層	D層
	先第三紀	D層

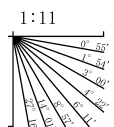


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 80(1),80(2)



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層

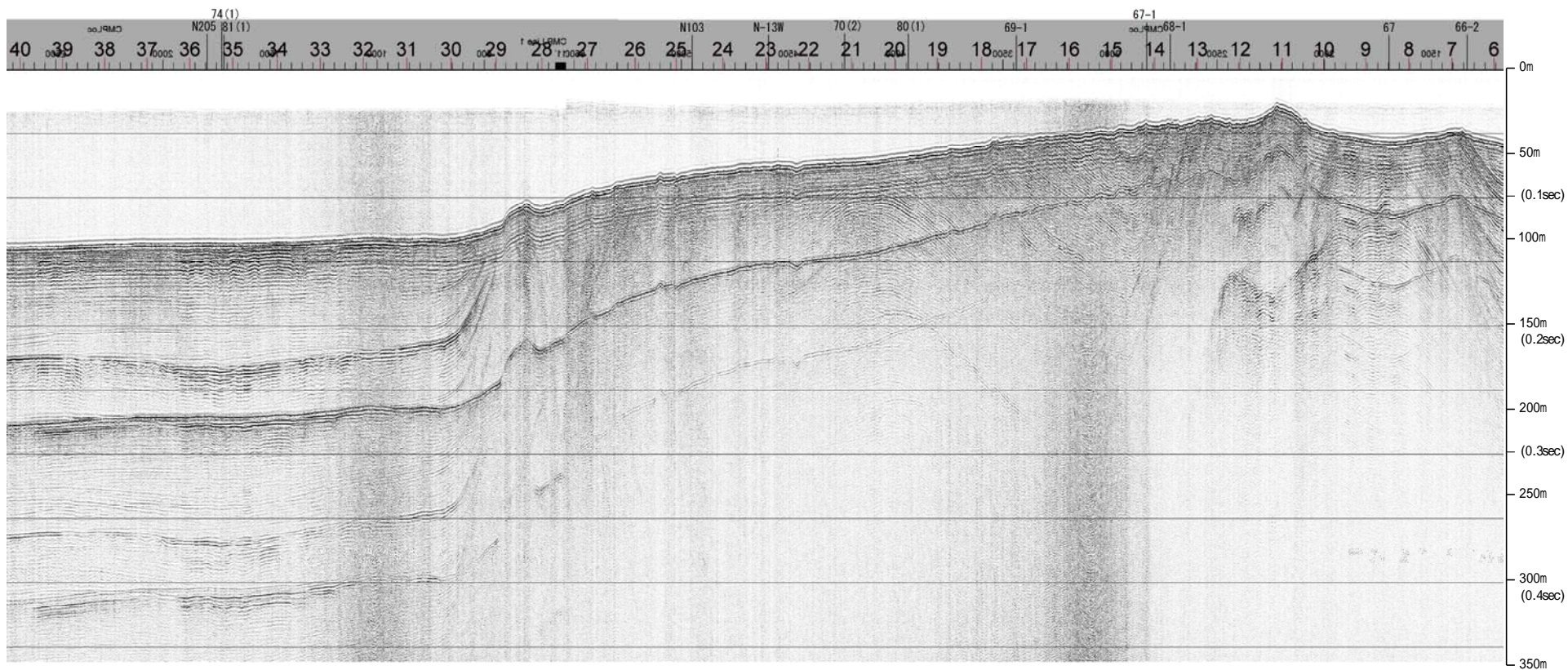


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 産総研ブーマー N38

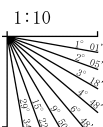
←NNW

SSE→



約1km

地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
	先第三紀	D層



# 産総研ブーマー N38

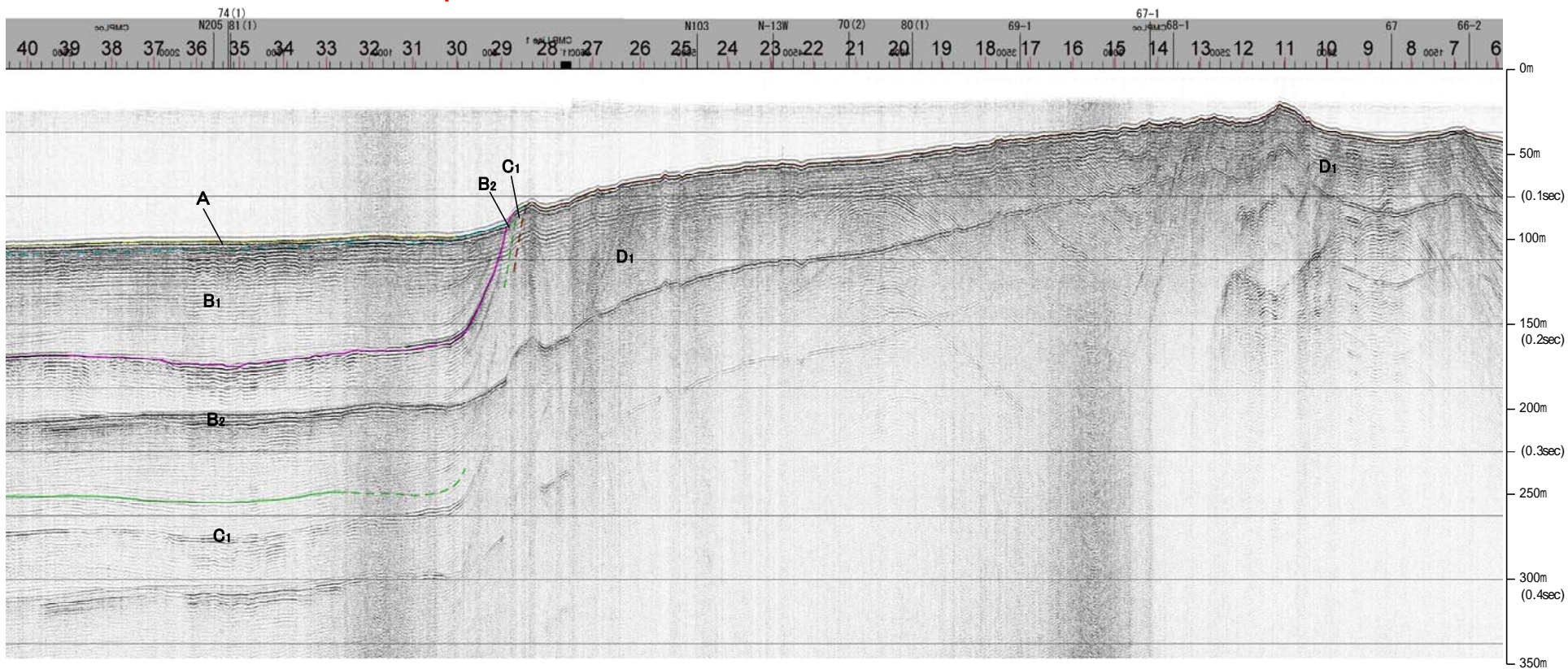
←NNW

SSE→

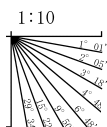
能登半島北部沿岸域断層帯

F<sub>1</sub>

①



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	C <sub>1</sub> 層
第三紀	中新世	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>2</sub> 層
先第三紀		

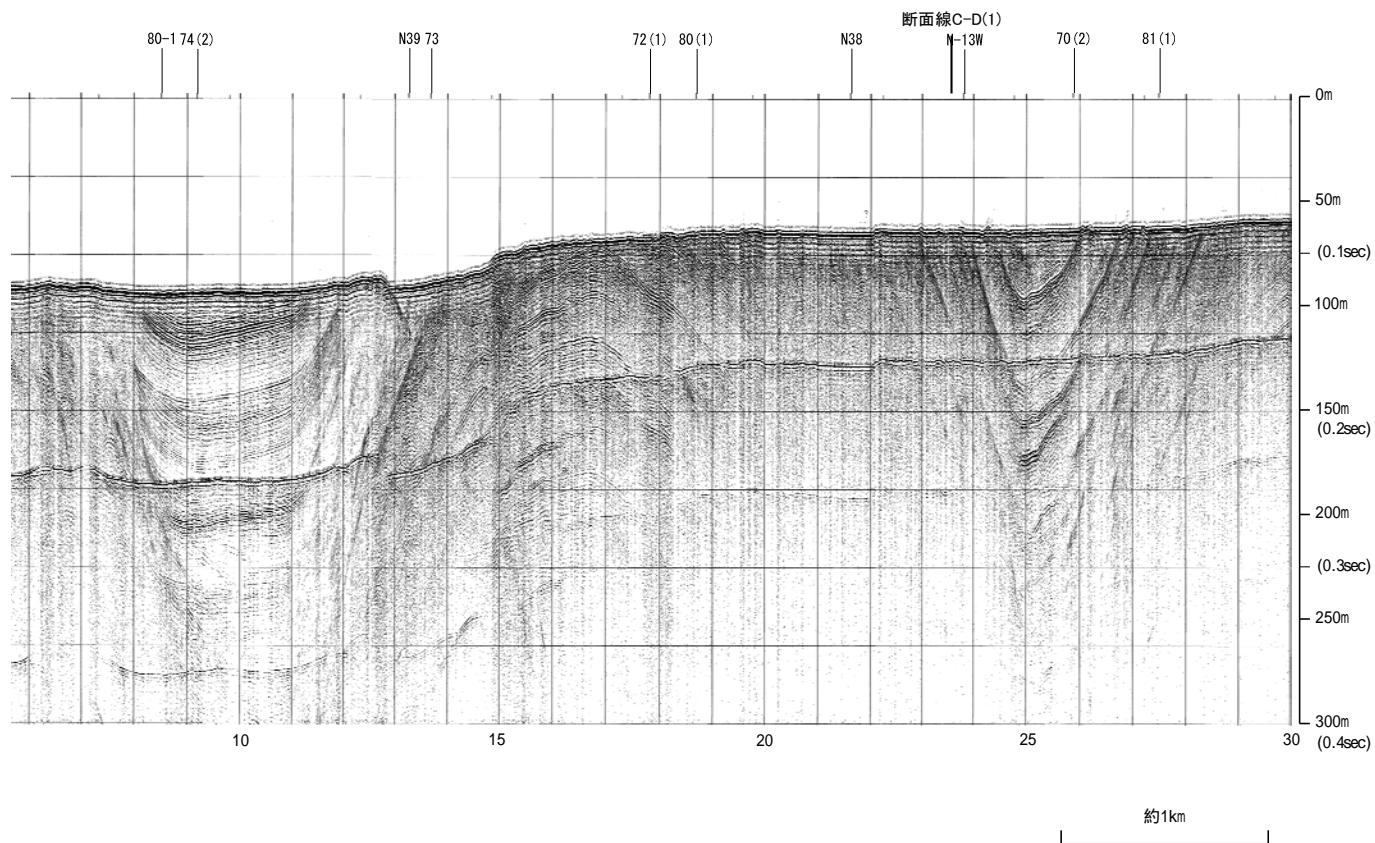


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

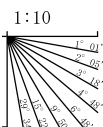
# 産総研ブーマー N103

←NE

SW→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
	前期	C層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
先第三紀		D層



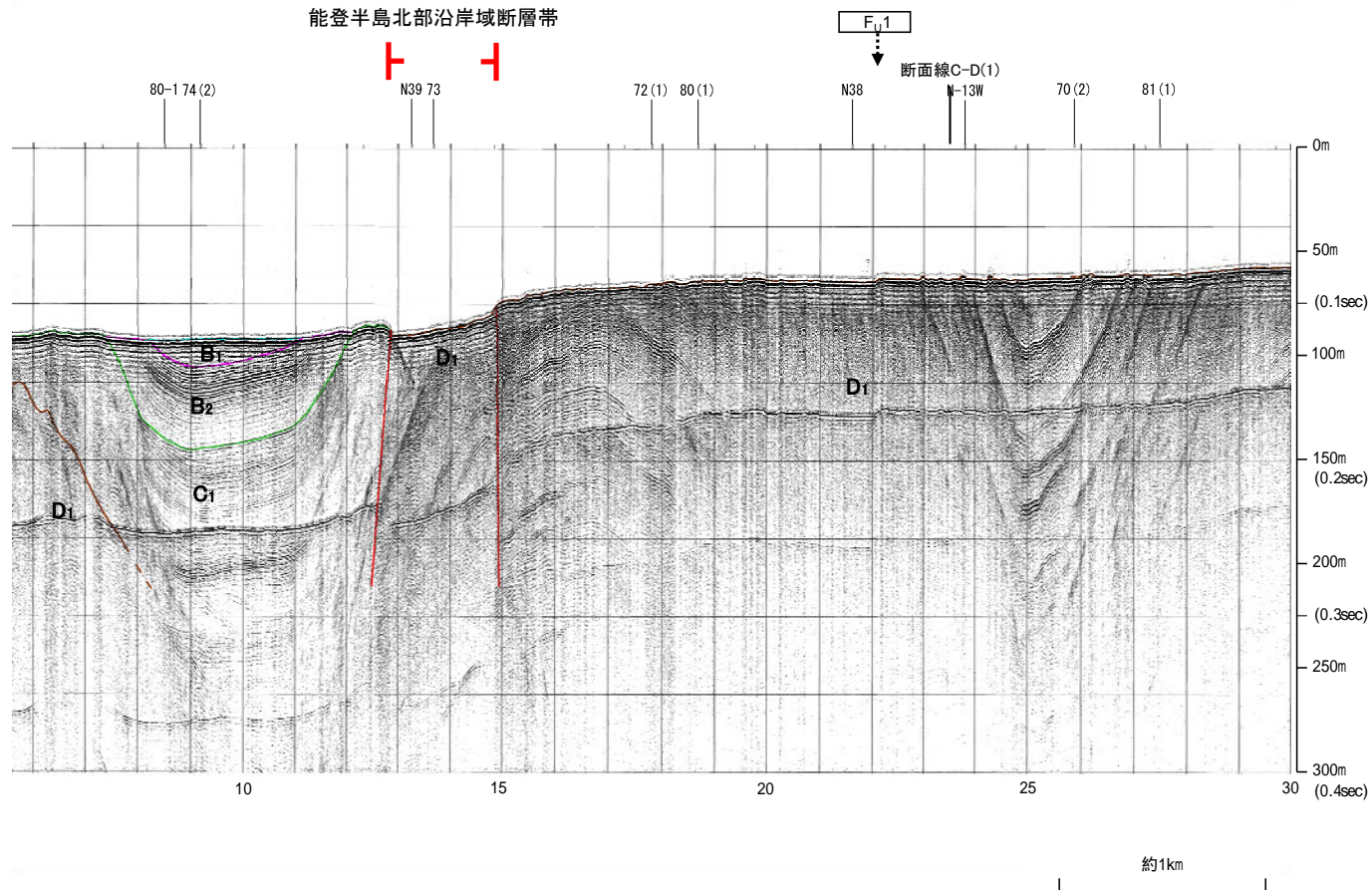


# 産総研ブーマー N103

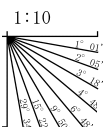
←NE

SW→

能登半島北部沿岸域断層帯

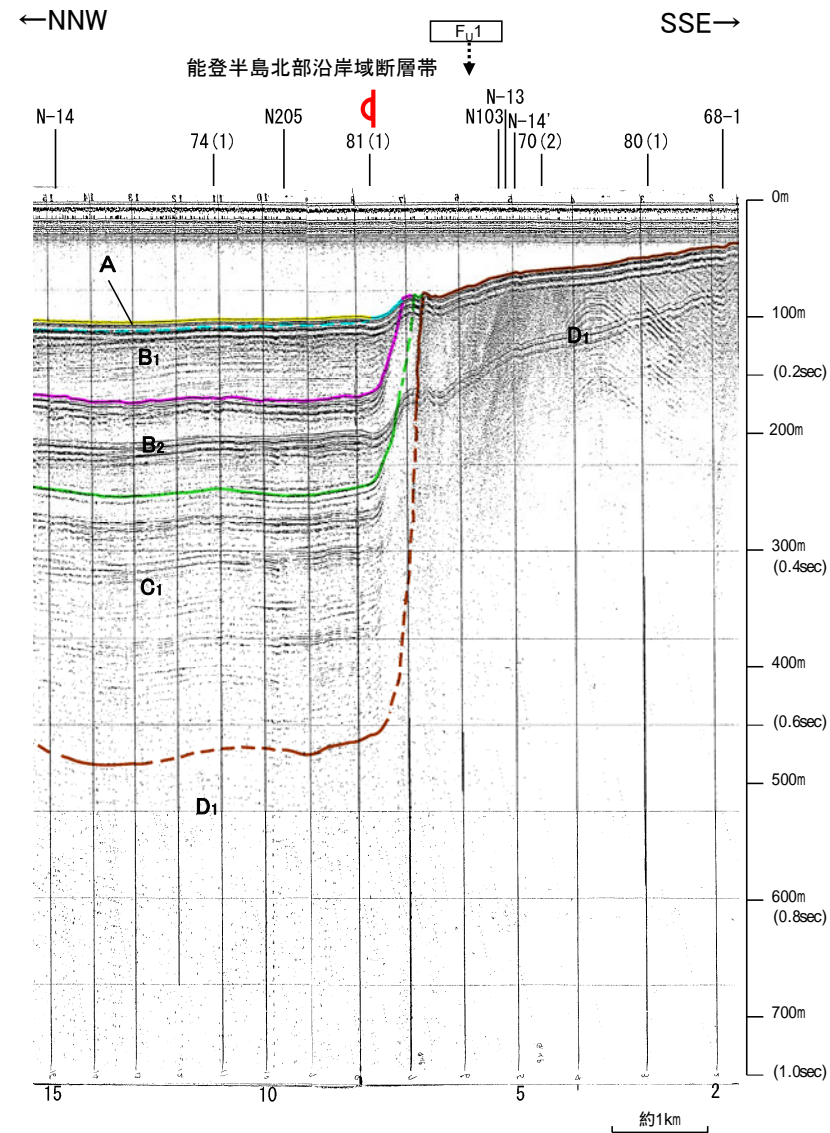
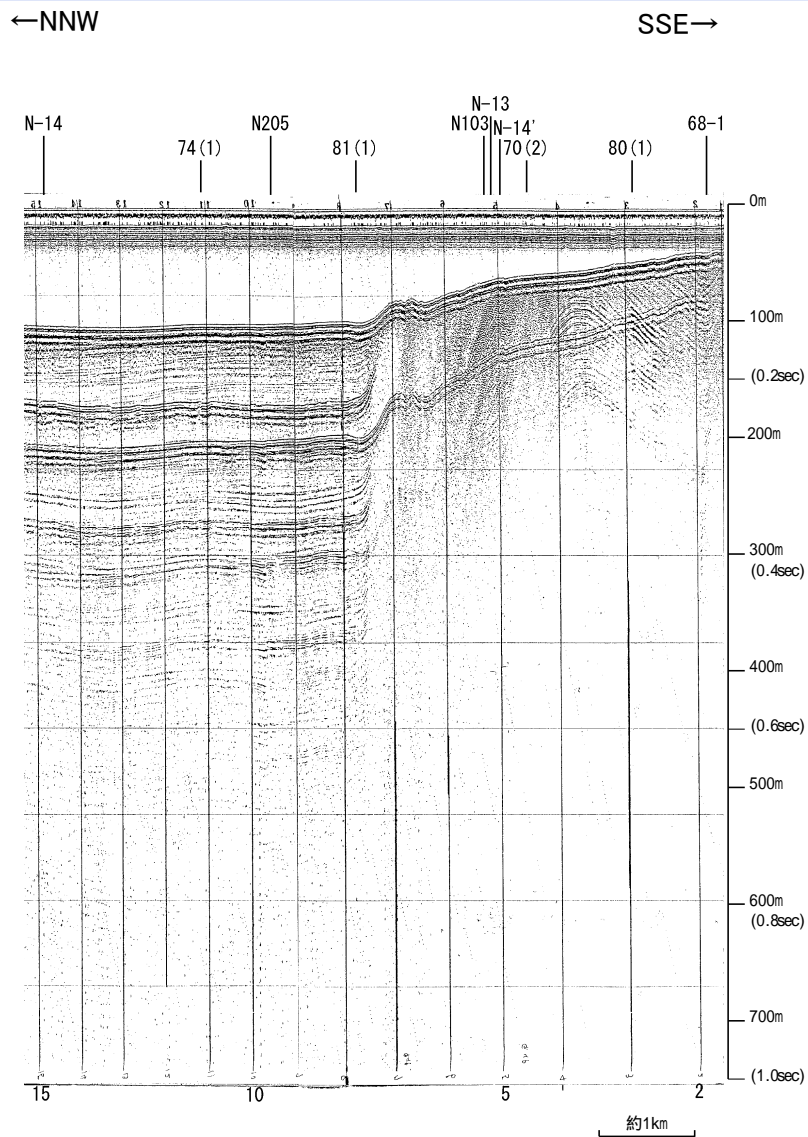


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
	前期	B <sub>4</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D <sub>1</sub> 層
先第三紀		D <sub>2</sub> 層

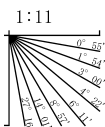


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 断面線C-D(1)

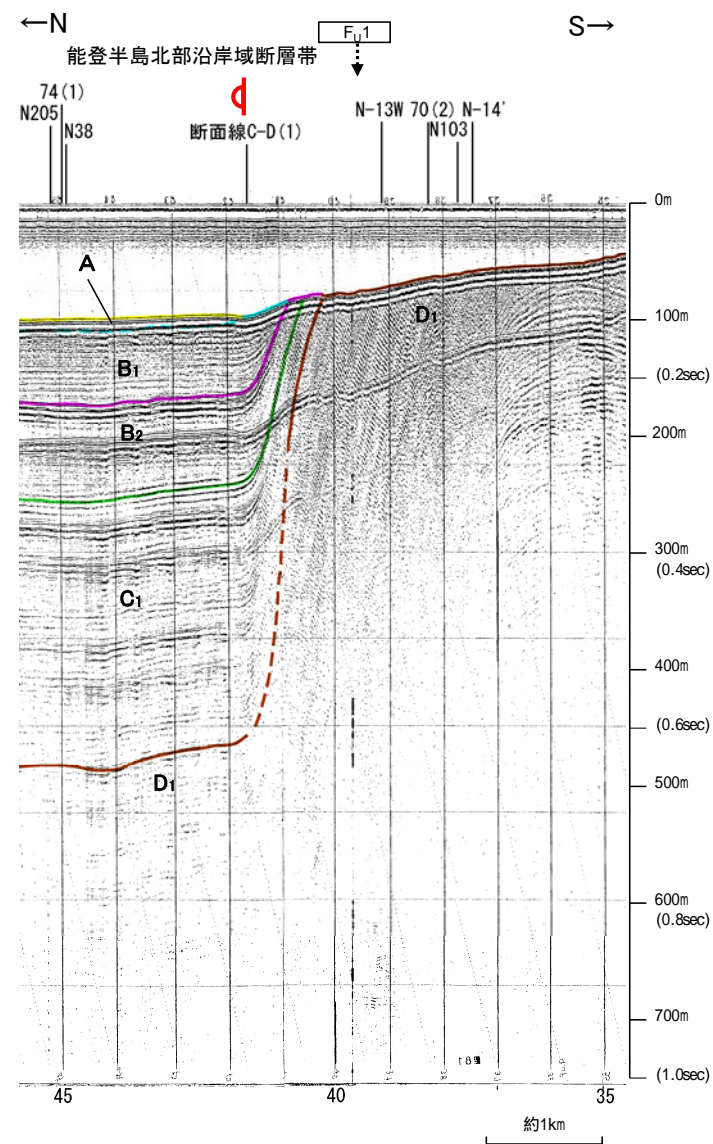
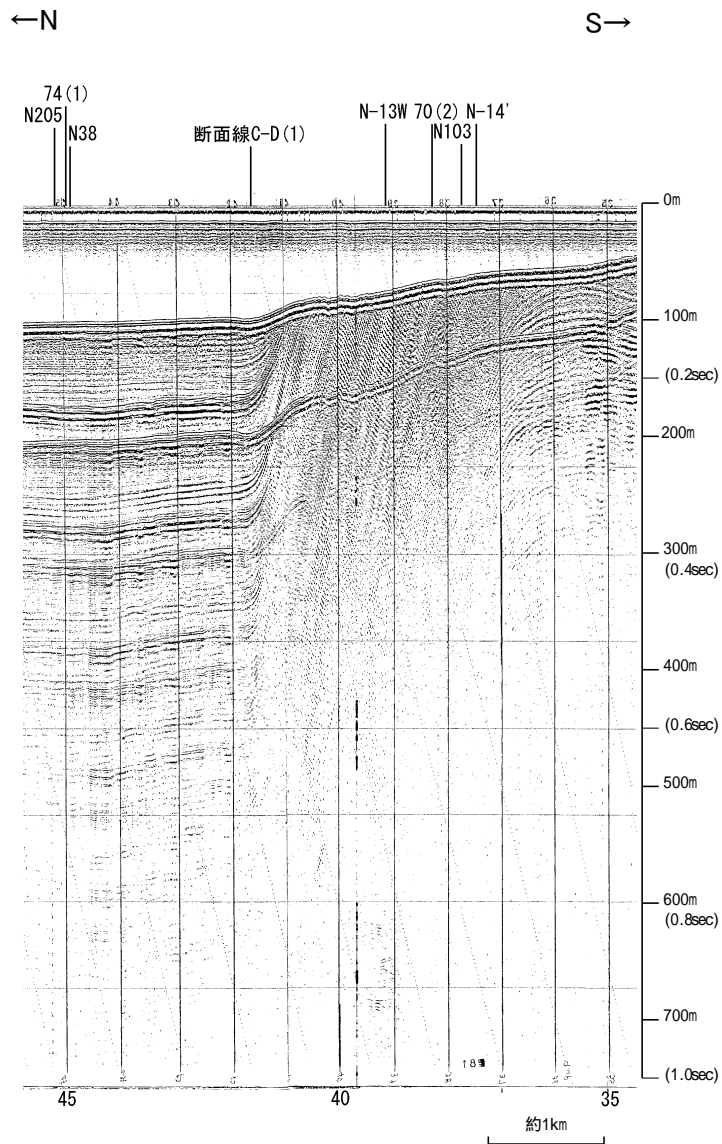


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層

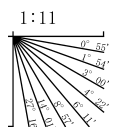


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 81(1)

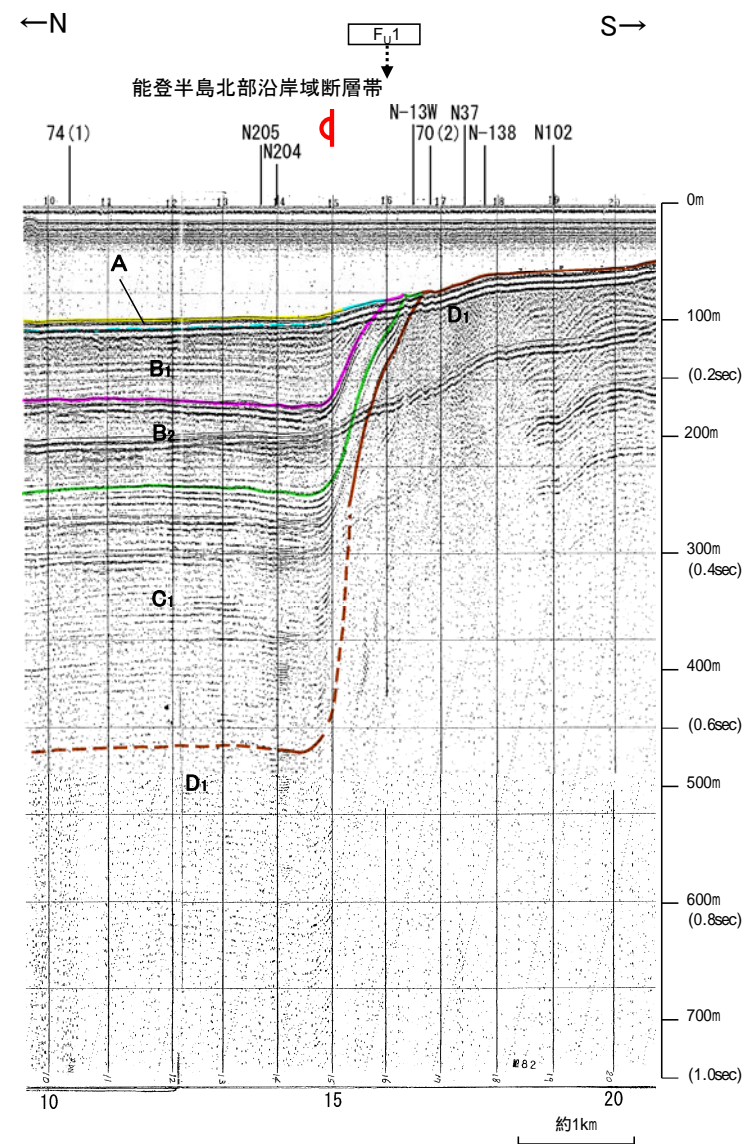
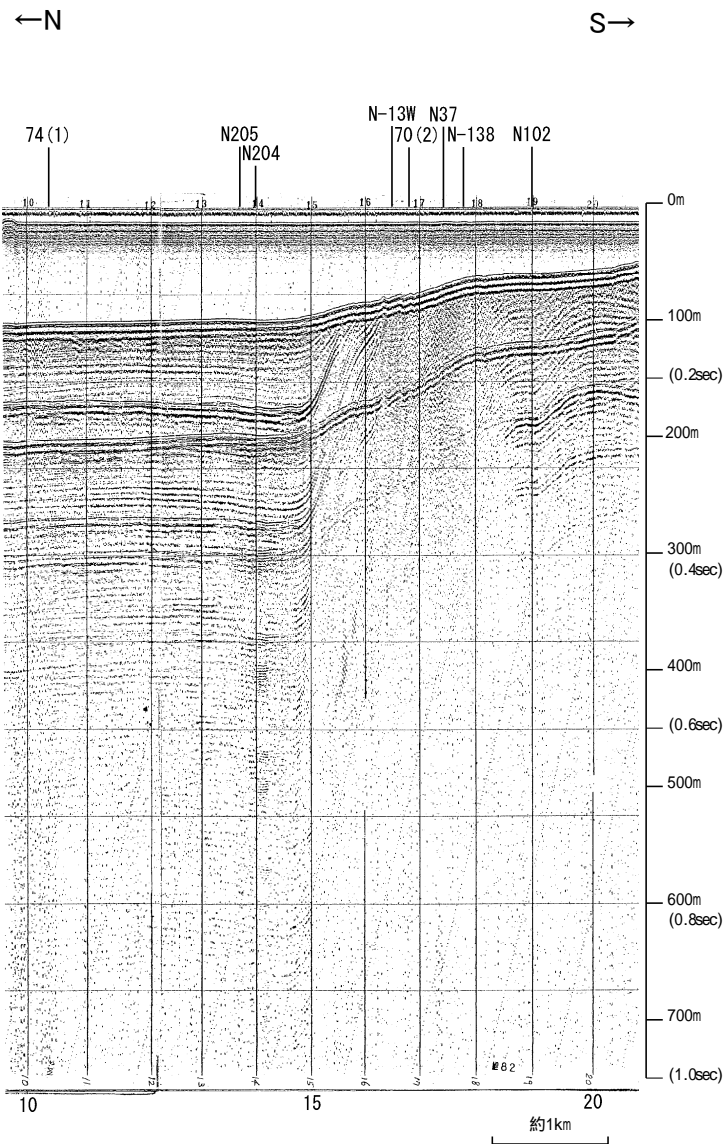


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	中新世	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	

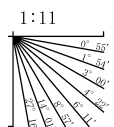


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 82



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層

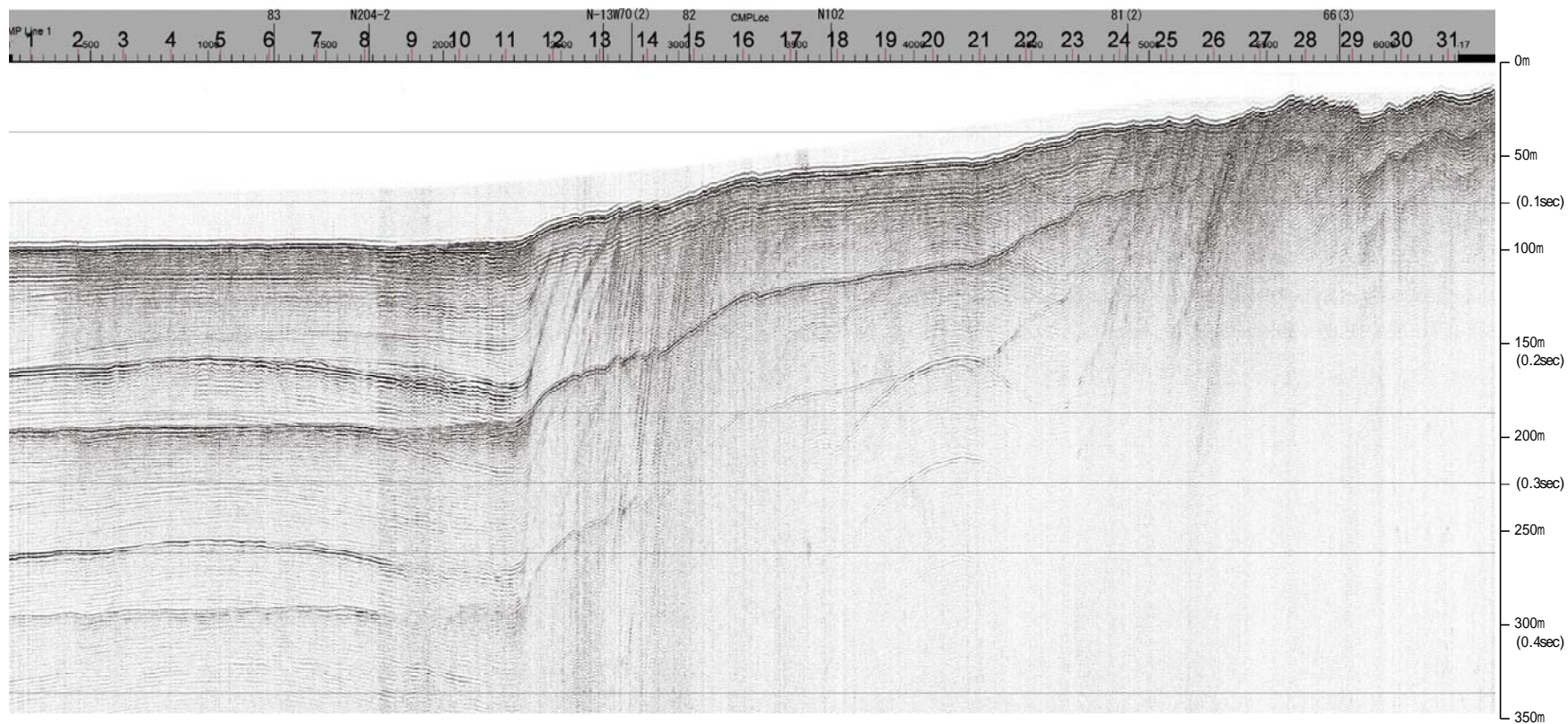


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

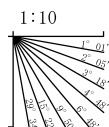
# 産総研ブーマー N37

←NNW

SSE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
	先第三紀	D層



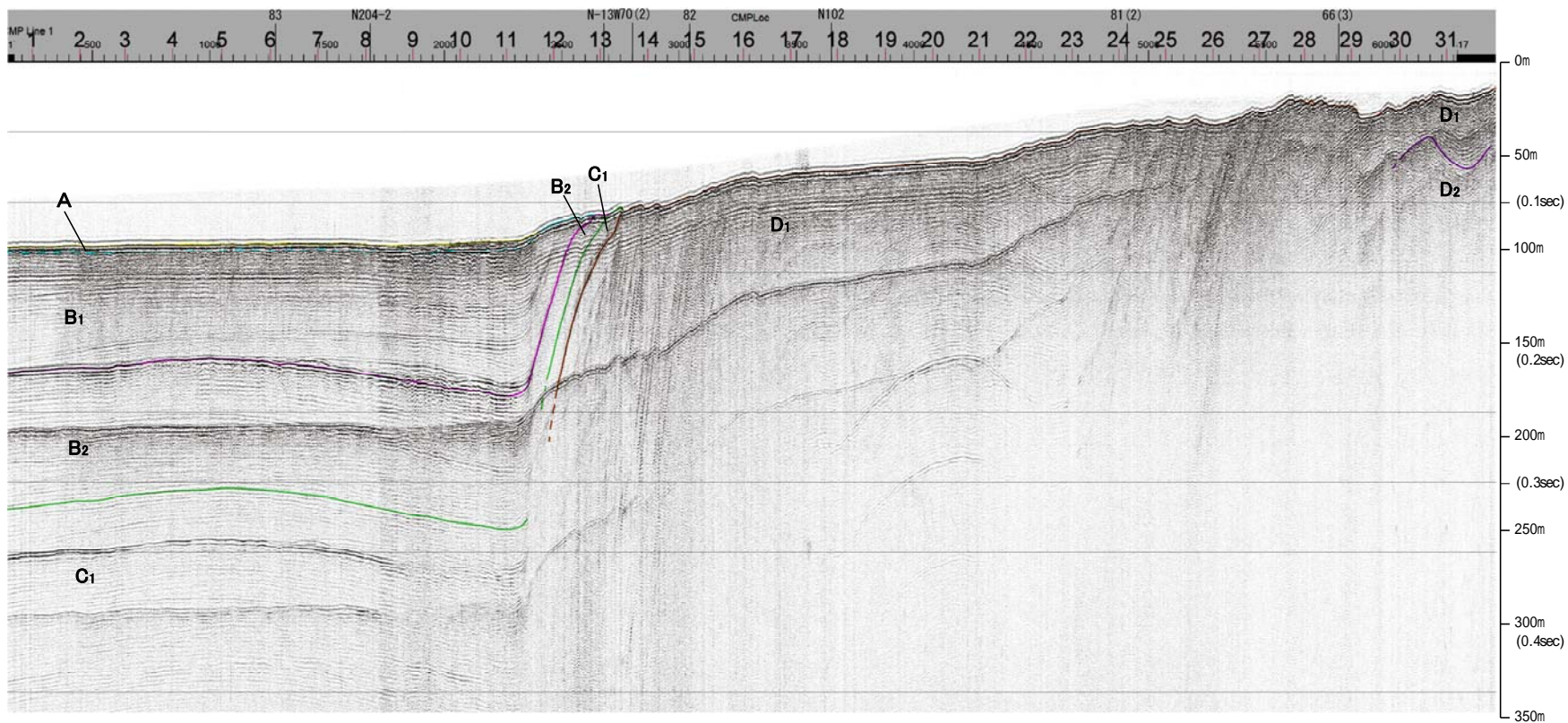
# 産総研ブーマー N37

←NNW

F<sub>U</sub>1

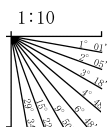
SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯



約1km

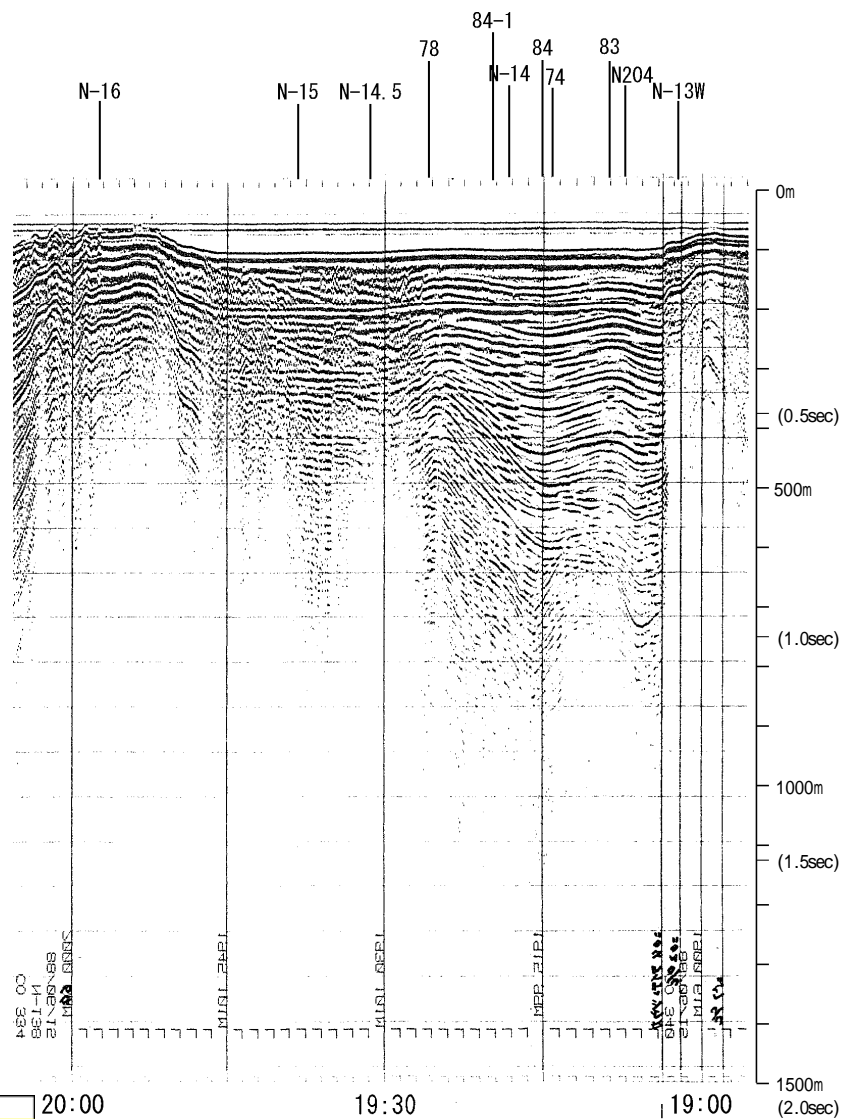
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	C <sub>1</sub> 層
第三紀	中新世	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>2</sub> 層
先第三紀		D <sub>2</sub> 層



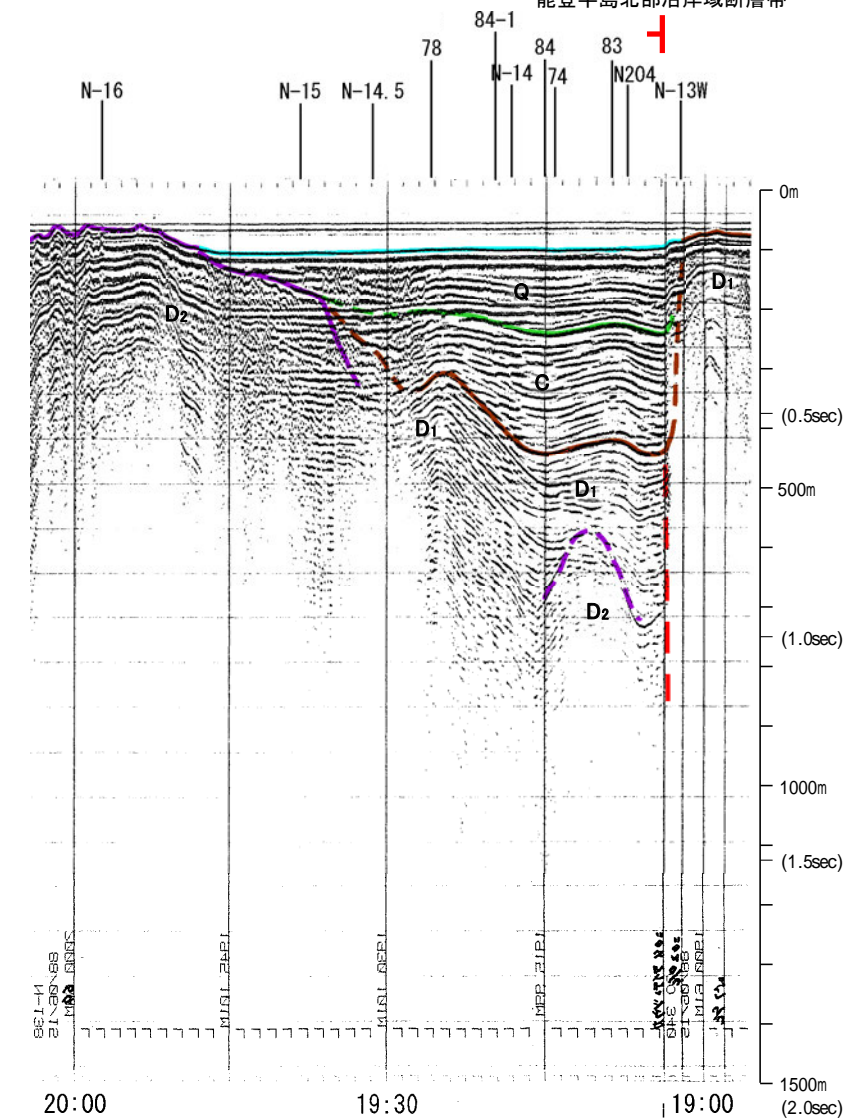
※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-138

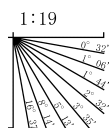
←NW SE→



←NW SE→

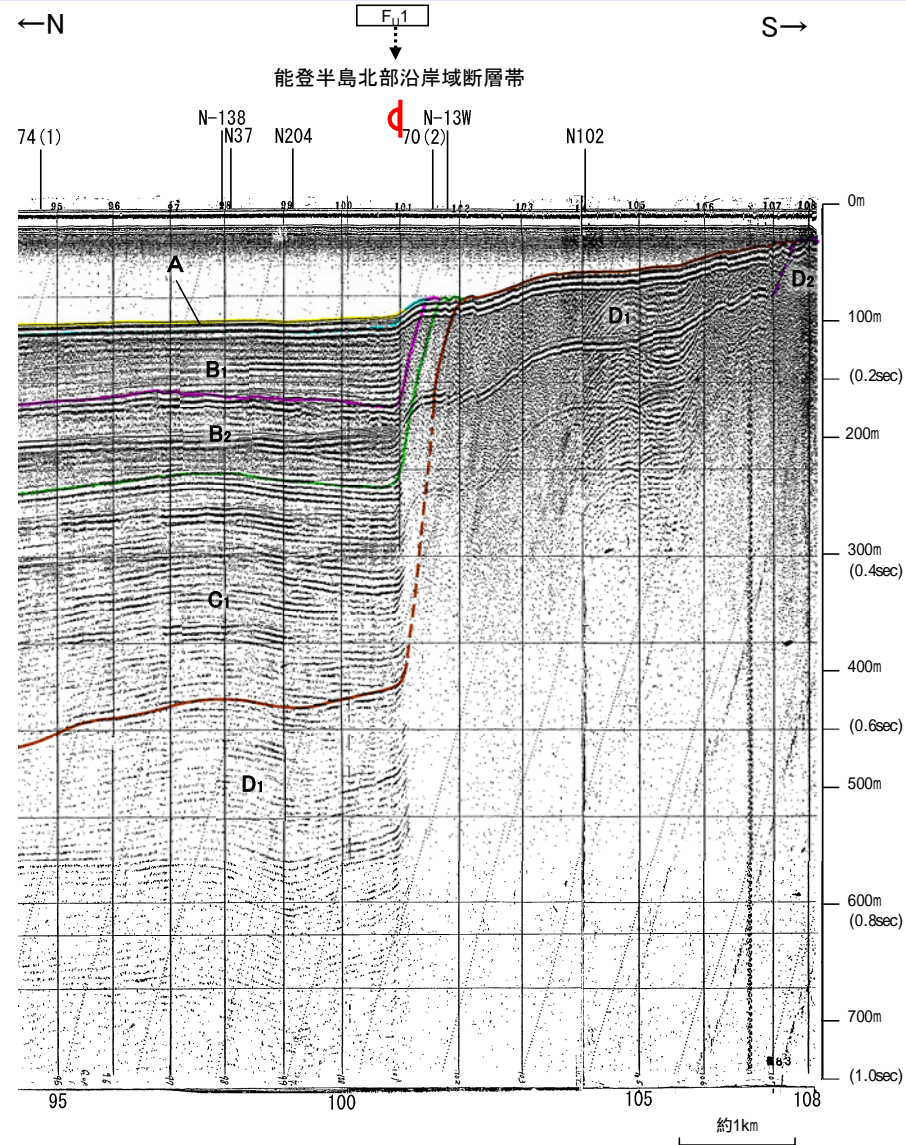
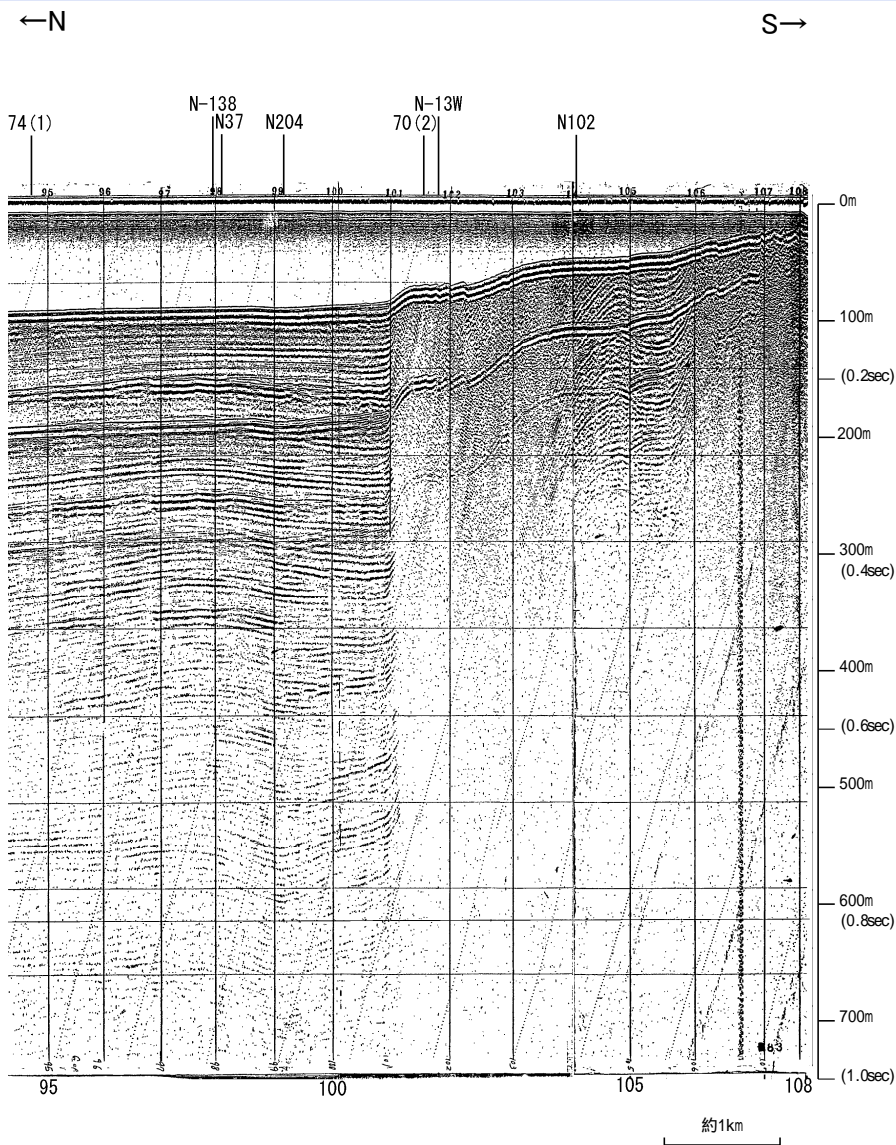


地質時代		地層名	
第四紀 更新世	完新世	A層	B層
	後期	Q層	B層
	中期	B層	B層
	前期	C層	B層
第三紀	新第三紀	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層

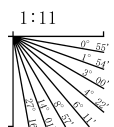


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 83



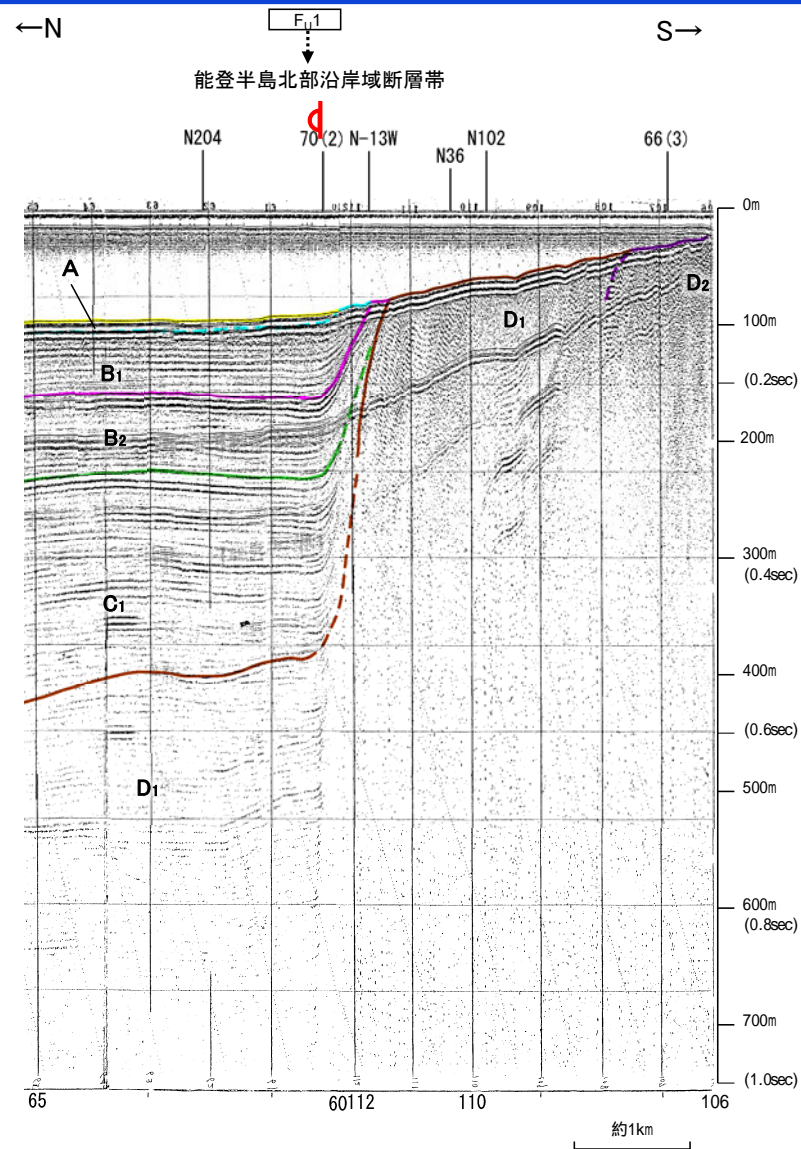
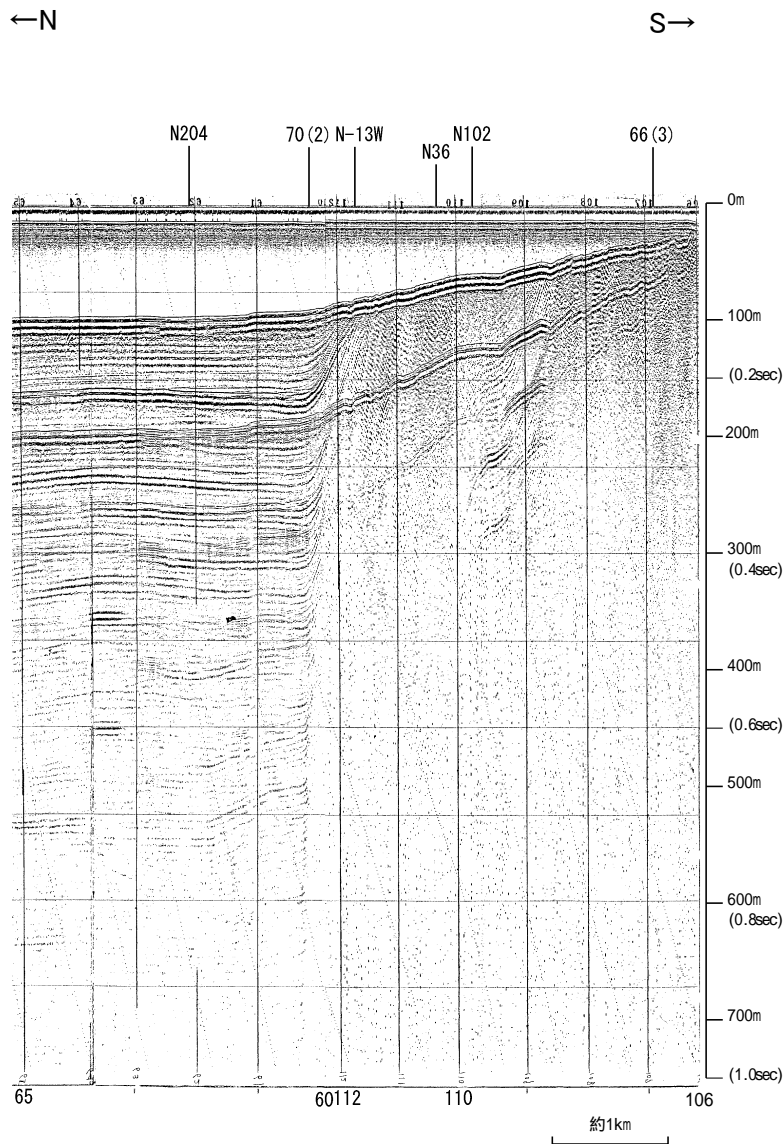
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D層



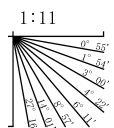
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



# 海上保安庁スパーカー 84(2),84(3)

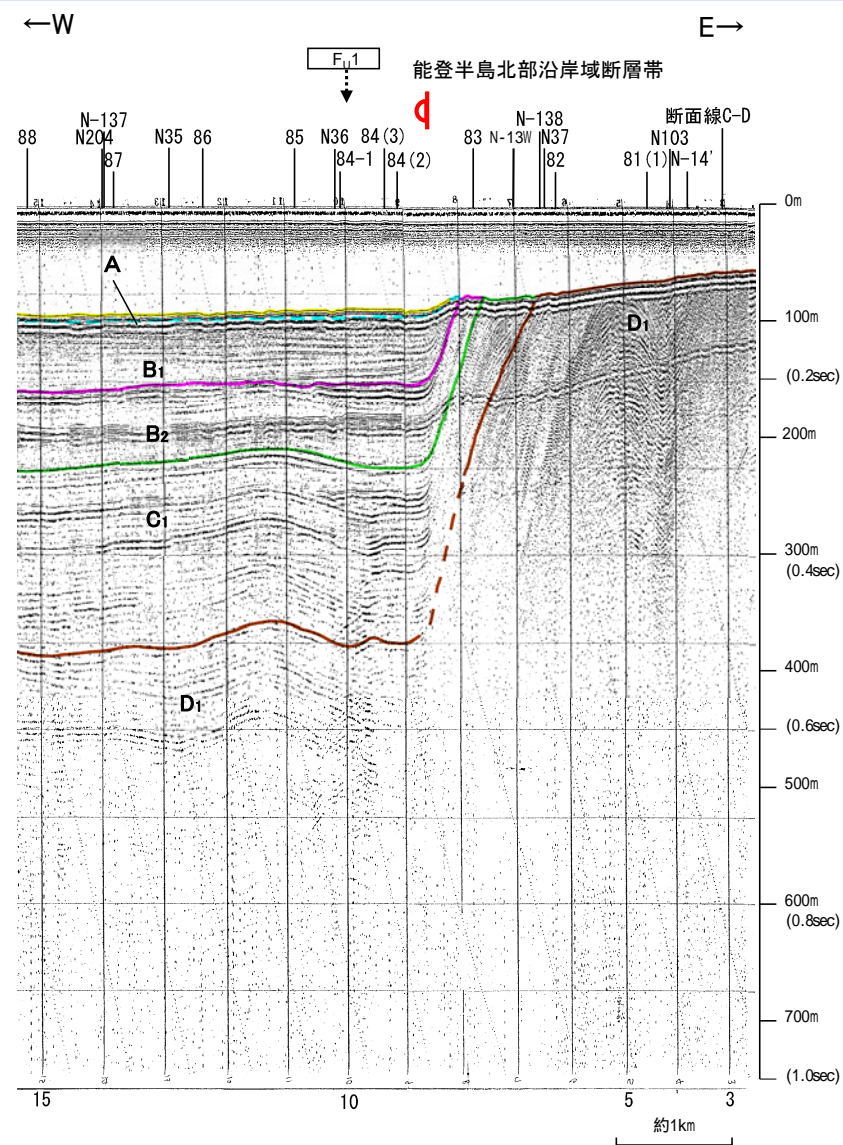
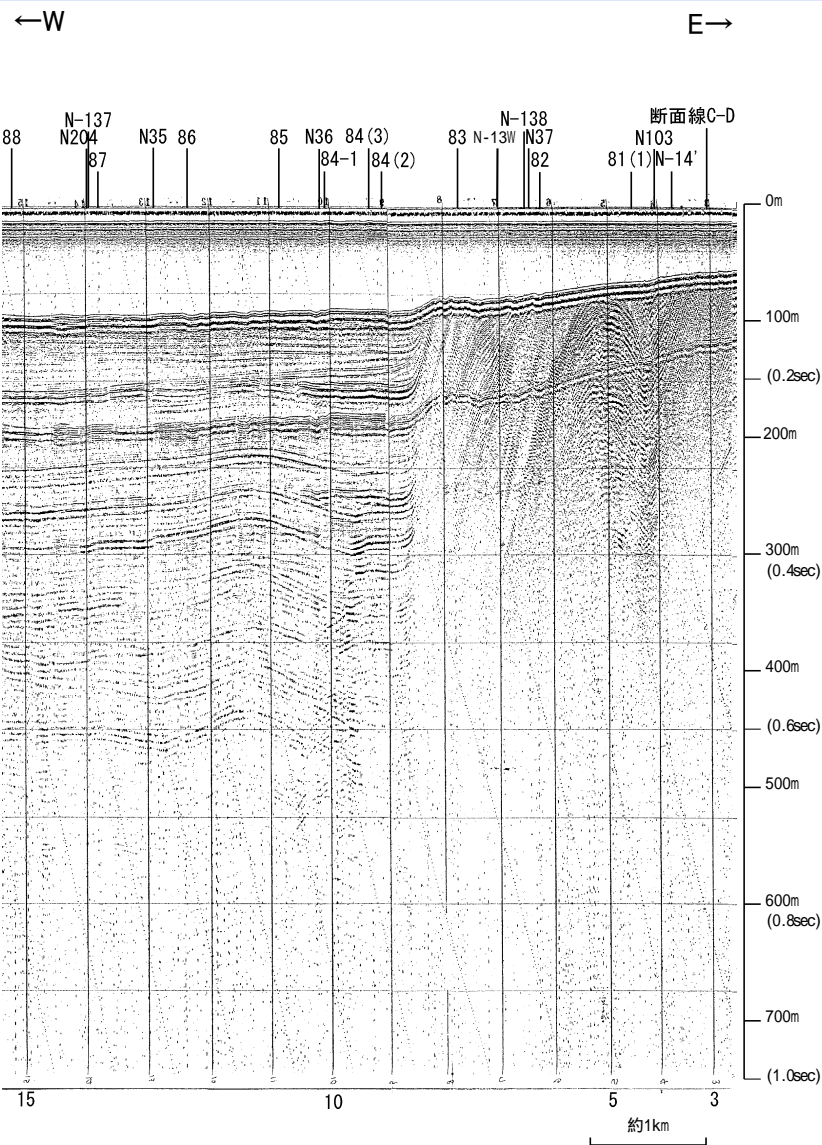


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層

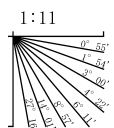


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 70(2)

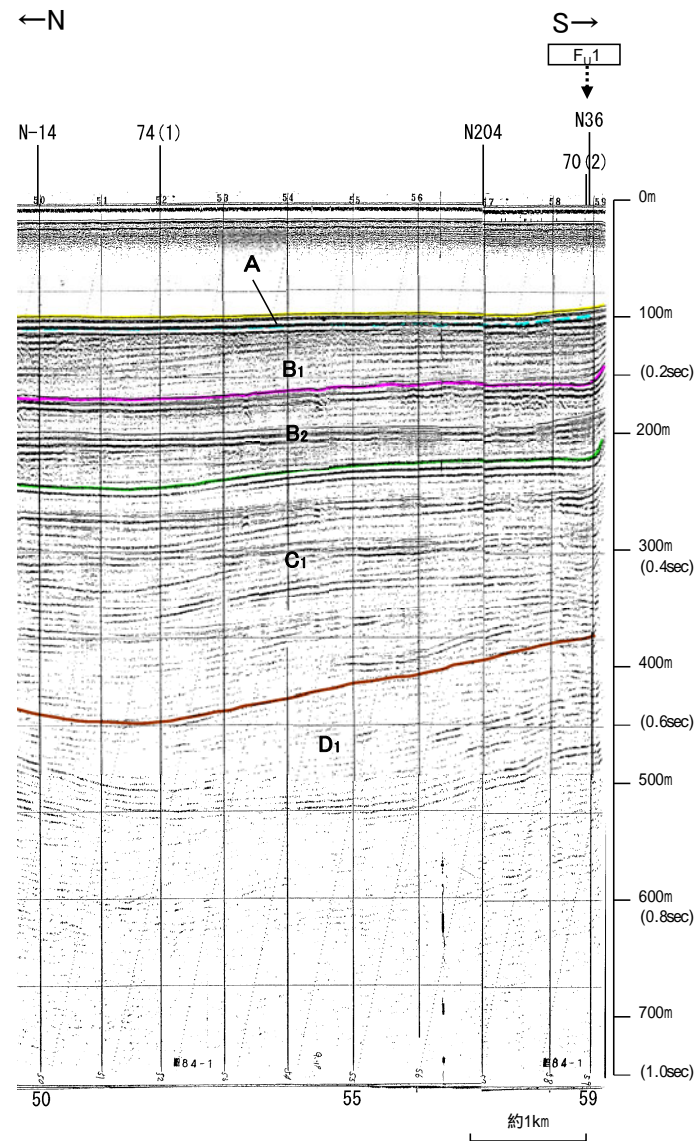
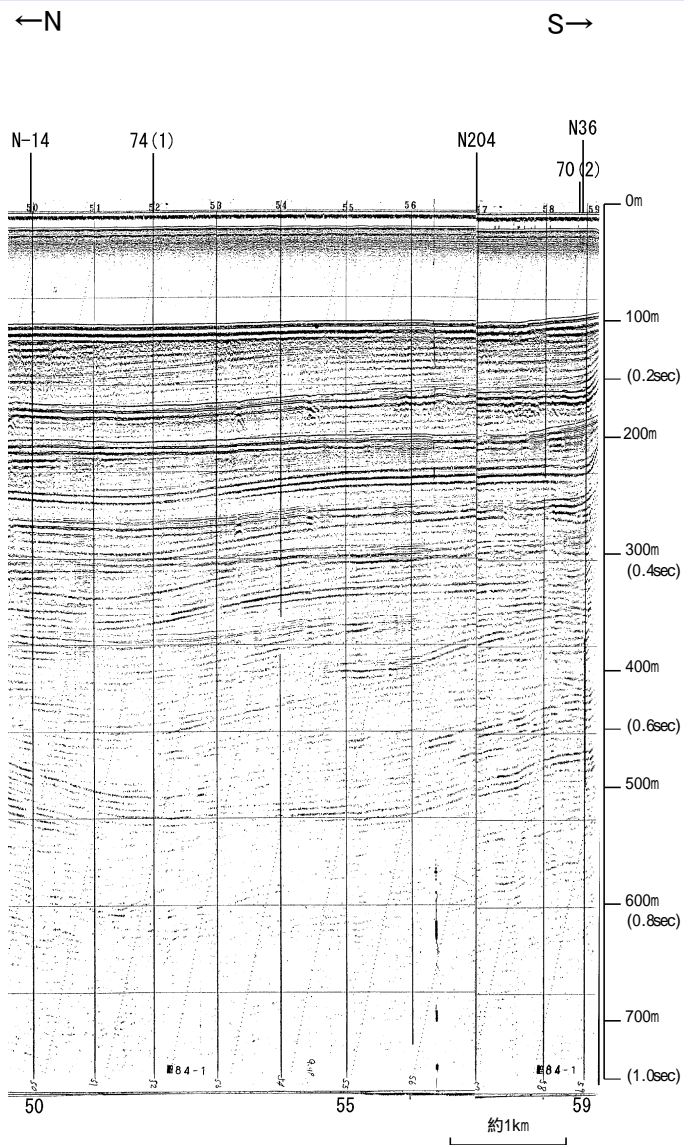


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層

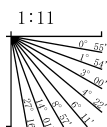


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 84-1



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	

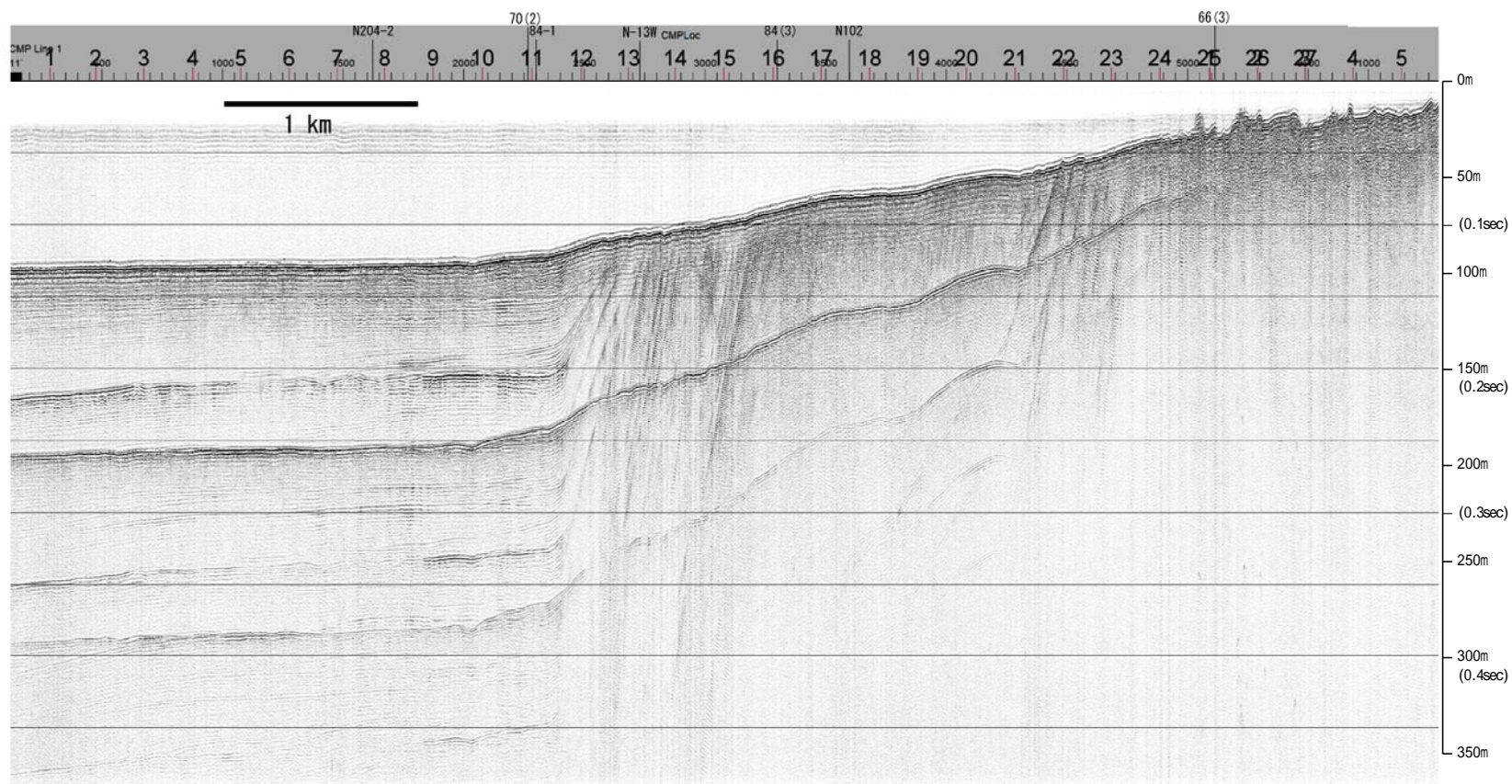


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

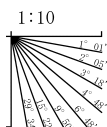
# 産総研ブーマー N36,N36-2

←NNW

SSE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
先第三紀		D層



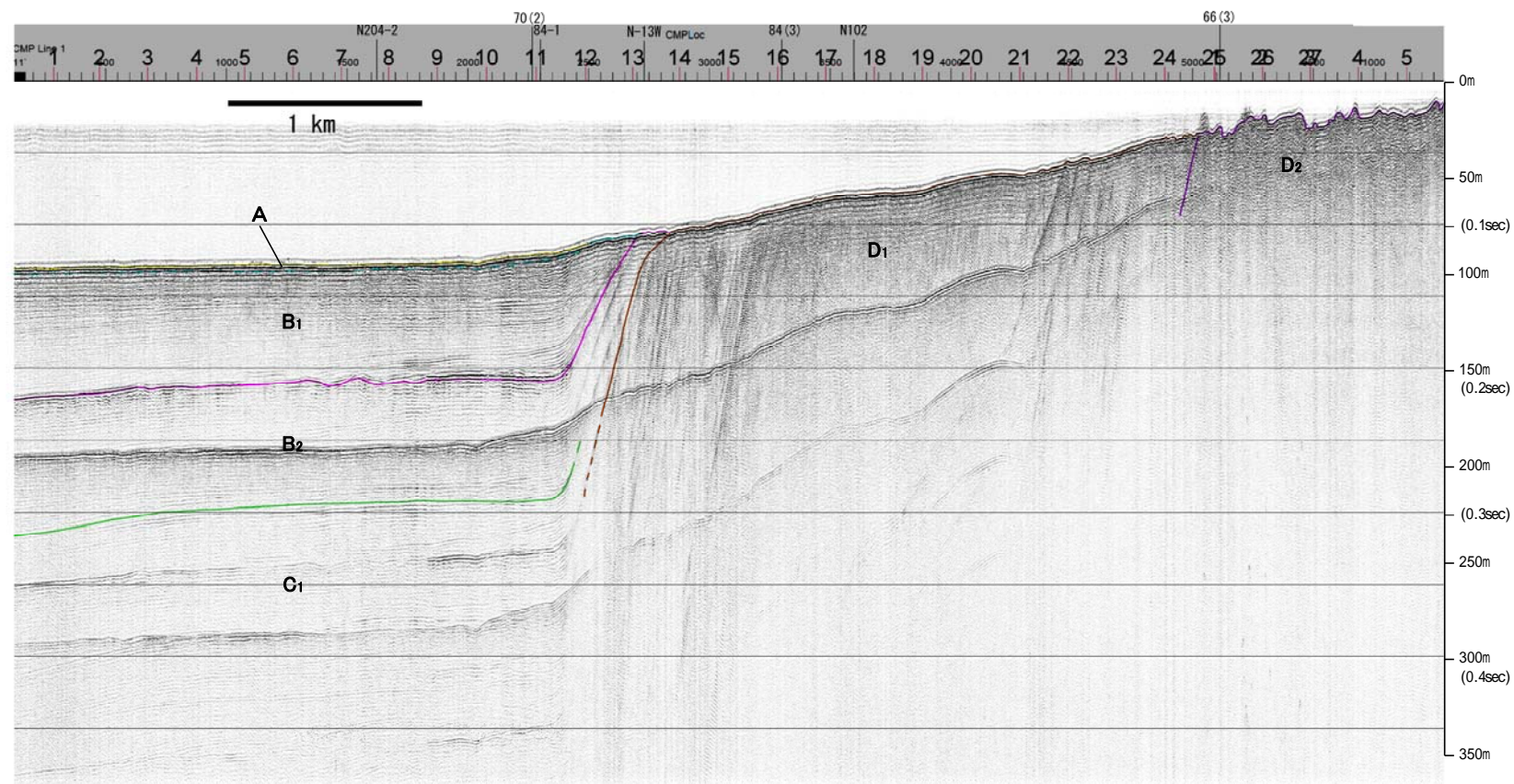
# 産総研ブーマー N36,N36-2

←NNW

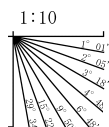
F<sub>v</sub>1

能登半島北部沿岸域断層帯

SSE→

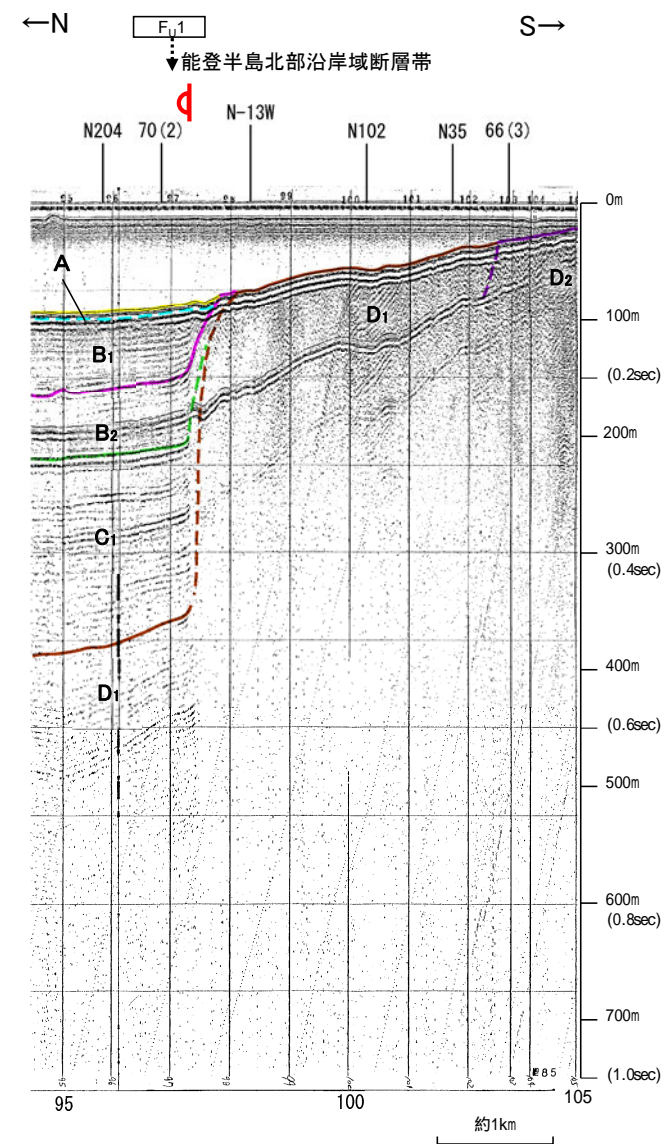
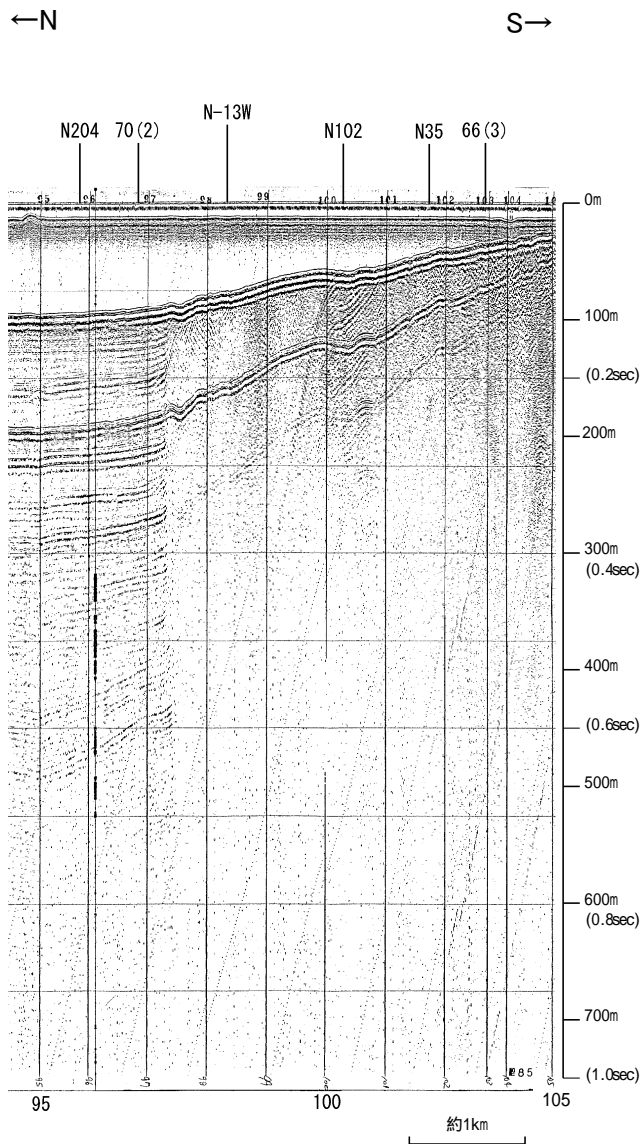


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層

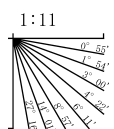


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 85

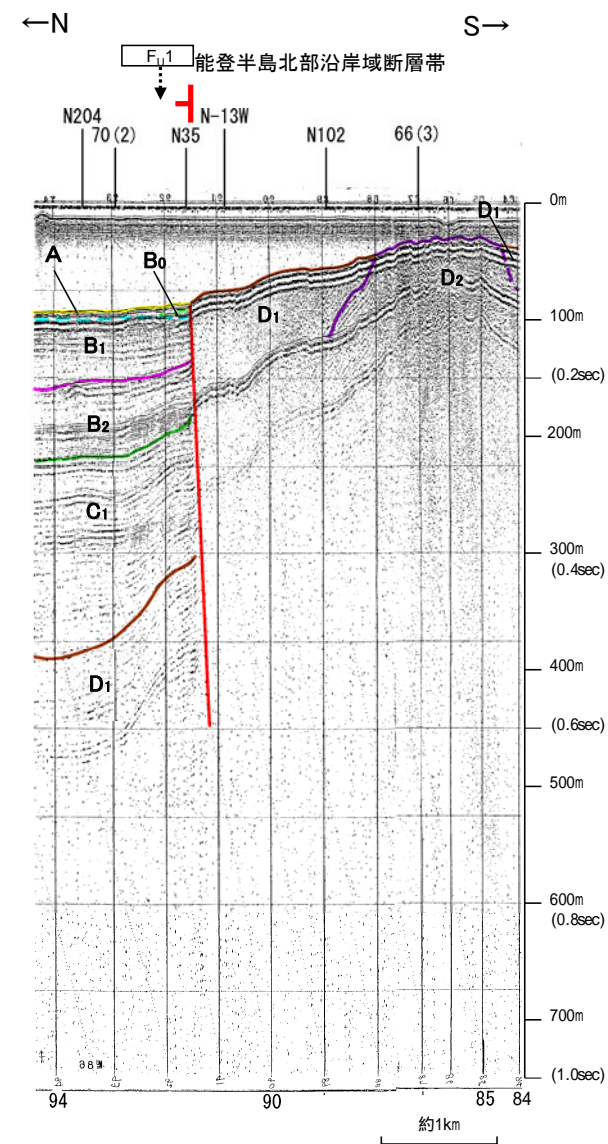
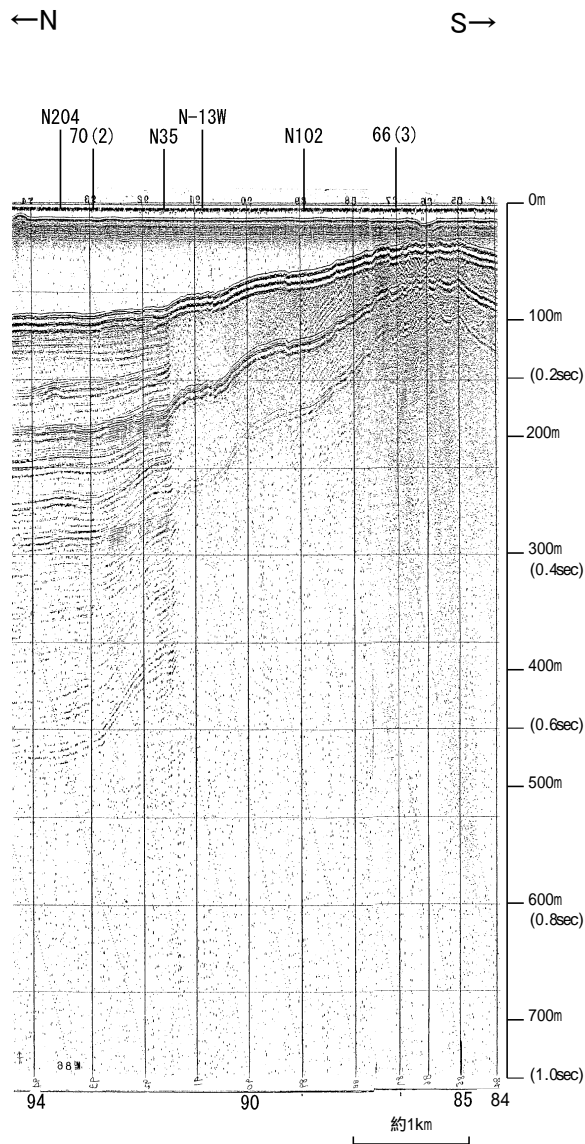


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D <sub>1</sub> 層
古第三紀	D <sub>2</sub> 層	
先第三紀	D <sub>3</sub> 層	

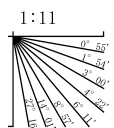


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 86



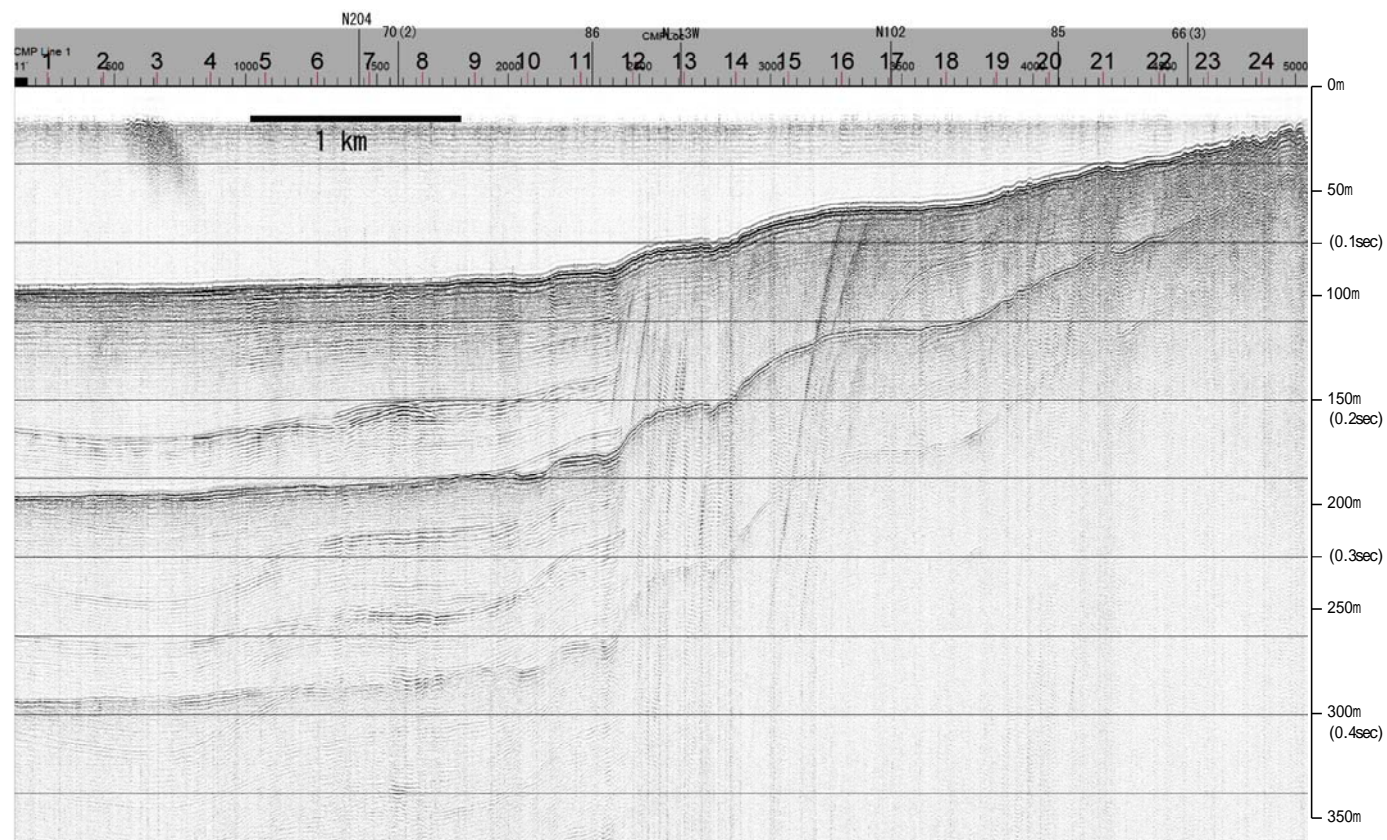
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>0</sub> 層
	中期	B <sub>1</sub> 層
	前期	B <sub>2</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	



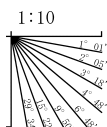
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

←NNW

SSE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



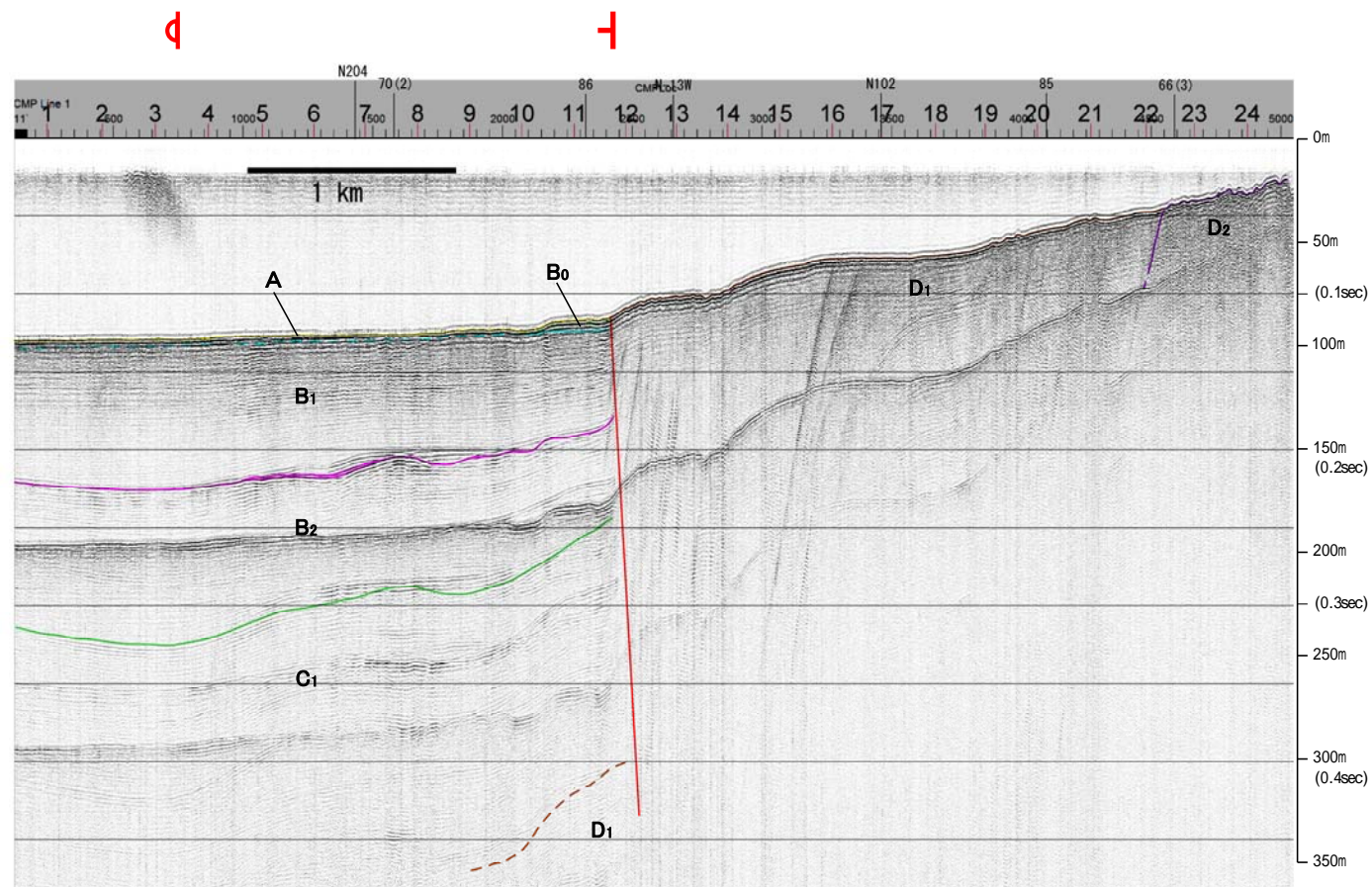


←NNW

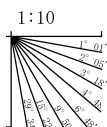
F<sub>y</sub>1

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

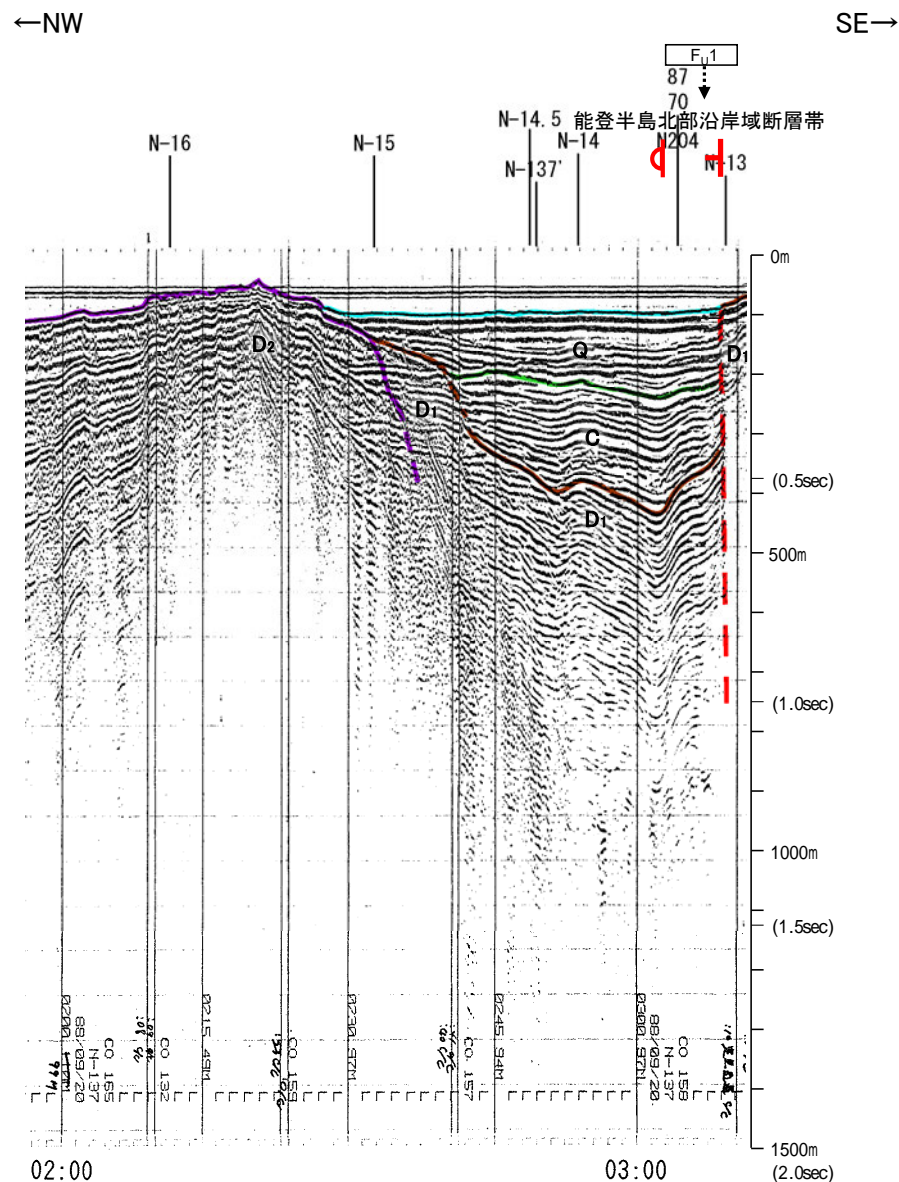
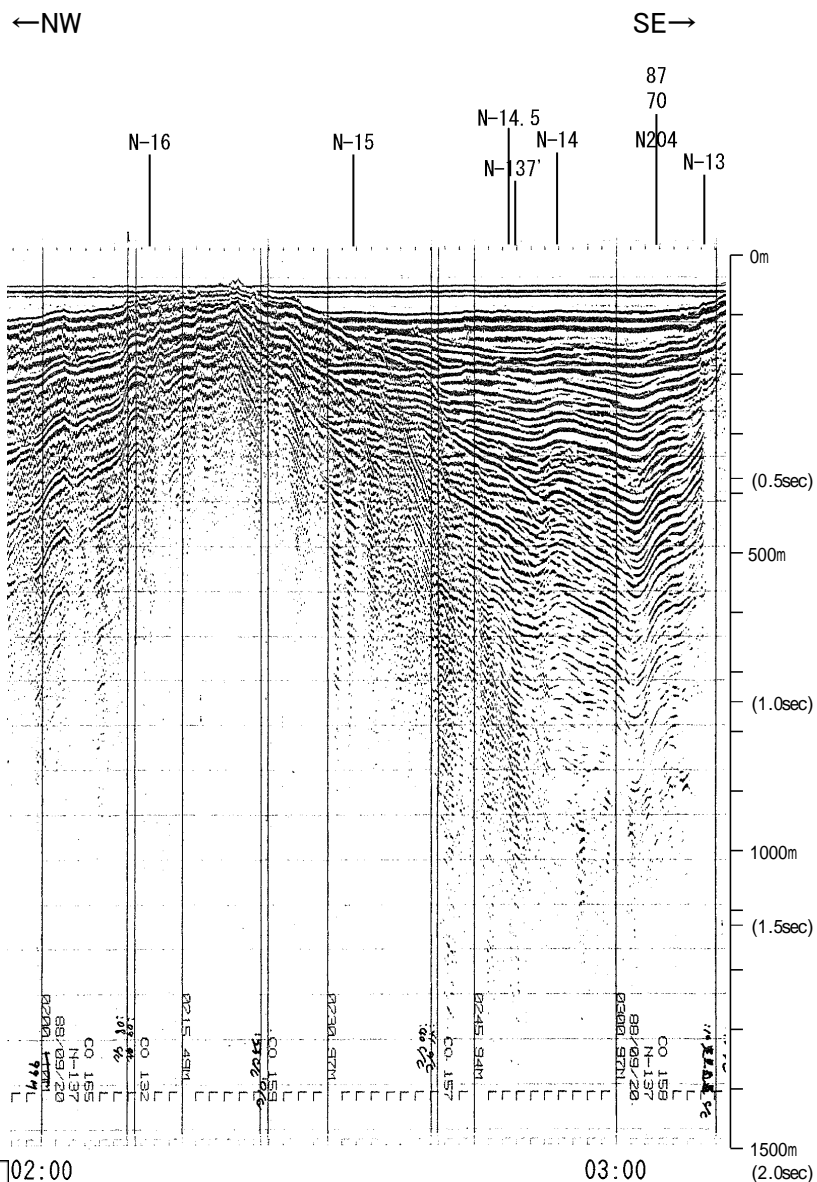


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
	前期	B <sub>4</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	中新世	C <sub>2</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	

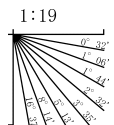


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-137

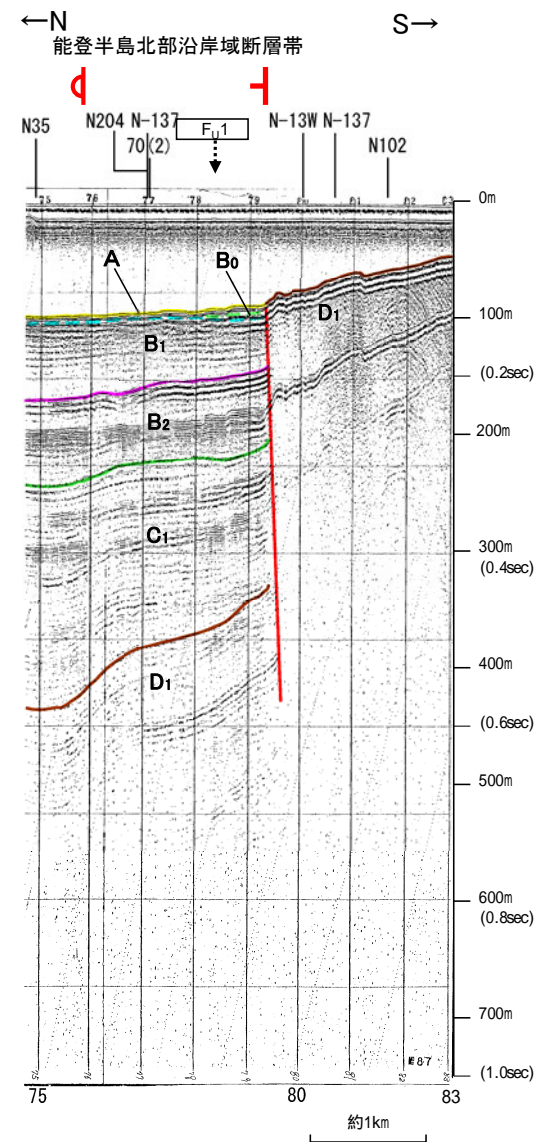
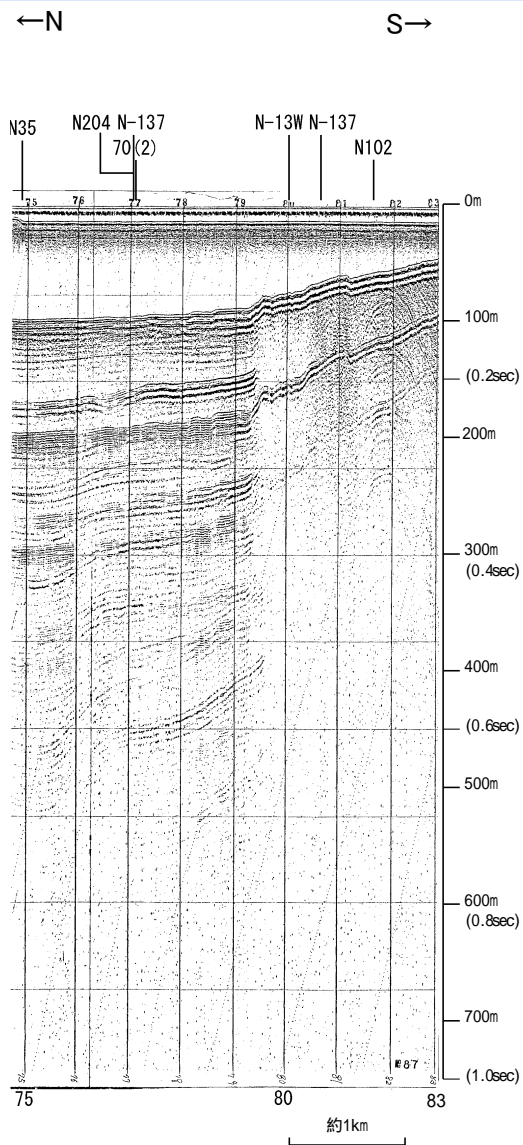


地質時代	地層名	
新第三紀 第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
前期	B層	
	C層	
新第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

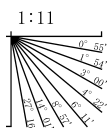


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 87

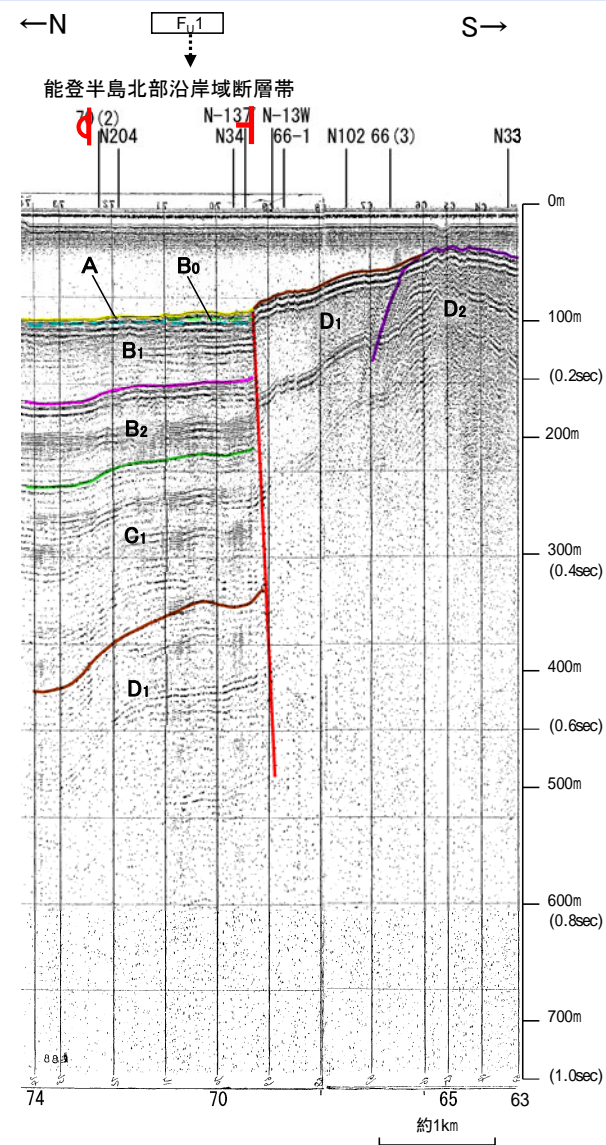
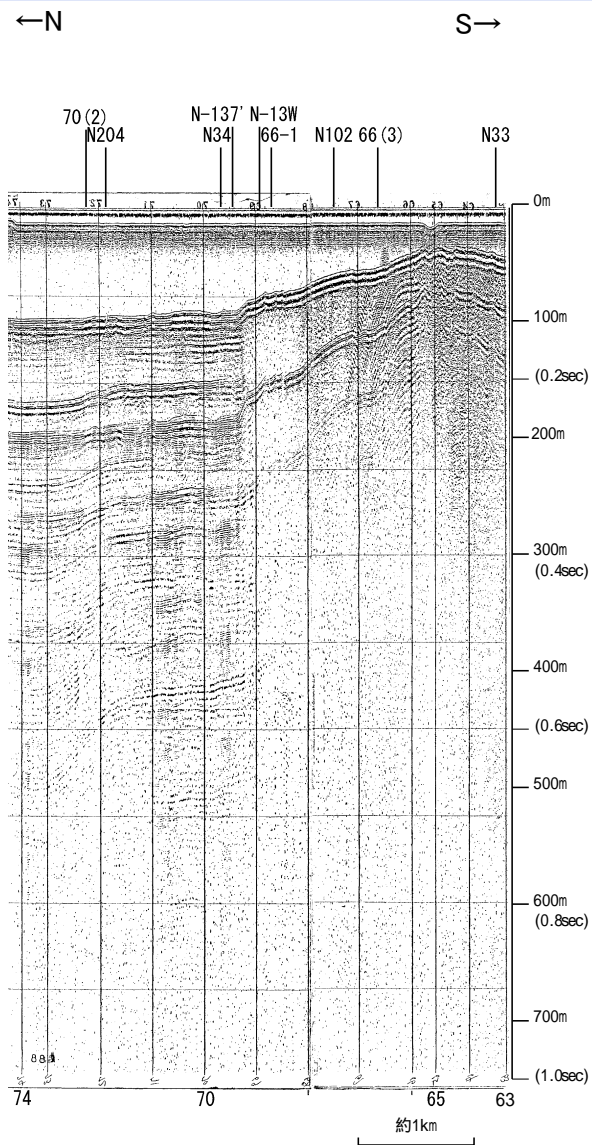


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>0</sub> 層
	中期	B <sub>1</sub> 層
	前期	B <sub>2</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	中新世	C <sub>2</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	

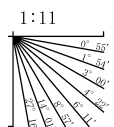


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 88



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>0</sub> 層
	中期	B <sub>1</sub> 層
	前期	B <sub>2</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	

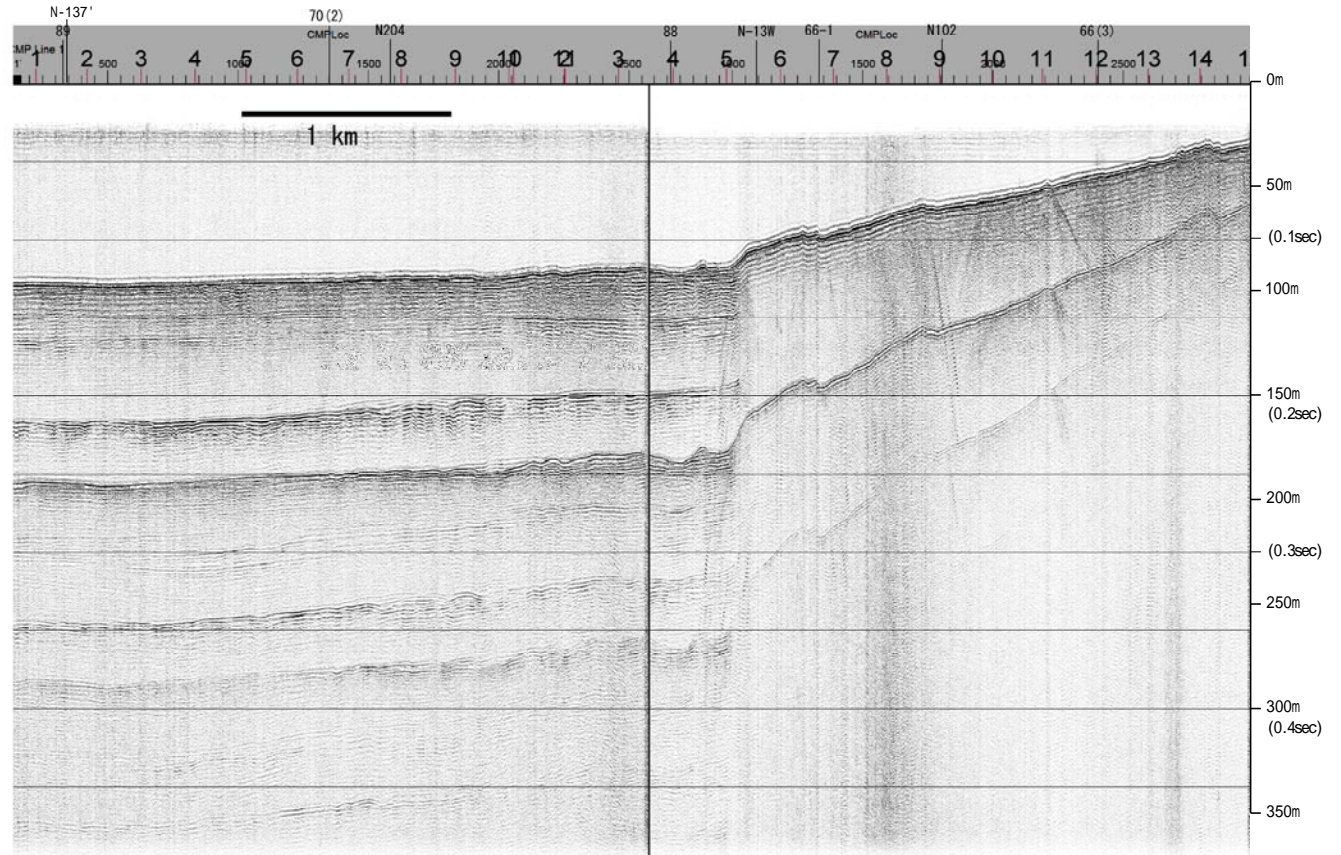


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

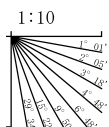
# 産総研ブーマー N34,N34-2

←NNW

SSE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

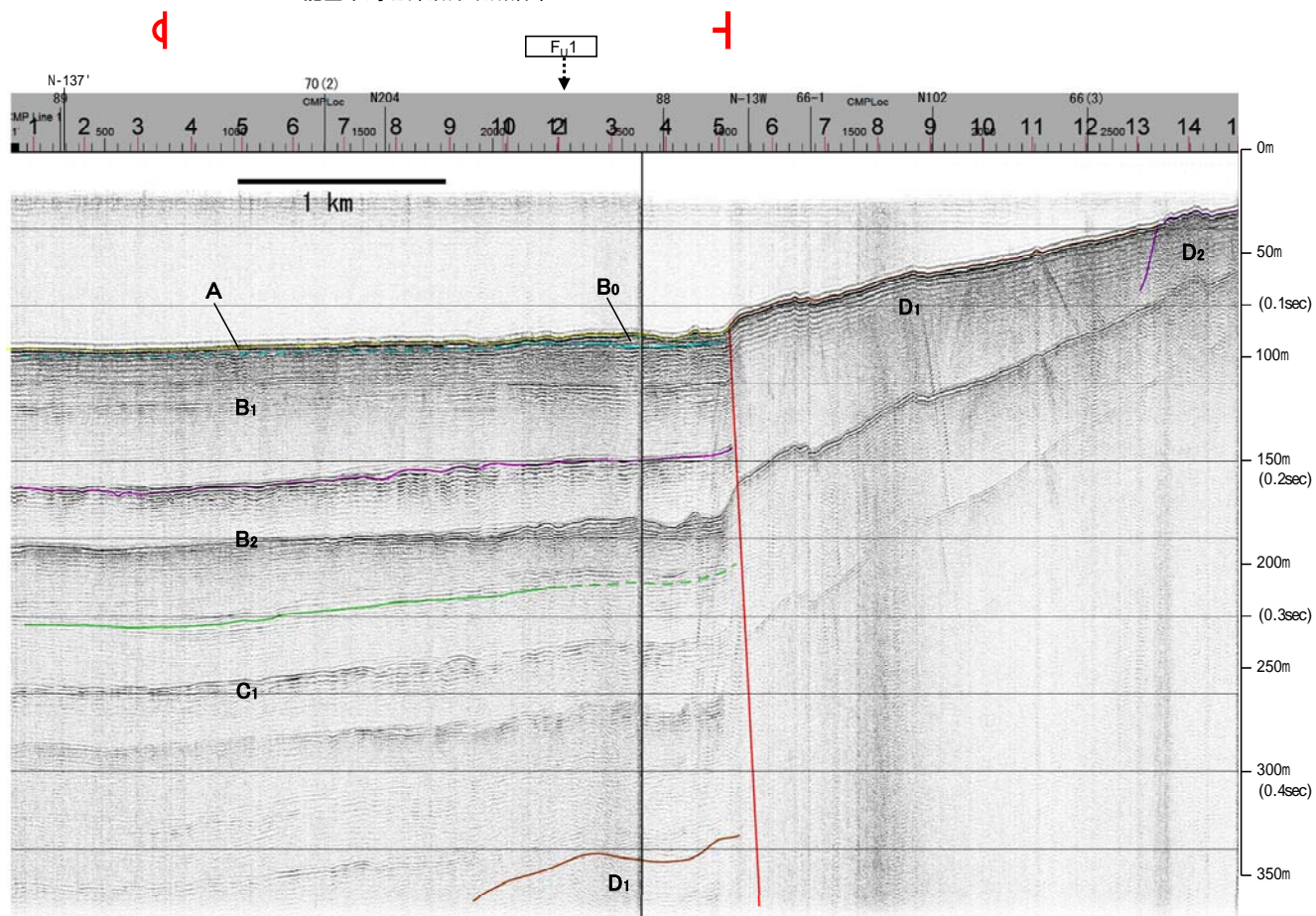


# 産総研ブーマー N34,N34-2

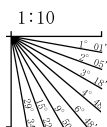
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

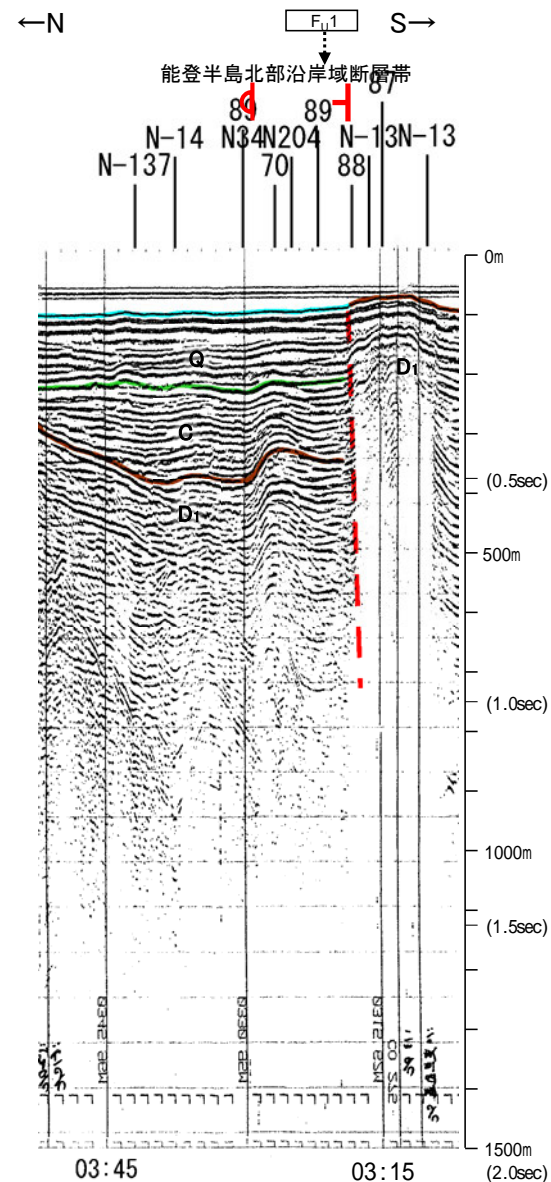
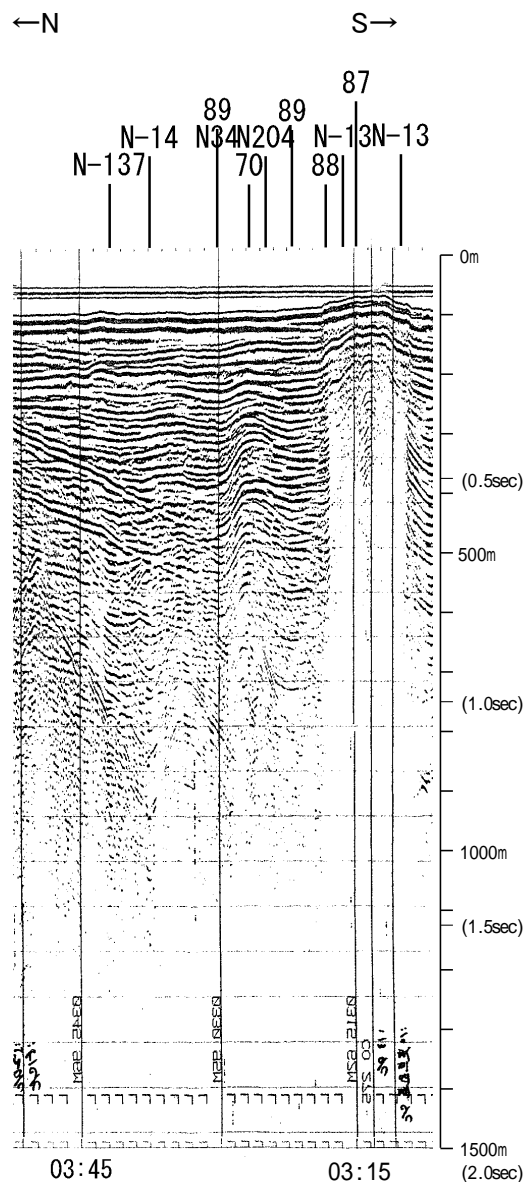


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	中新世	C層	
第三紀	中新世	C層	
		D層	
	古第三紀	D層	
先第三紀	D層		

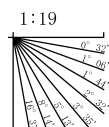


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-137'

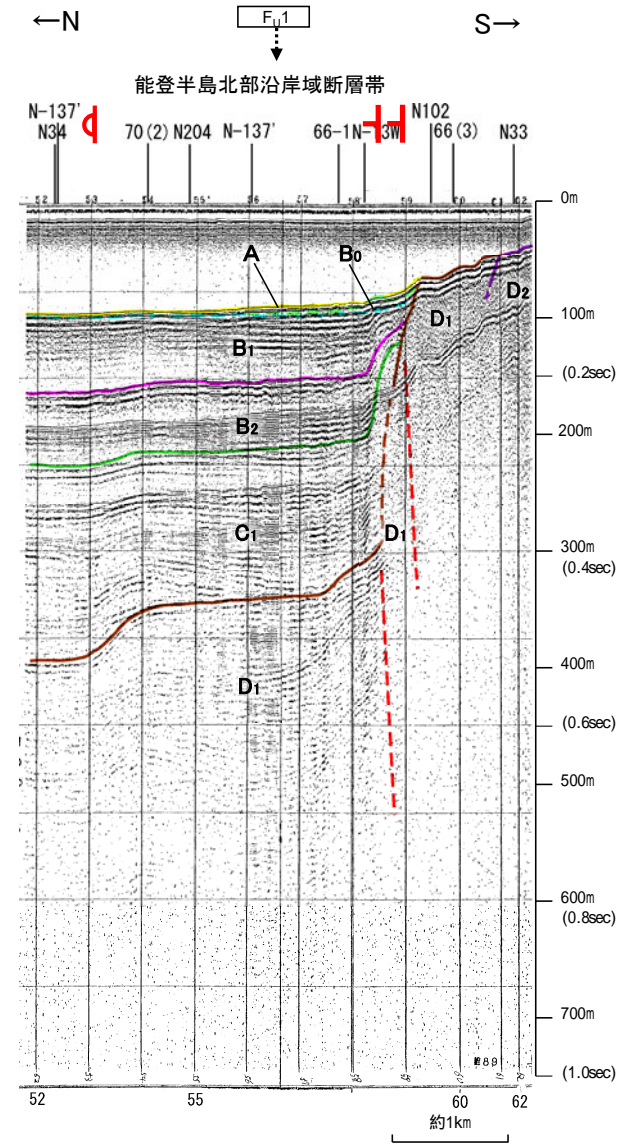
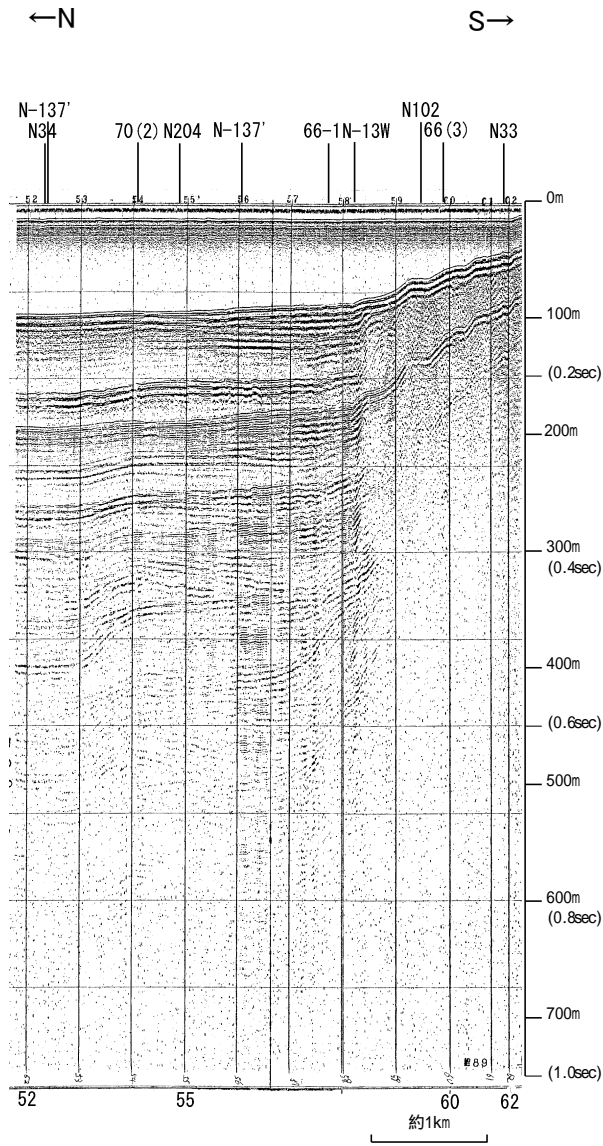


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B <sub>3</sub> 層
	前期	B <sub>4</sub> 層
C層		
第三紀	鮮新世	C <sub>1</sub> 層
	中新世	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>2</sub> 層
先第三紀	D <sub>3</sub> 層	

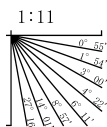


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 89



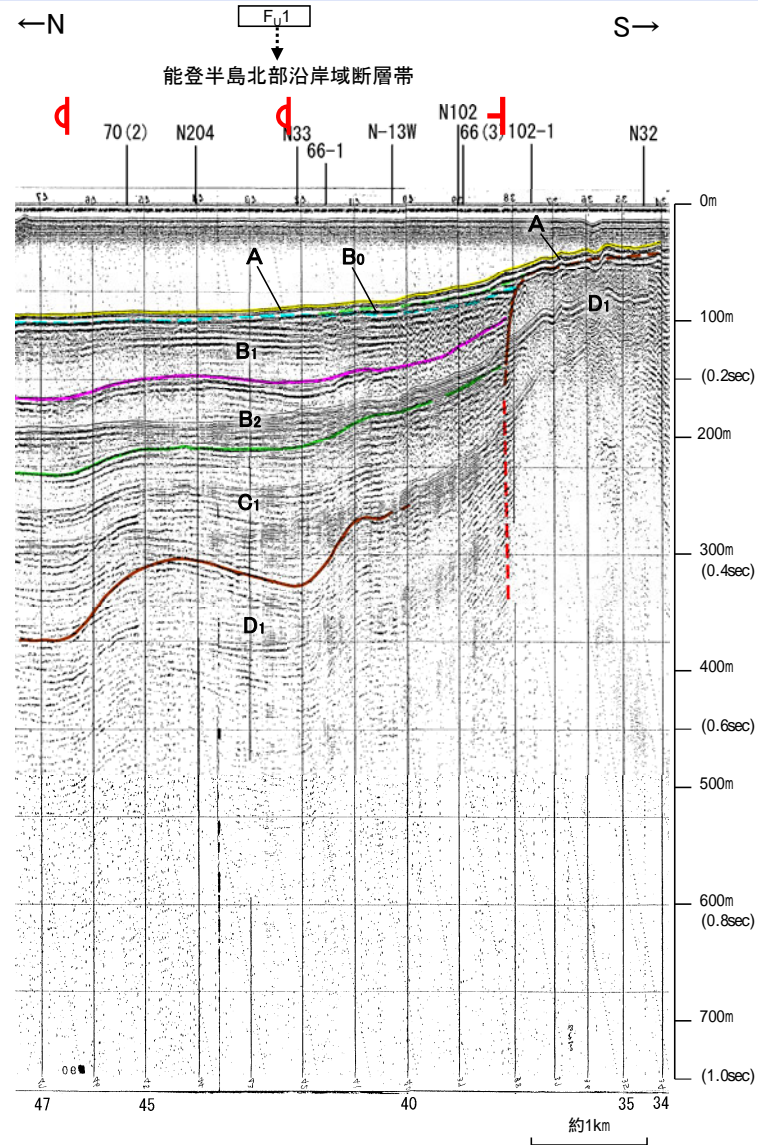
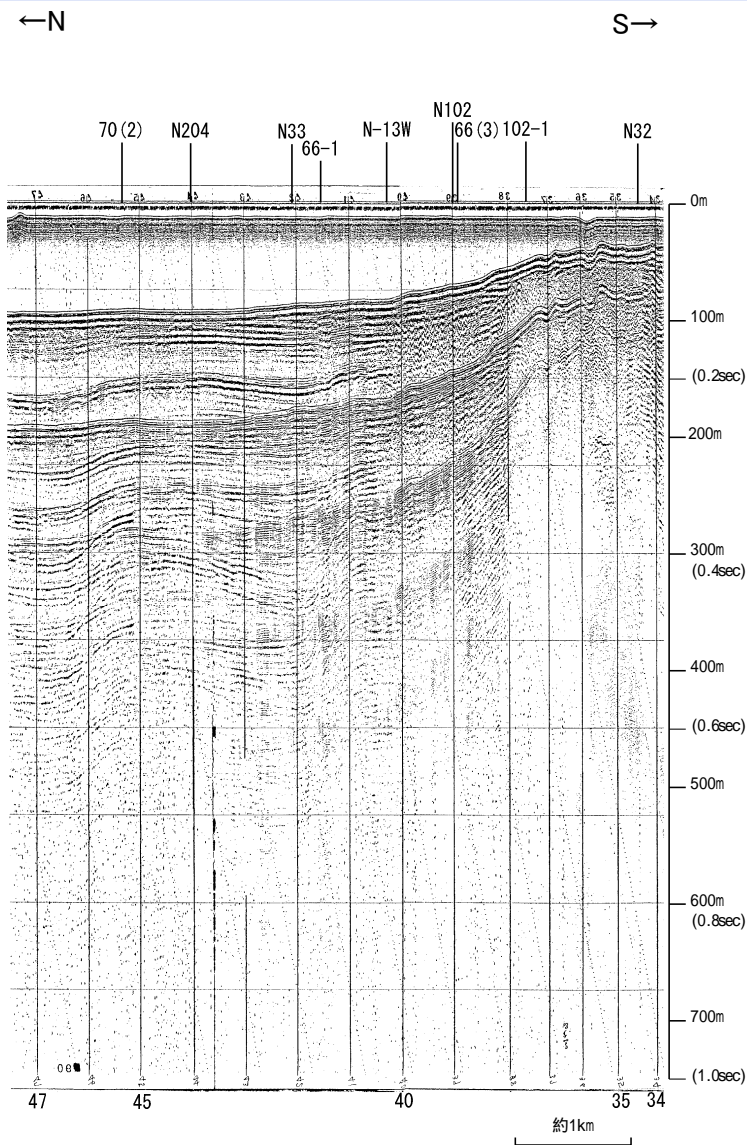
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>0</sub> 層
	中期	B <sub>1</sub> 層
	前期	B <sub>2</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	



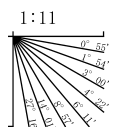
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



# 海上保安庁スパーカー 90



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層

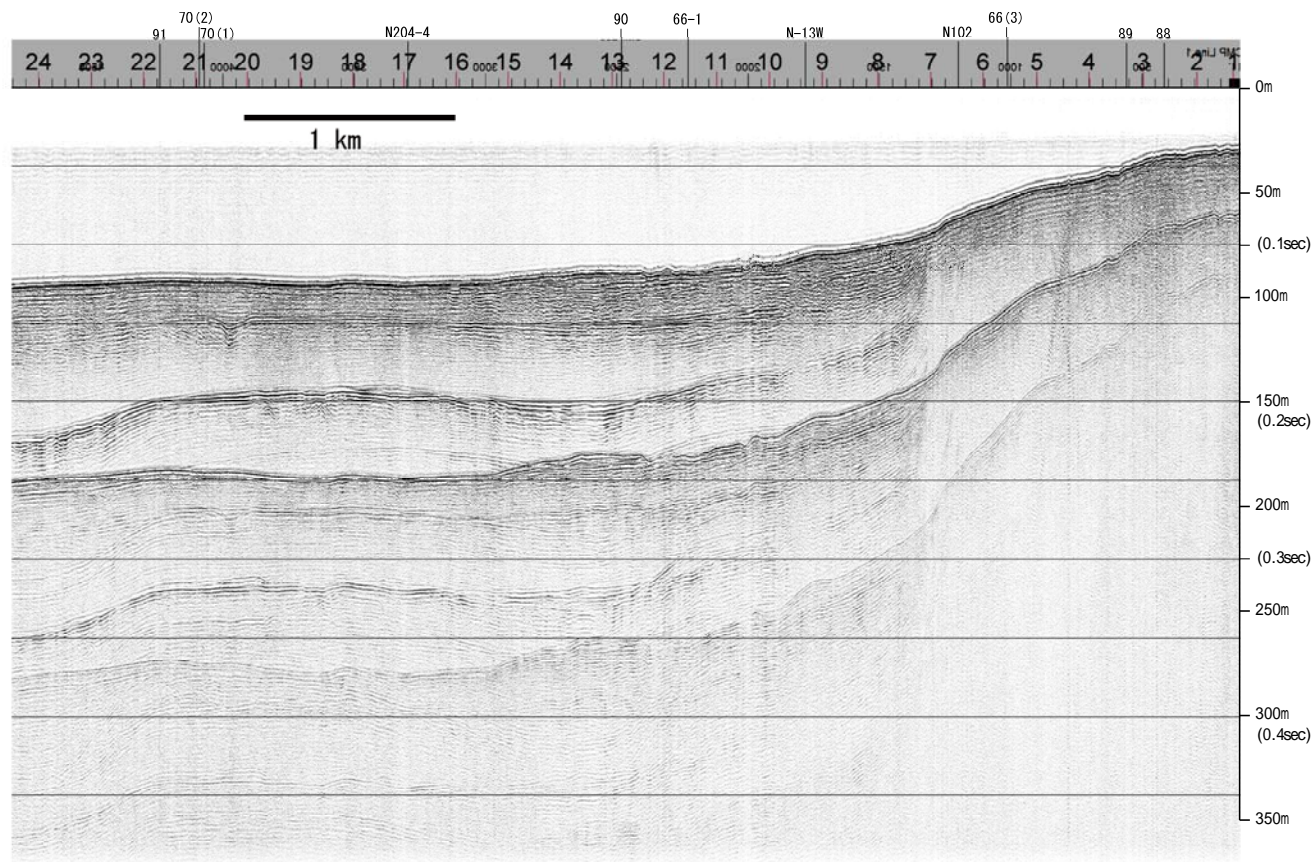


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

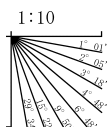
# 産総研ブーマー N33

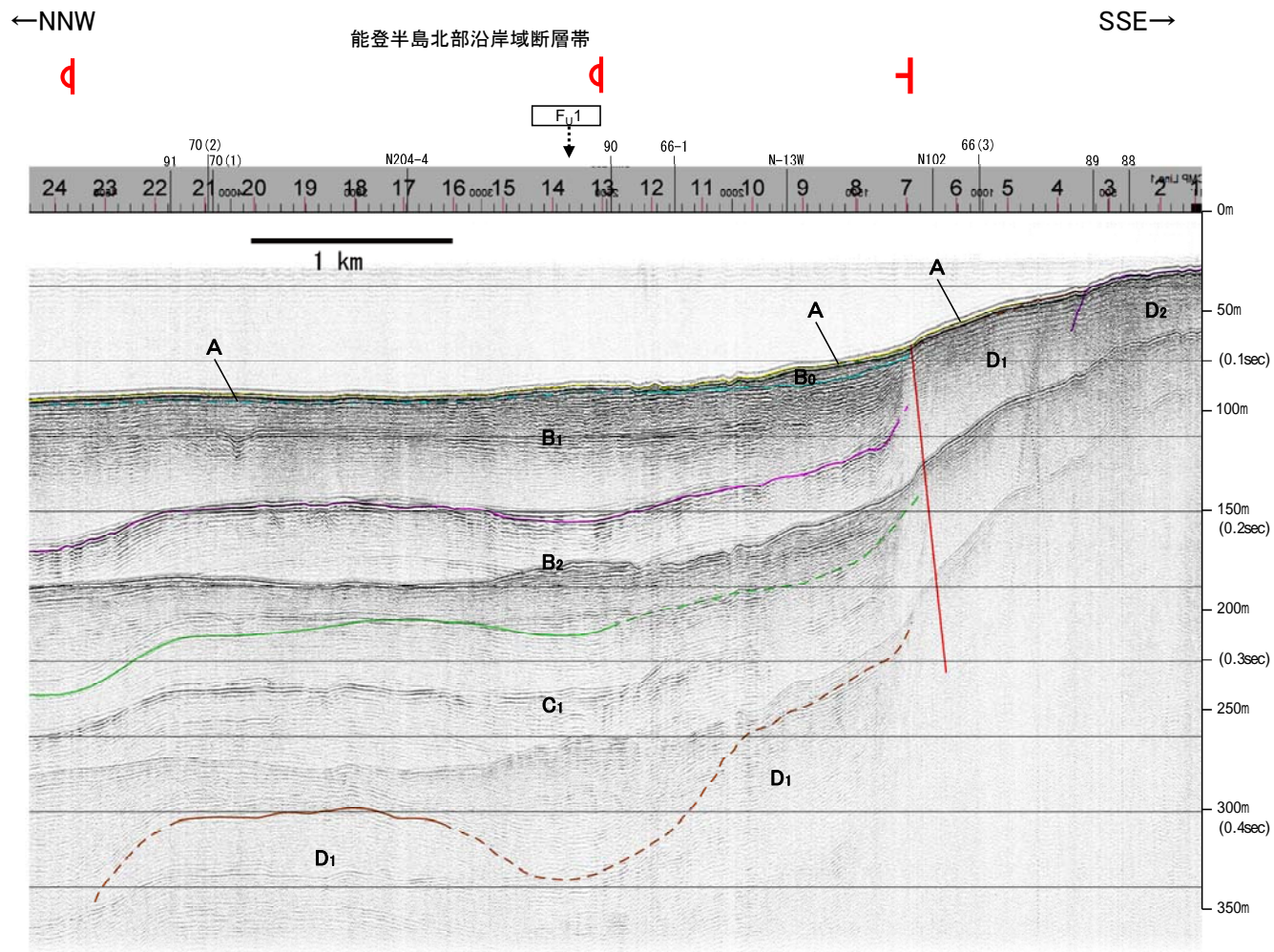
←NNW

SSE→

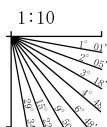


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



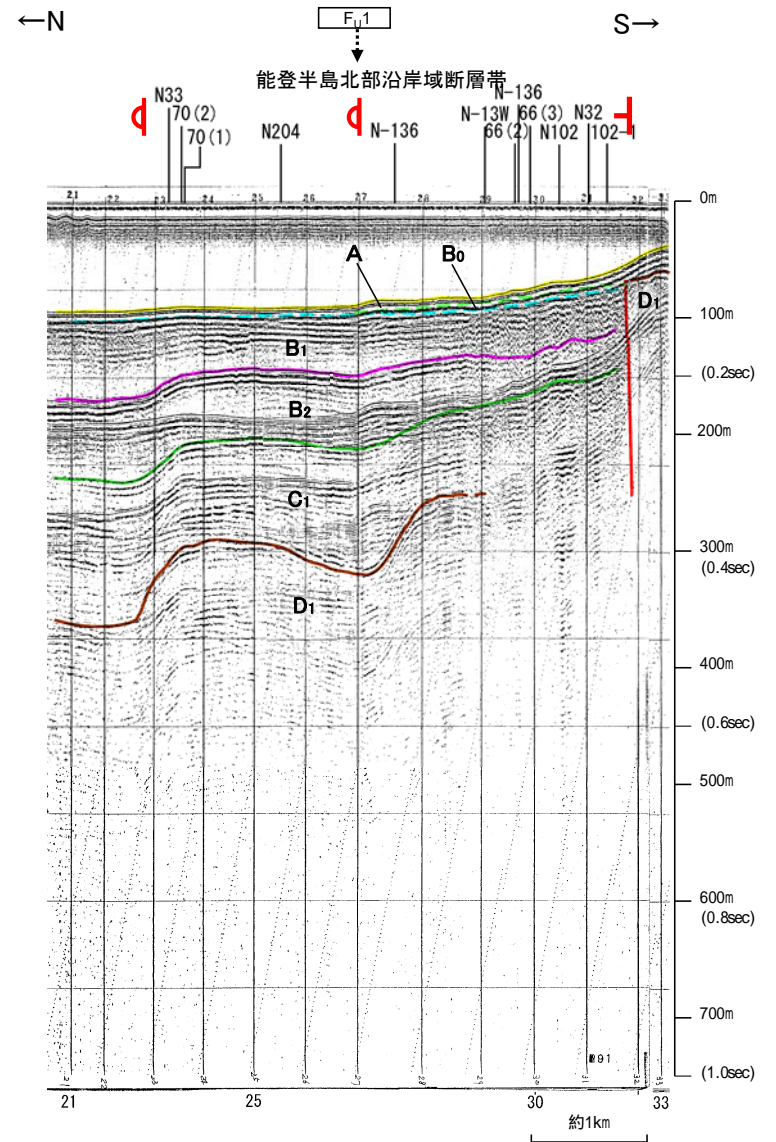
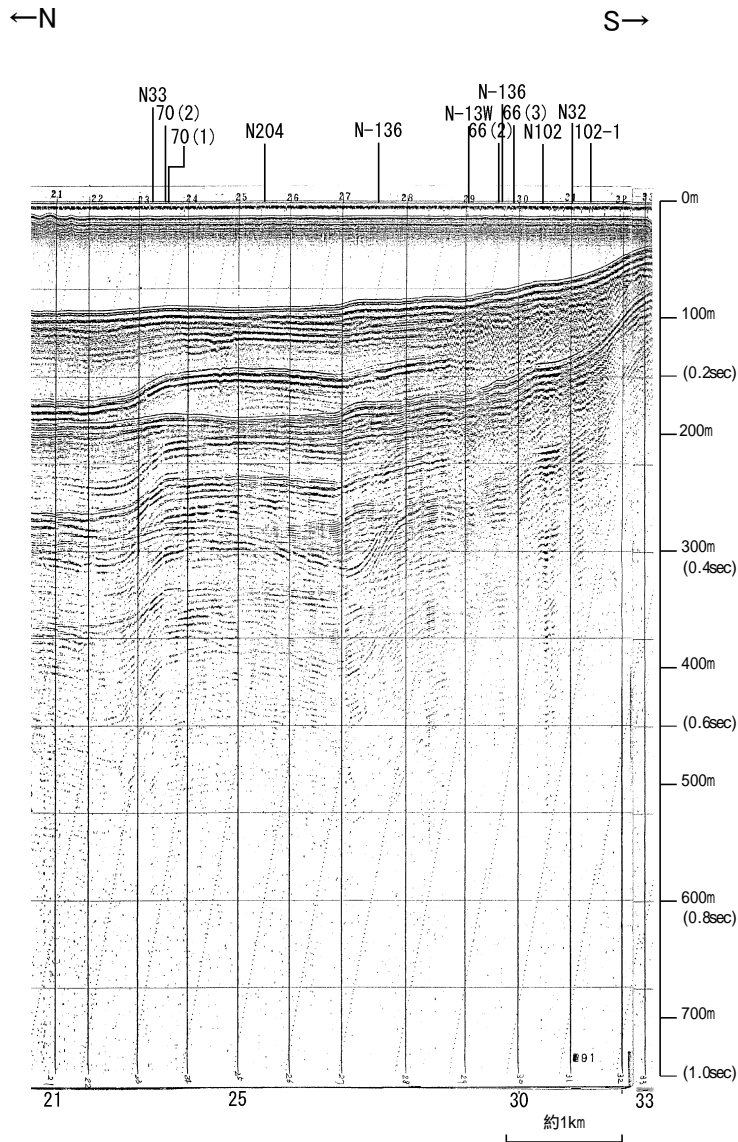


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	Q層	A層
	更新世	B層	B <sub>1</sub> 層
			B <sub>2</sub> 層
			B <sub>3</sub> 層
更新世	C層	C <sub>1</sub> 層	
第三紀	新第三紀	D層	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D層	D <sub>2</sub> 層
			D <sub>3</sub> 層

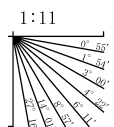


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 91

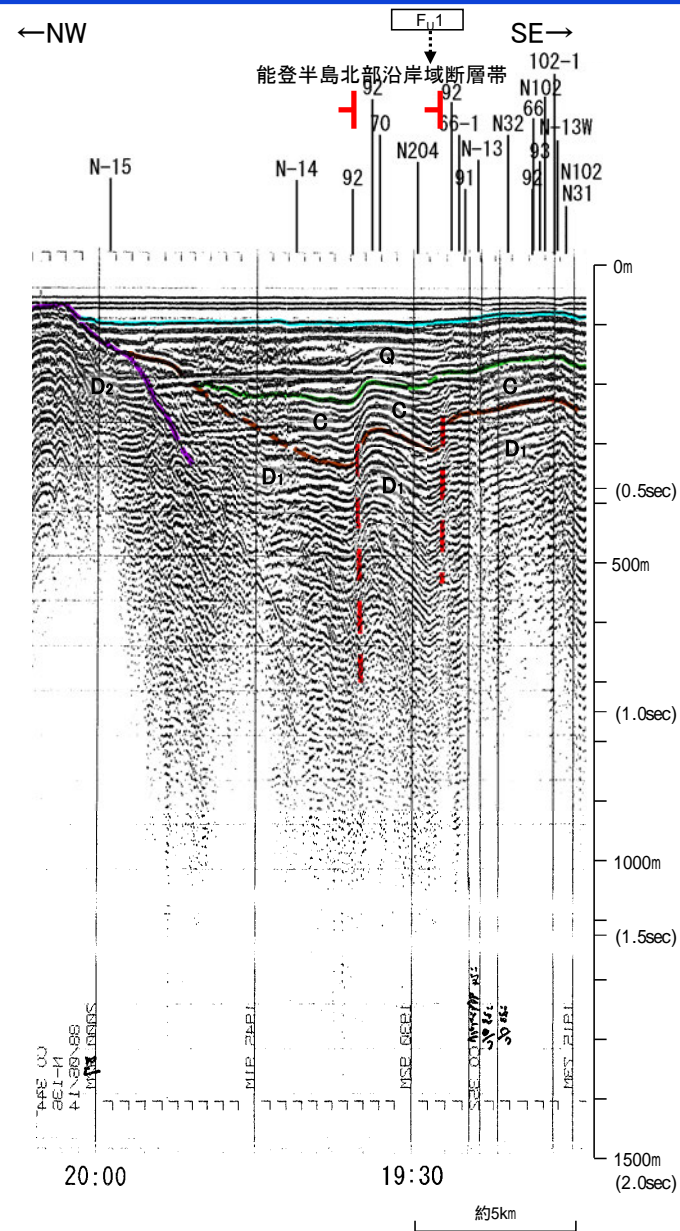
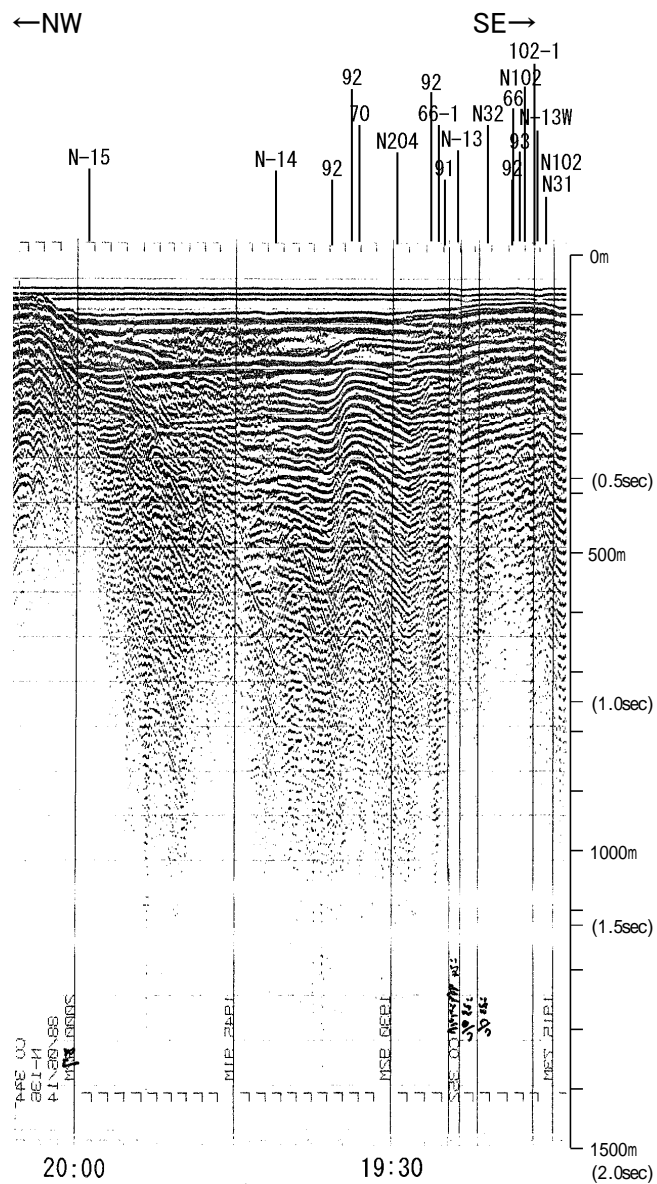


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層

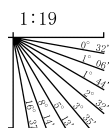


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-136



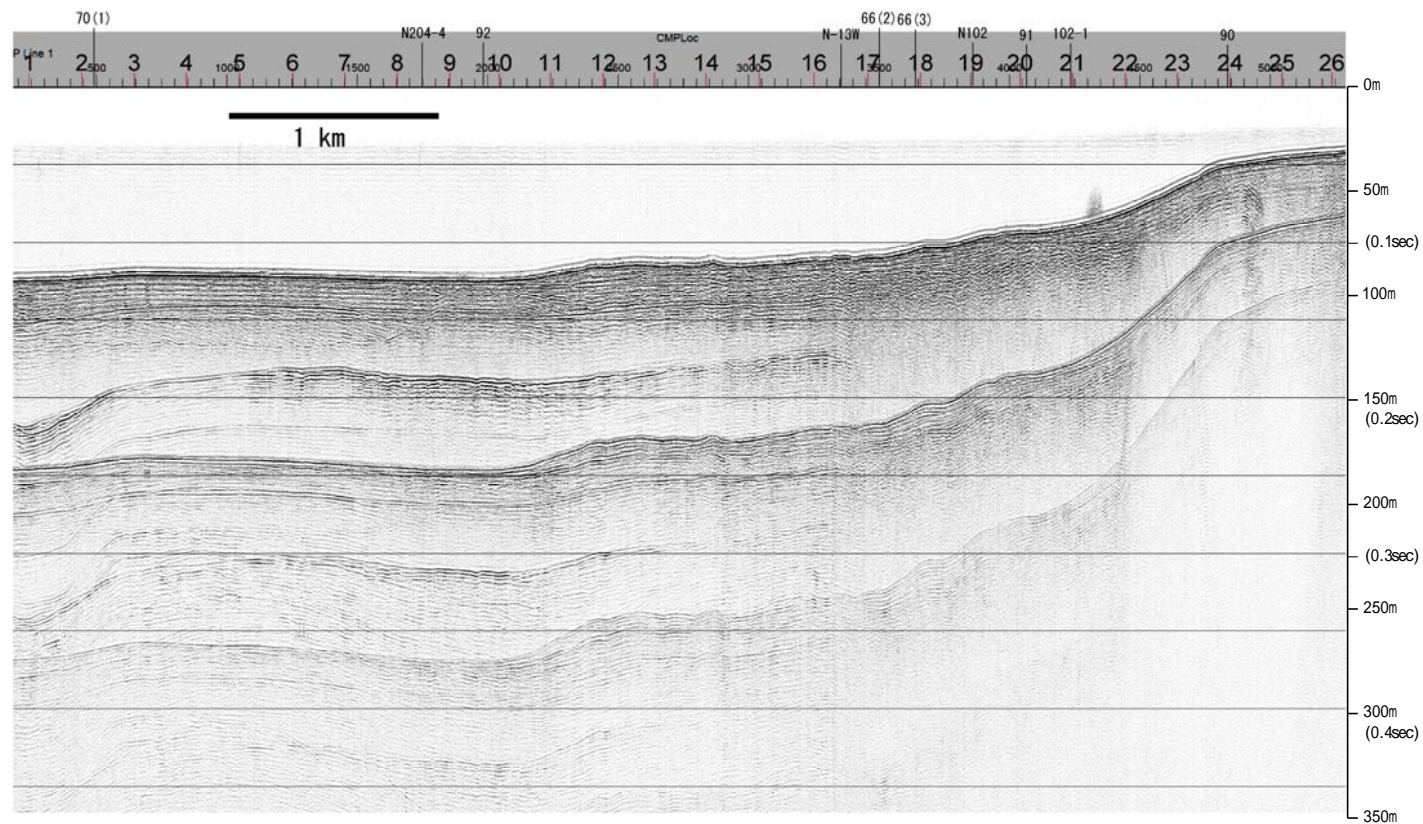
地質時代		地層名
第四紀 更新世	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀 新第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
先第三紀		D層



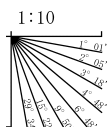
# 産総研ブーマー N32

←NNW

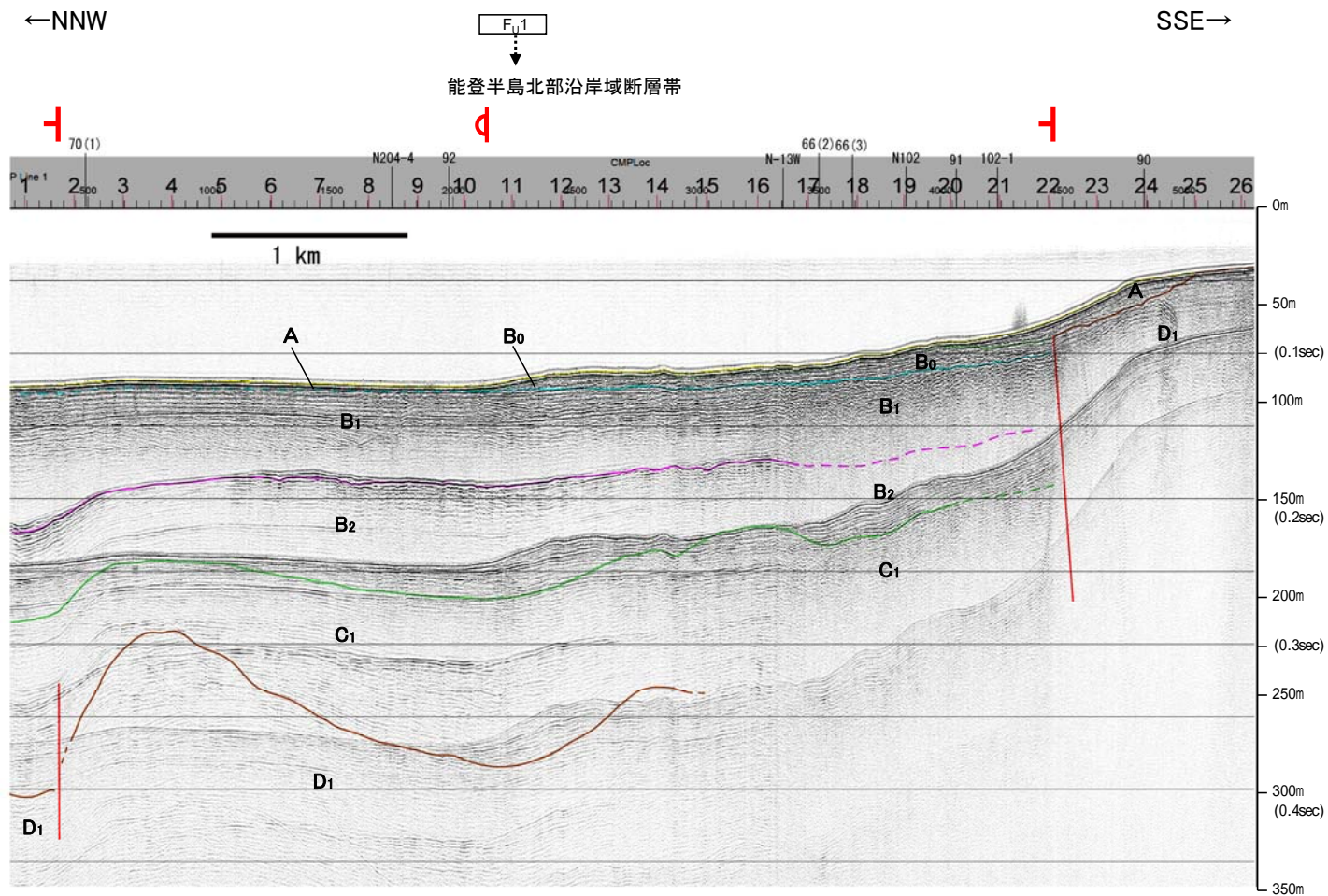
SSE→



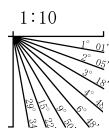
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
	先第三紀	D層	



# 産総研ブーマー N32

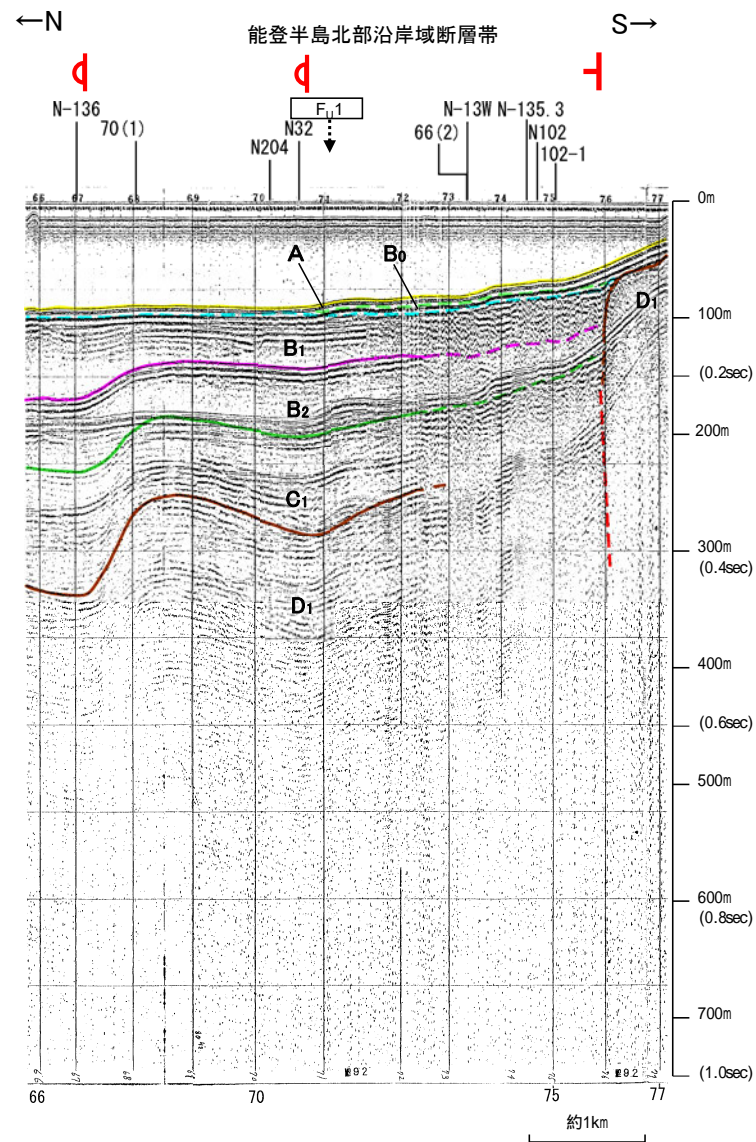
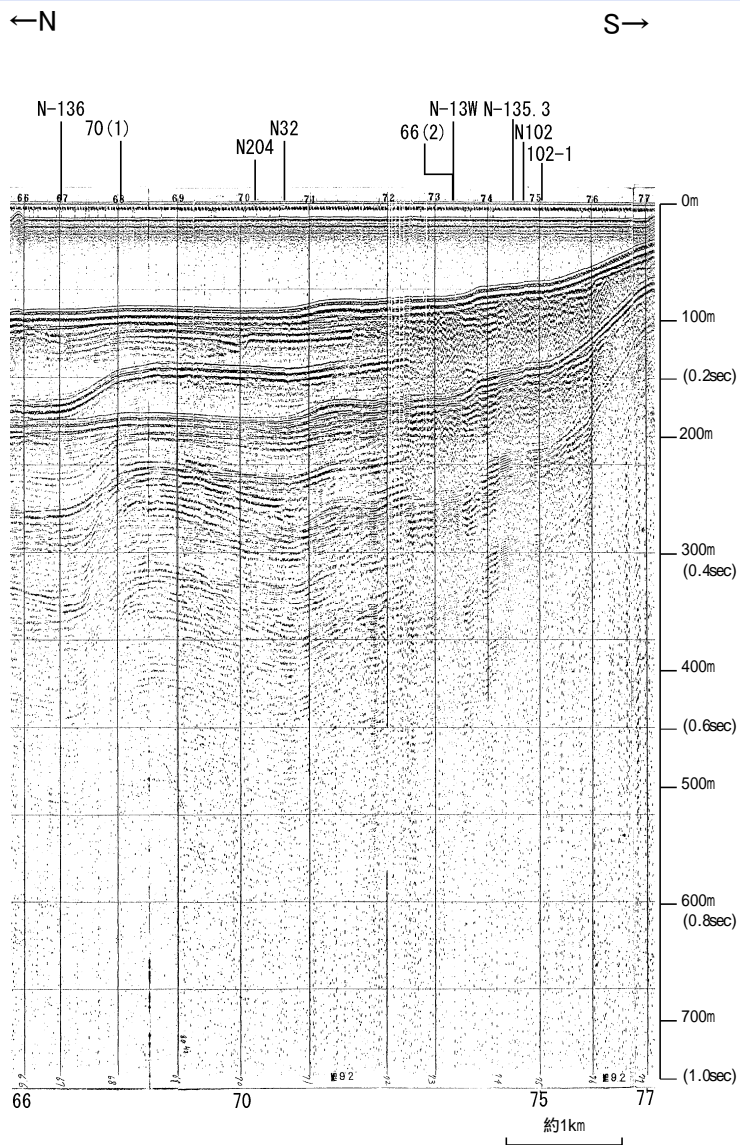


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		前期	B <sub>0</sub> 層
	中世	Q層	B <sub>1</sub> 層
		B層	B <sub>1</sub> 層
			B <sub>2</sub> 層
C層	C <sub>1</sub> 層		
第三紀	鮮新世	D <sub>1</sub> 層	
	中新世	D <sub>1</sub> 層	
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層	
先第三紀		D <sub>1</sub> 層	

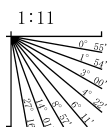


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 92



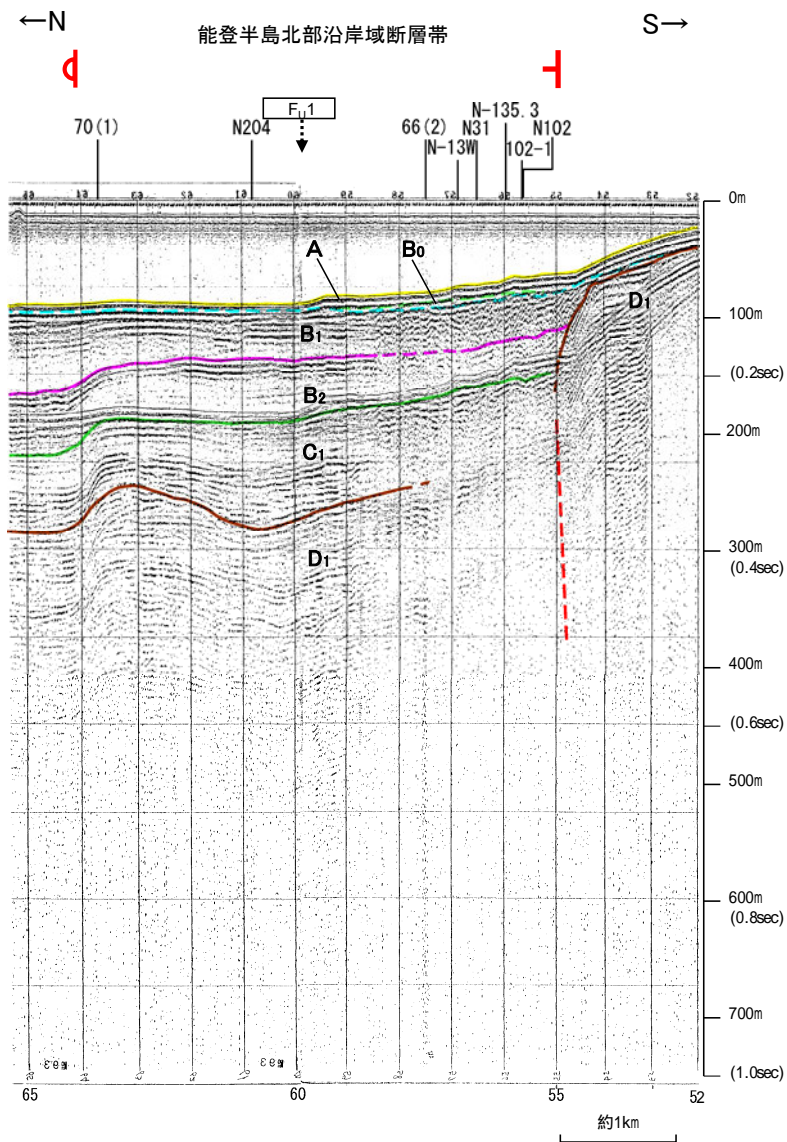
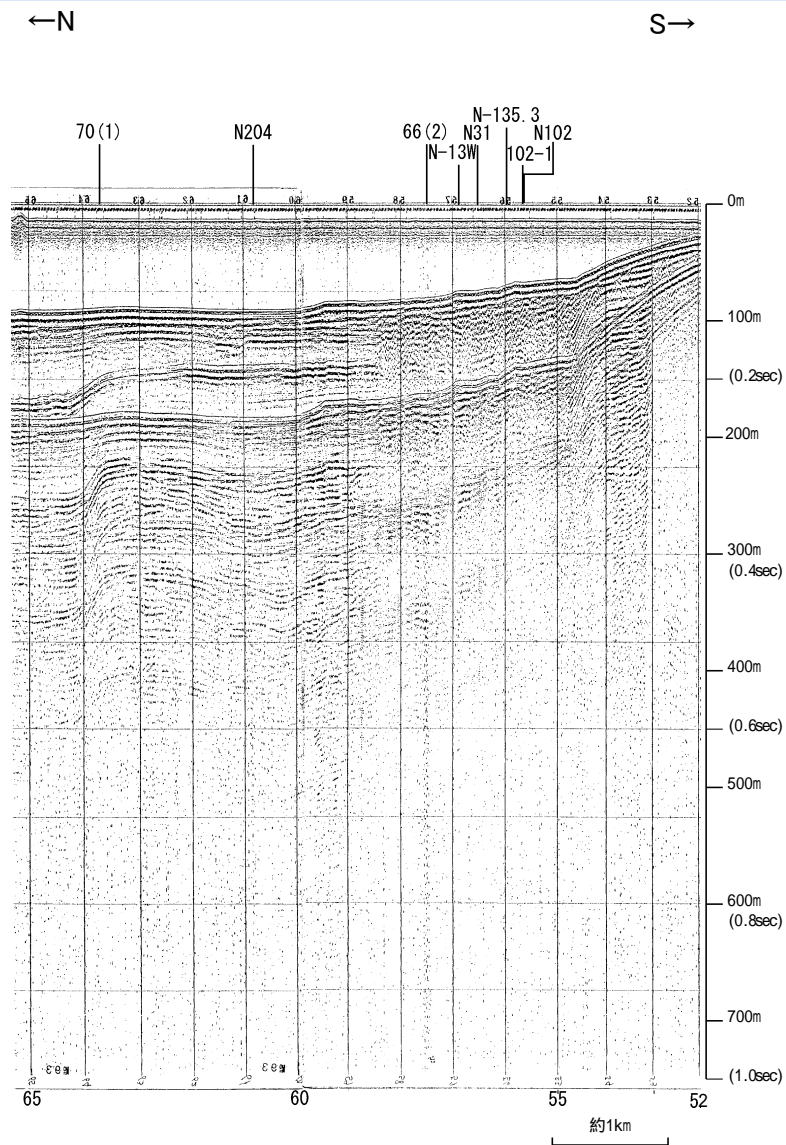
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>0</sub> 層
	中期	B <sub>1</sub> 層
	前期	B <sub>2</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	



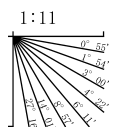
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



# 海上保安庁スパーカー 93



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>0</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	

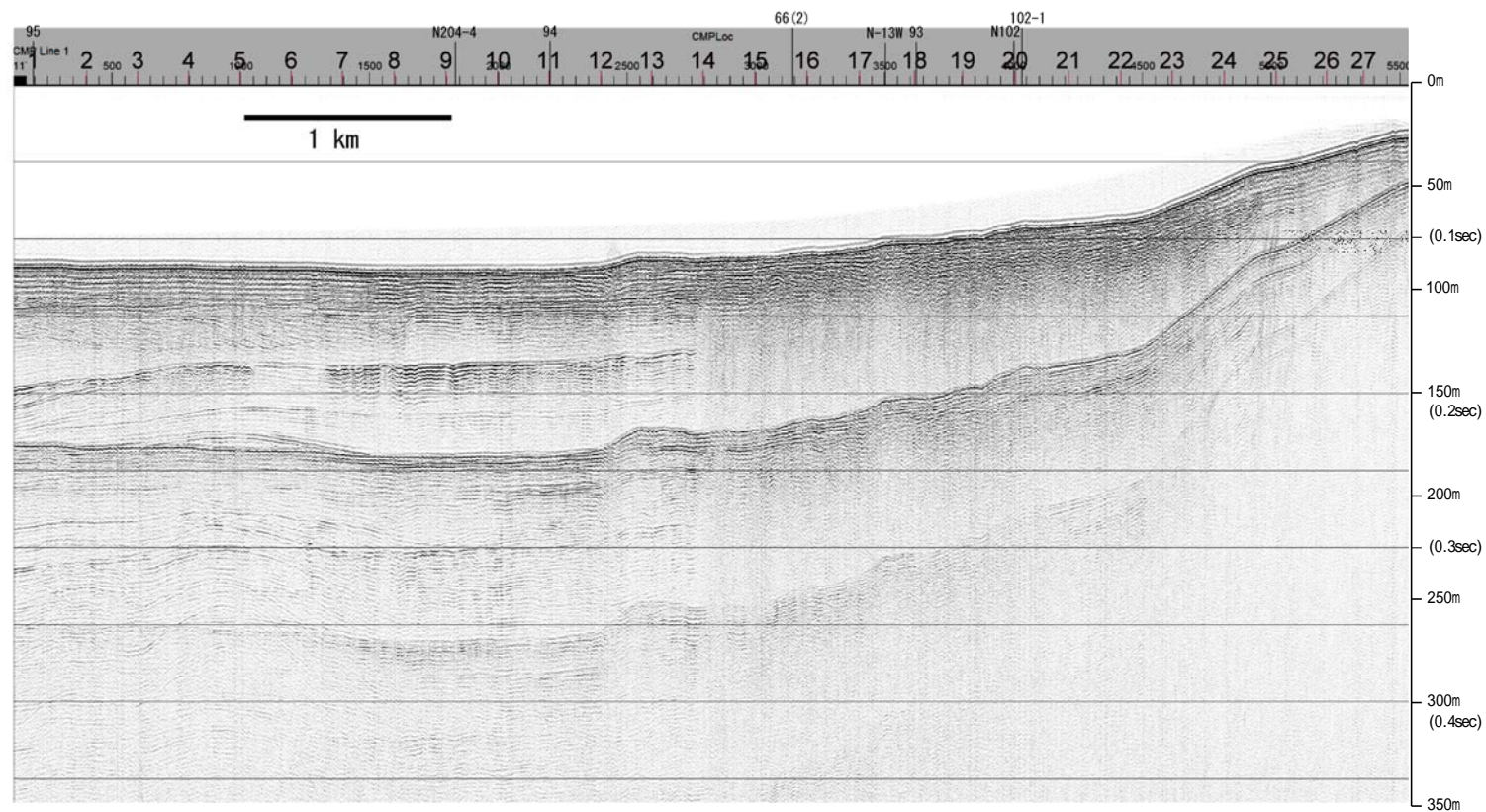


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

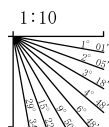
# 産総研ブーマー N31

←NNW

SSE→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	新第三紀	C層	
第三紀	中新世	C層	
	古第三紀	D層	
	先第三紀	D層	

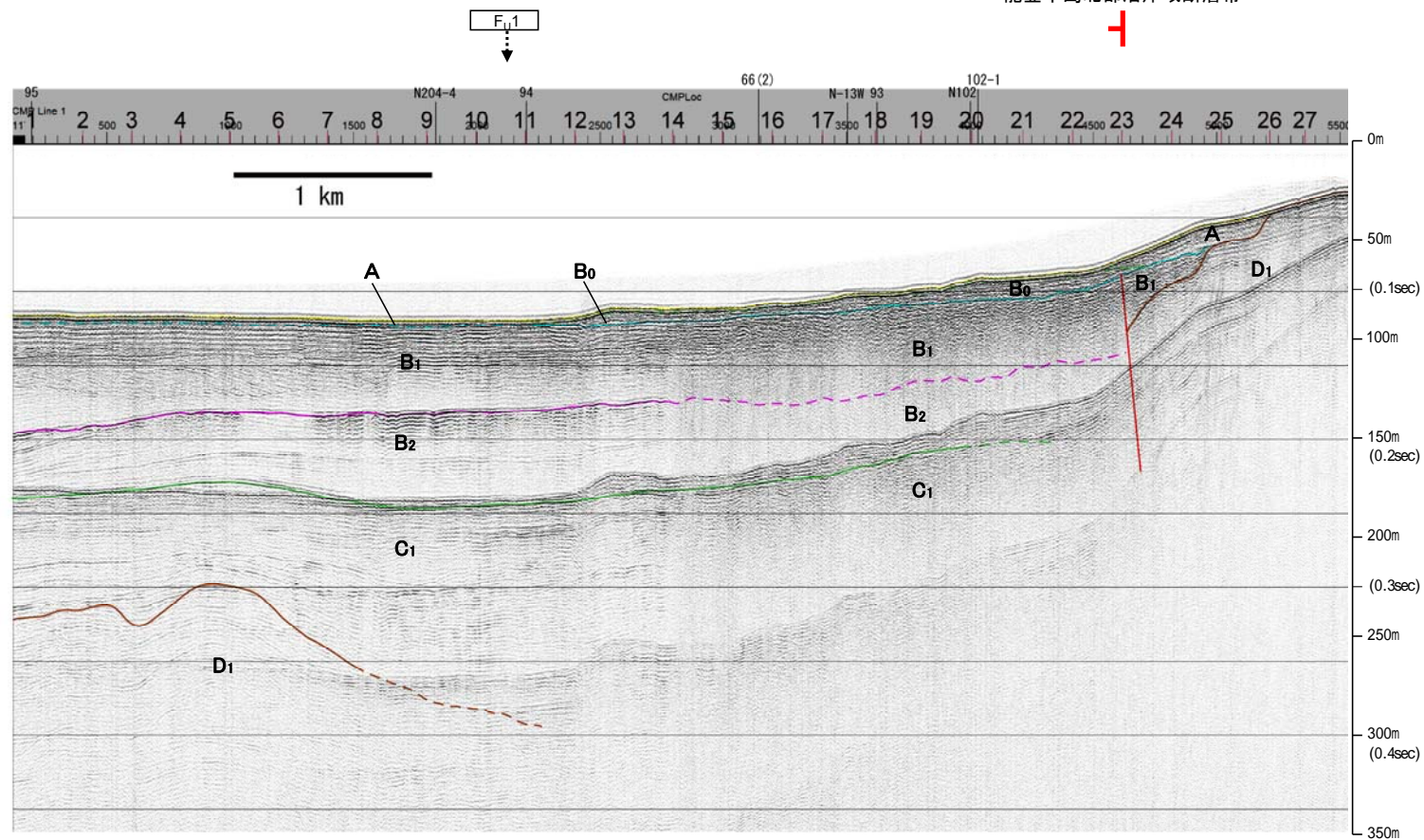


# 産総研ブーマー N31

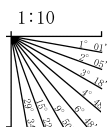
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

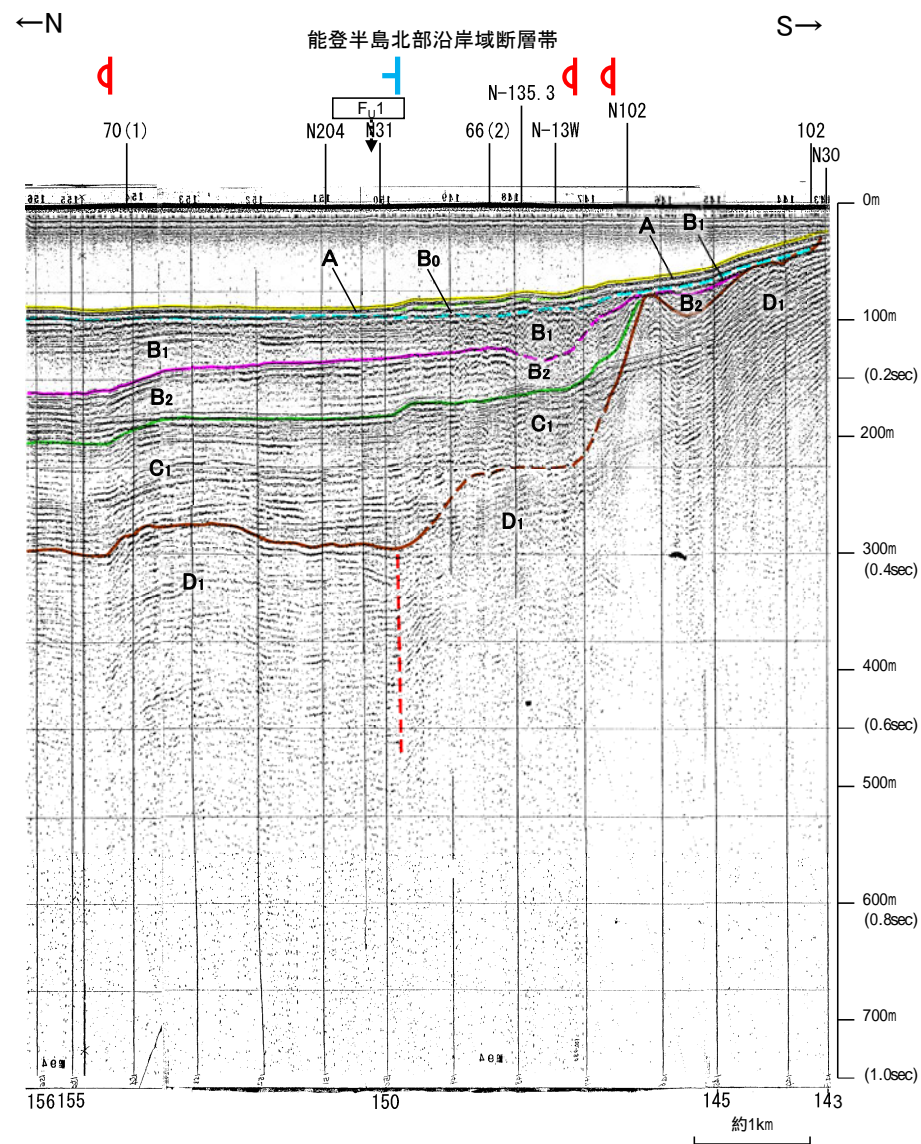
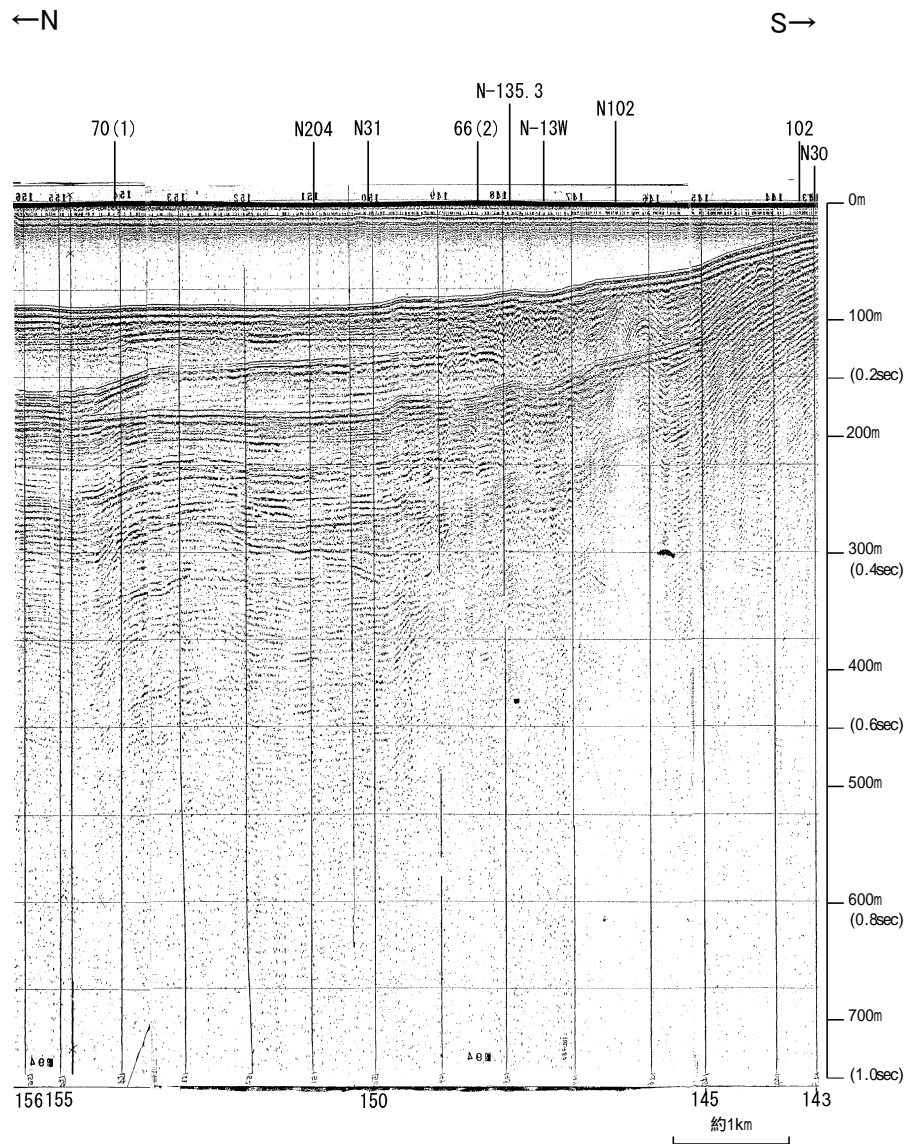


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>1</sub> 層
第三紀	中新世	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層

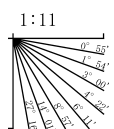


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 94

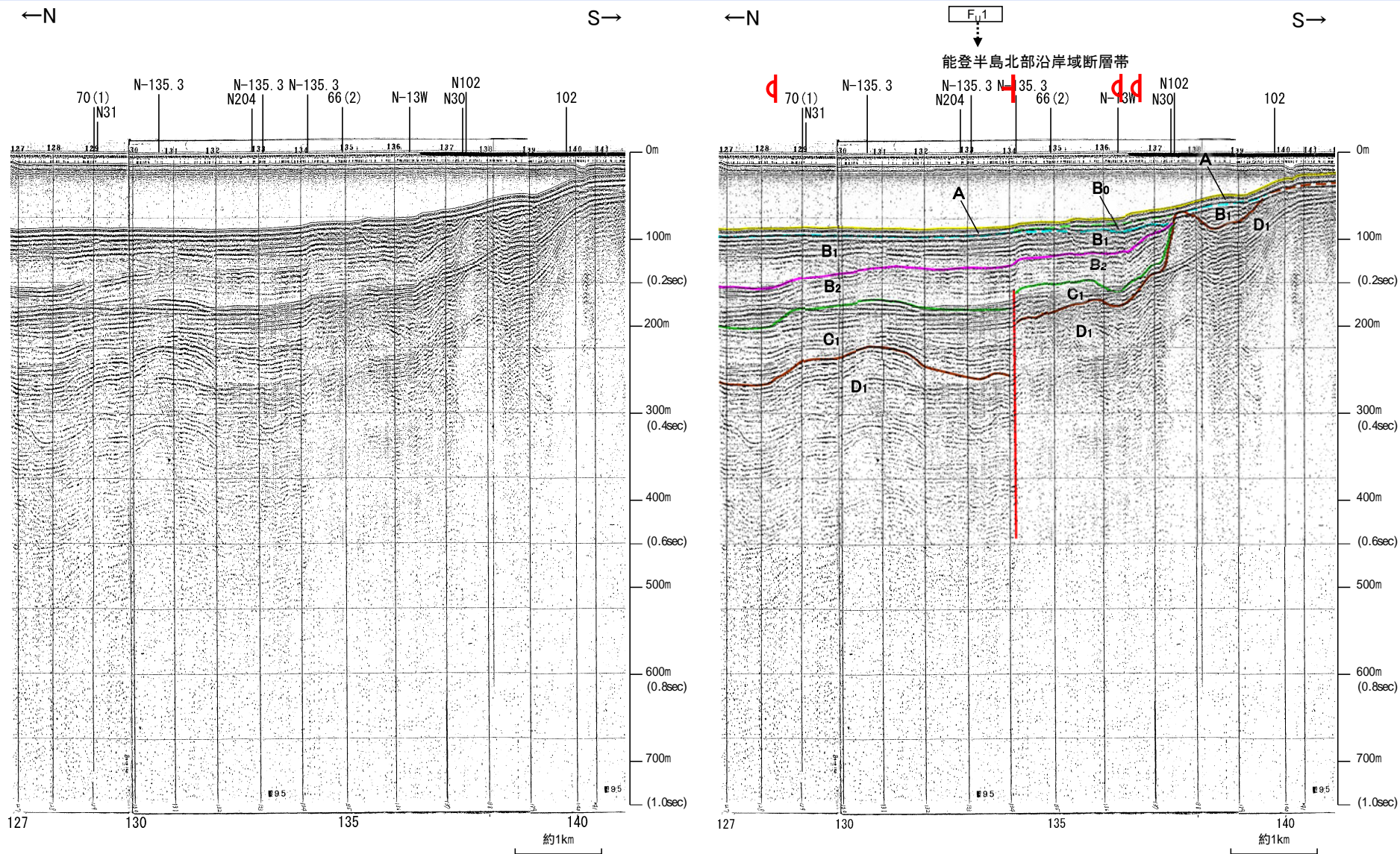


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>1</sub> 層 B <sub>2</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層

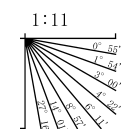


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 95

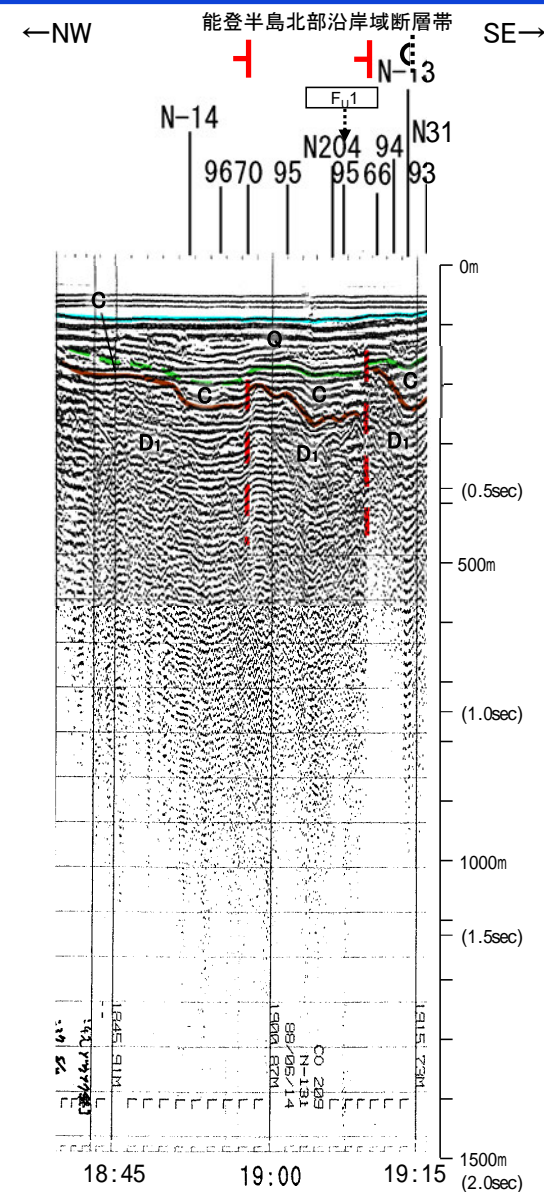
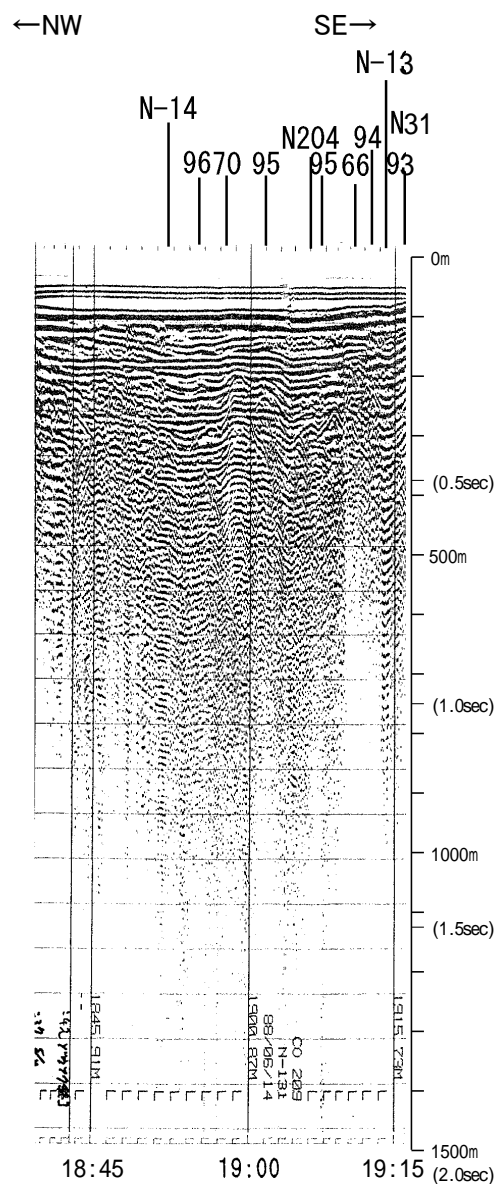


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>0</sub> 層
第三紀	中新世	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	

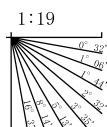


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-135.3

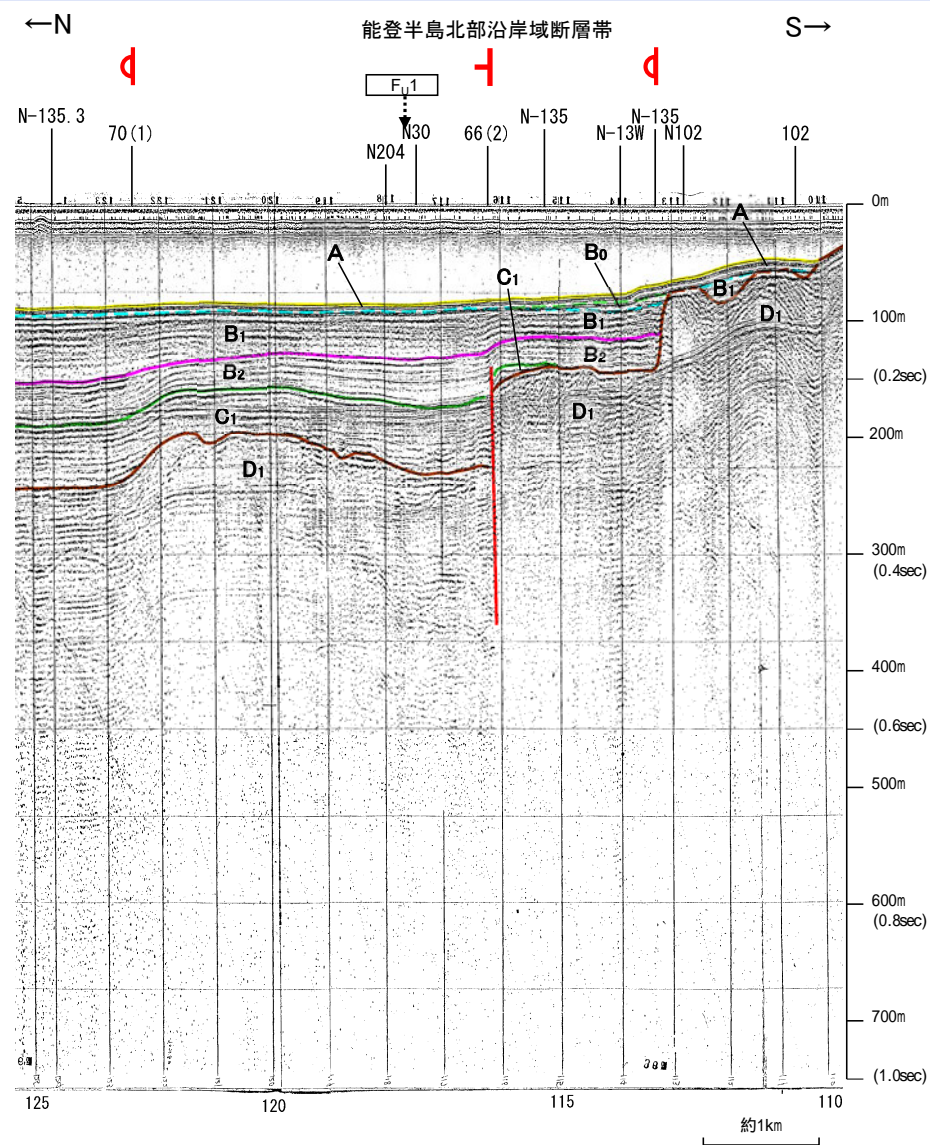
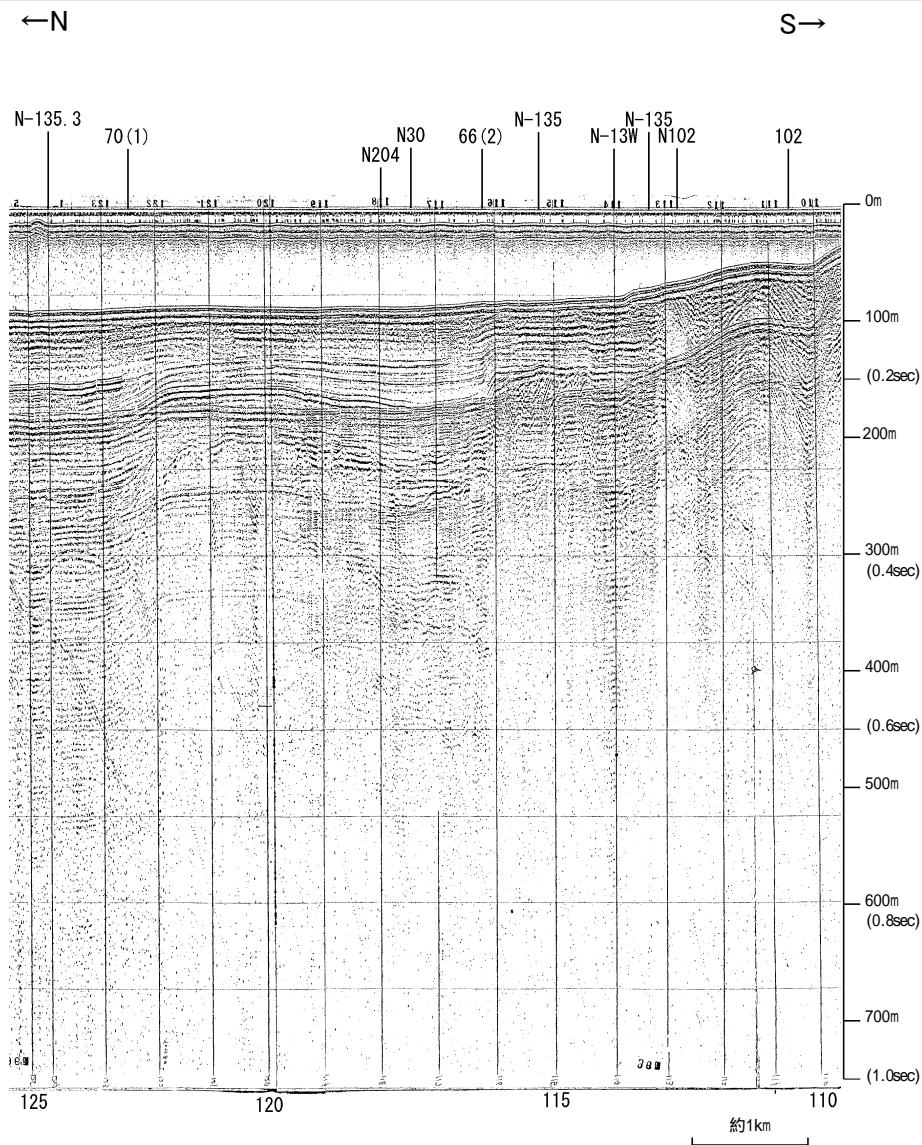


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	A層	B層
	後期	Q層	B層
	中期	B層	B層
	前期	C層	B層
第三紀	新第三紀	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層

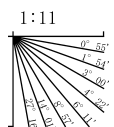


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 96



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>1</sub> 層
第三紀	中新世	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>1</sub> 層	

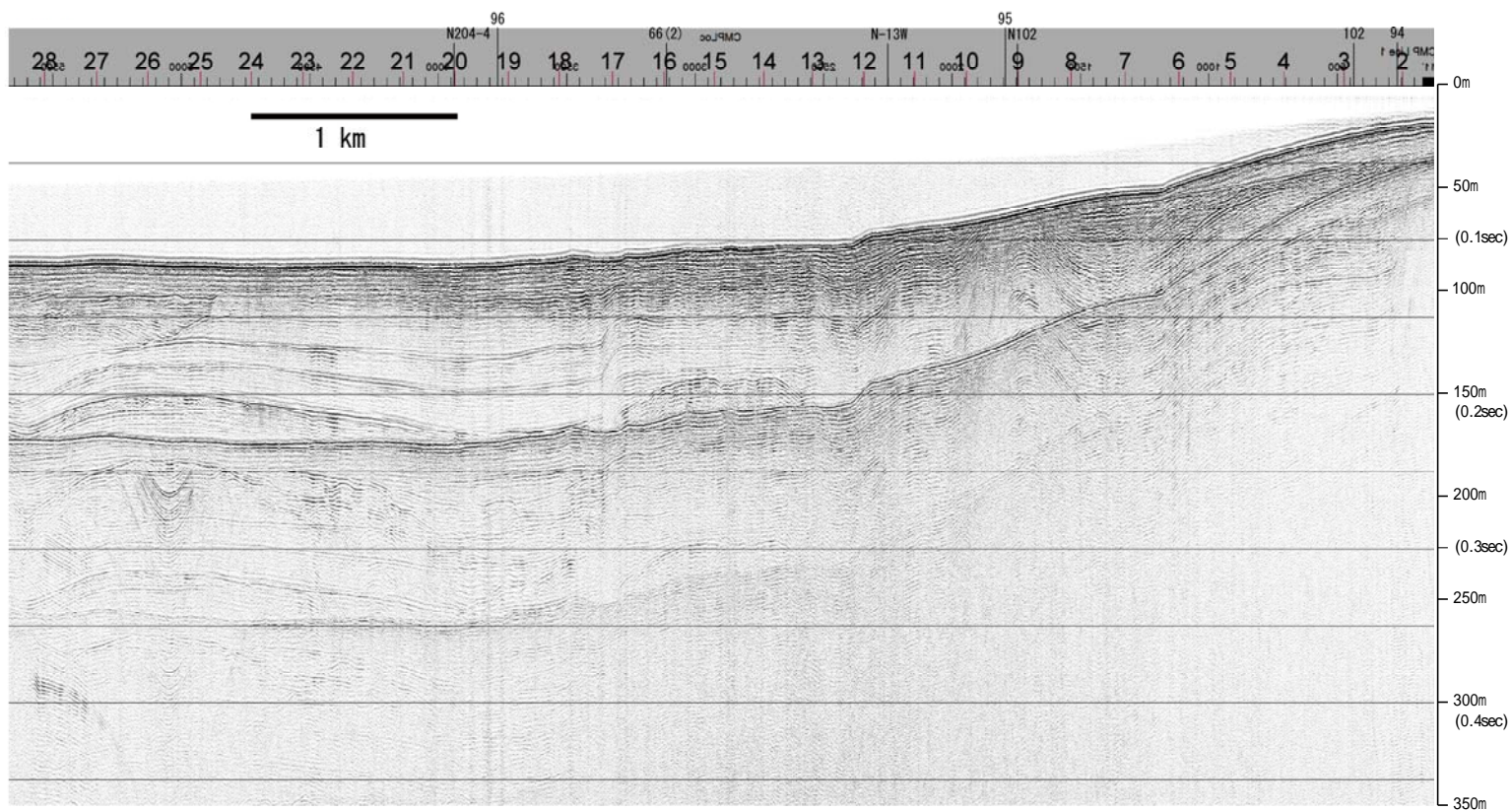


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

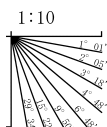
# 産総研ブーマー N30

←NNW

SSE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	D層

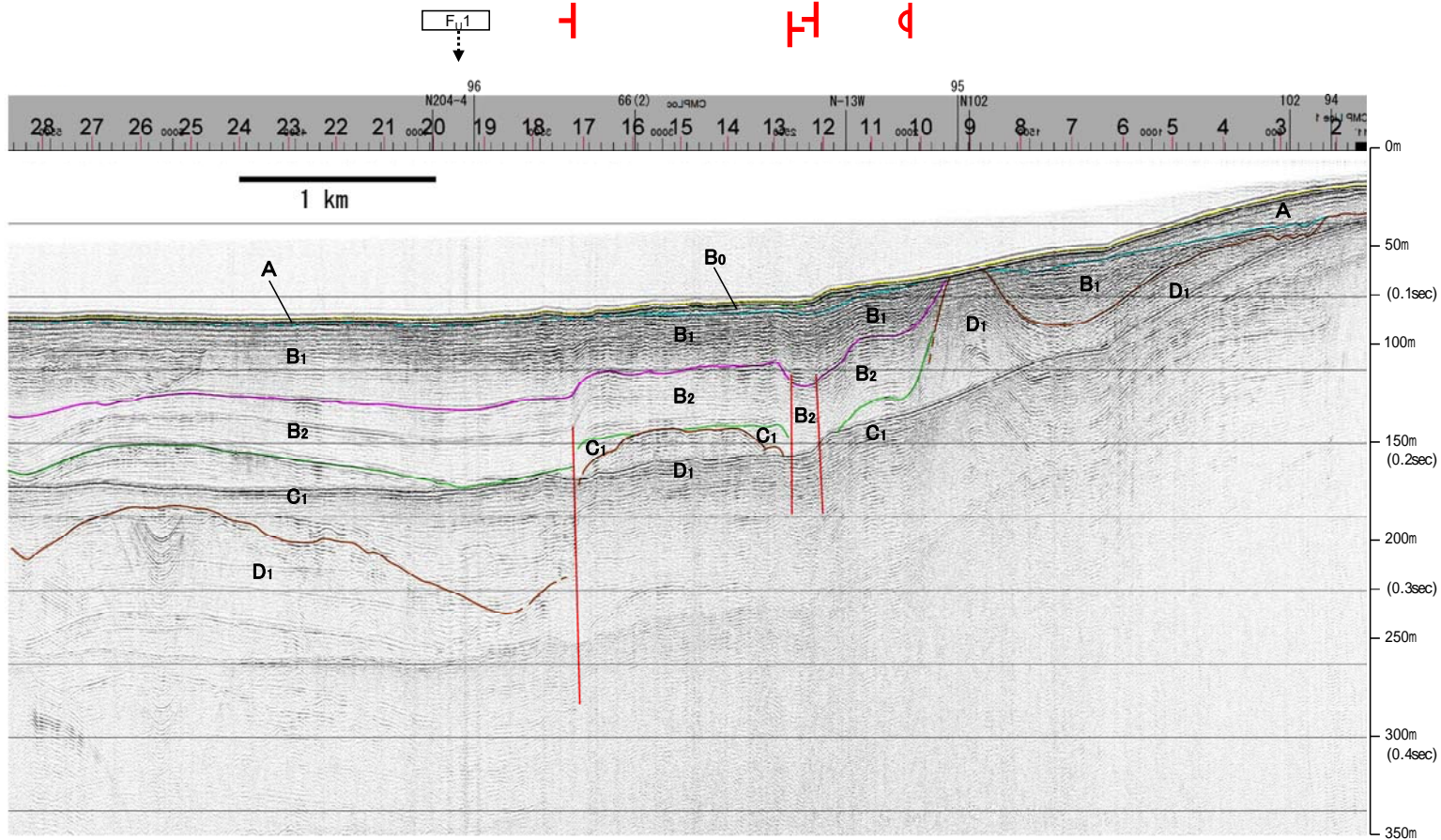




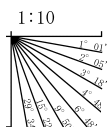
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯



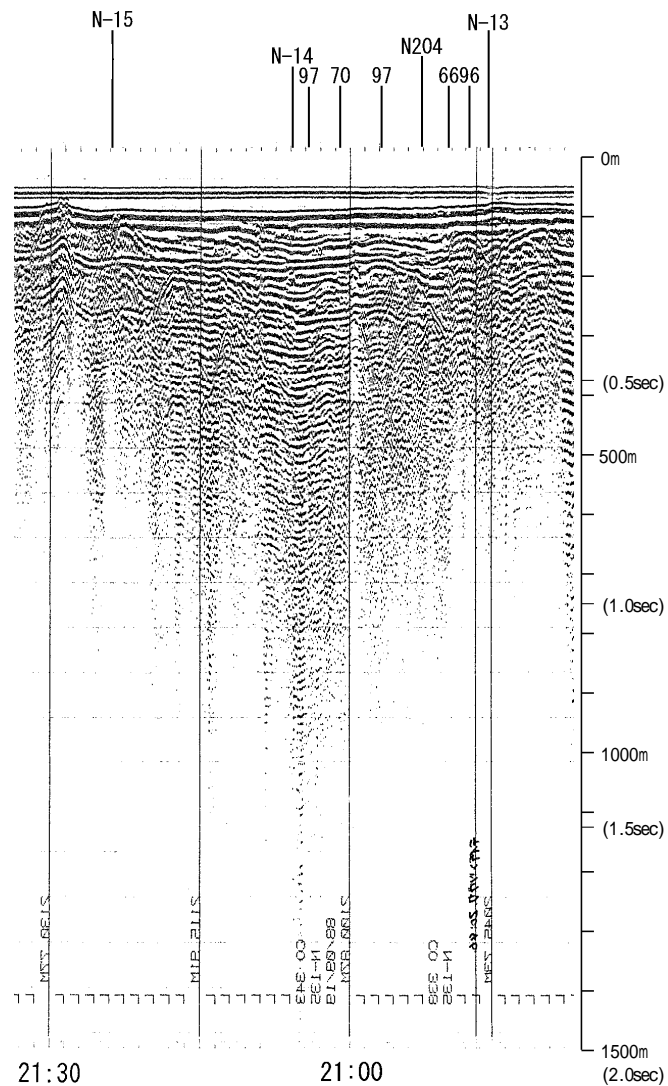
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	鮮新世	C <sub>1</sub> 層
	中新世	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>2</sub> 層
先第三紀		D <sub>3</sub> 層



※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-135

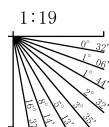
←NW SE→



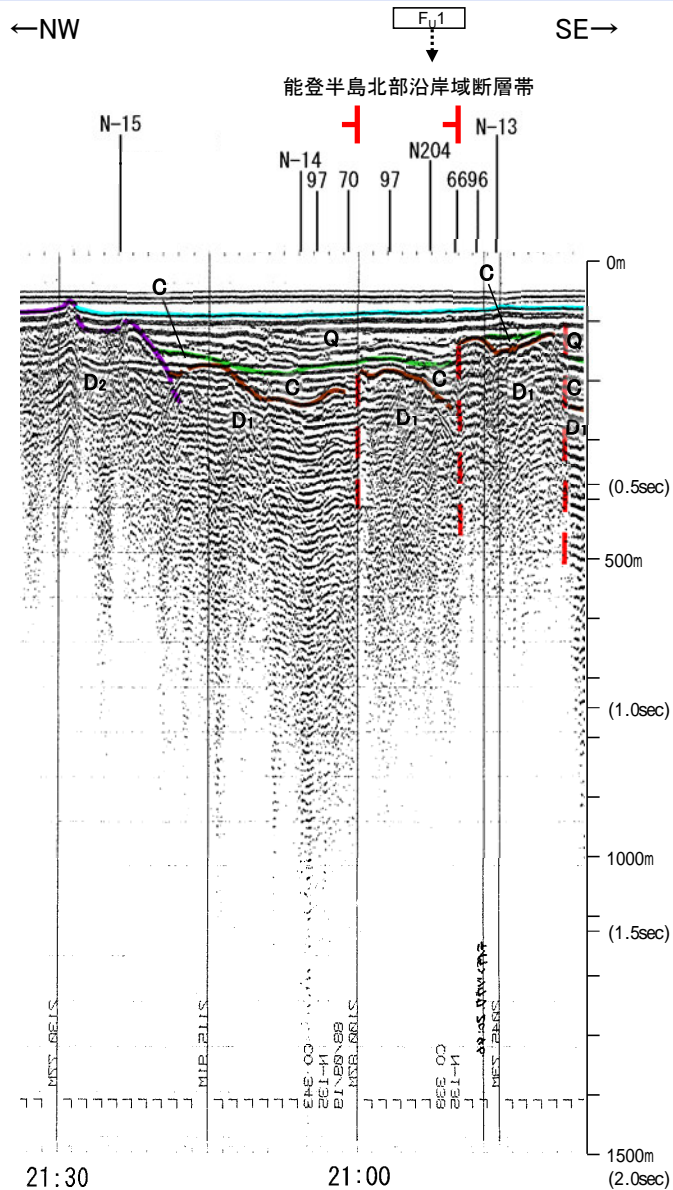
21:30  
9/19

21:00  
約5km  
1500m (2.0sec)

地質時代	地層名
第四紀 更新世	A層
	B <sub>1</sub> 層
	B <sub>2</sub> 層
	B <sub>3</sub> 層
中期	B層
	B層
前期	C層
	C層
第三紀 新第三紀	D層
	D層
古第三紀	D層
	D層
先第三紀	D層



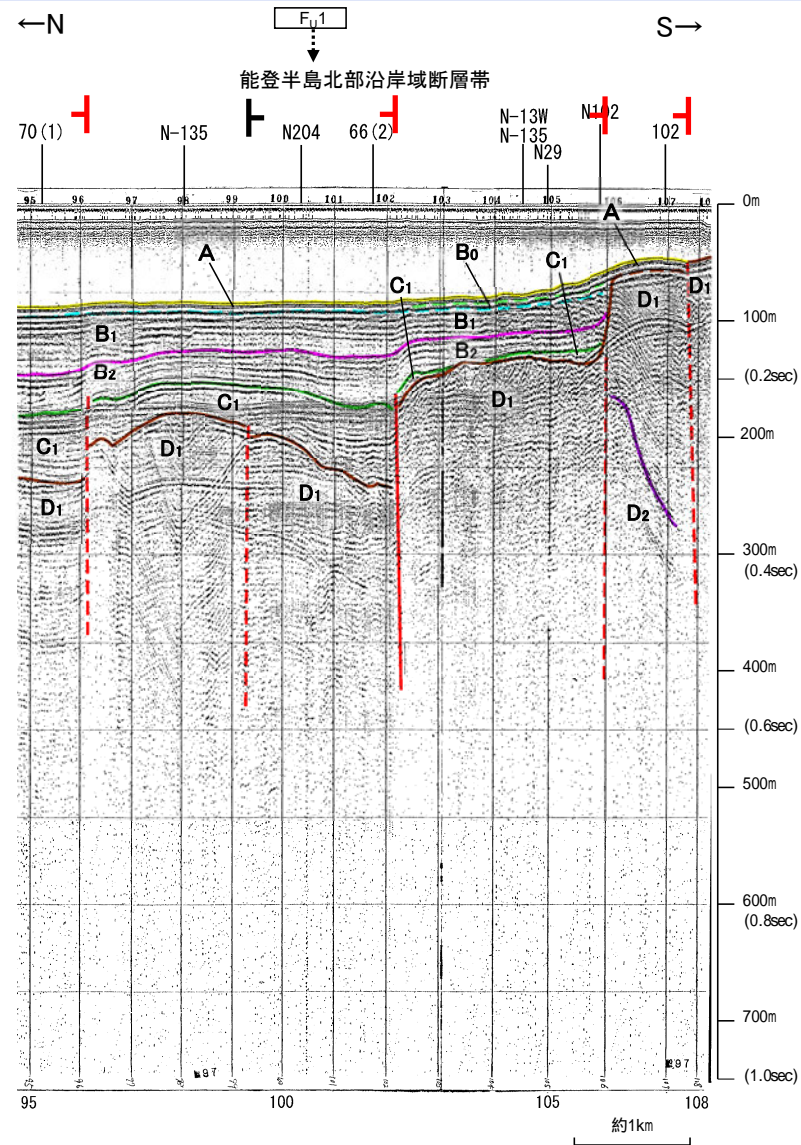
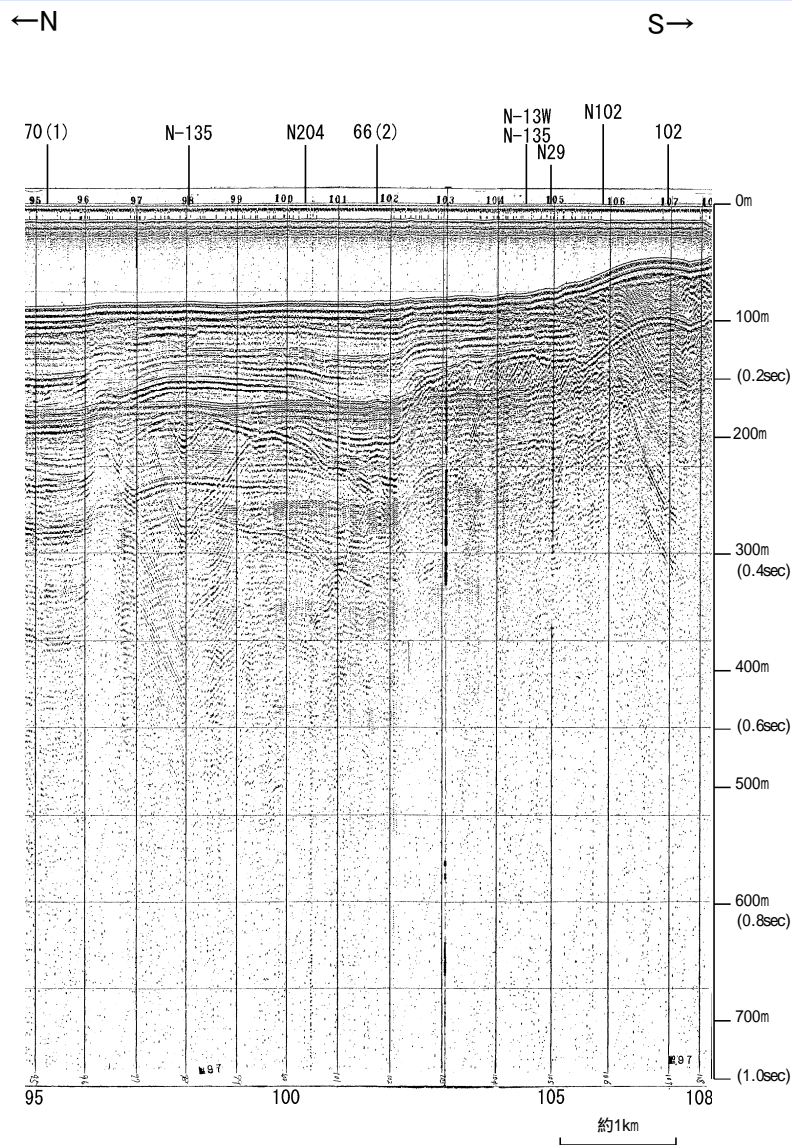
←NW SE→



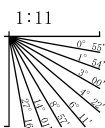
21:30  
9/19

21:00  
約5km  
1500m (2.0sec)

# 海上保安庁スパーカー 97



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	中新世	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	

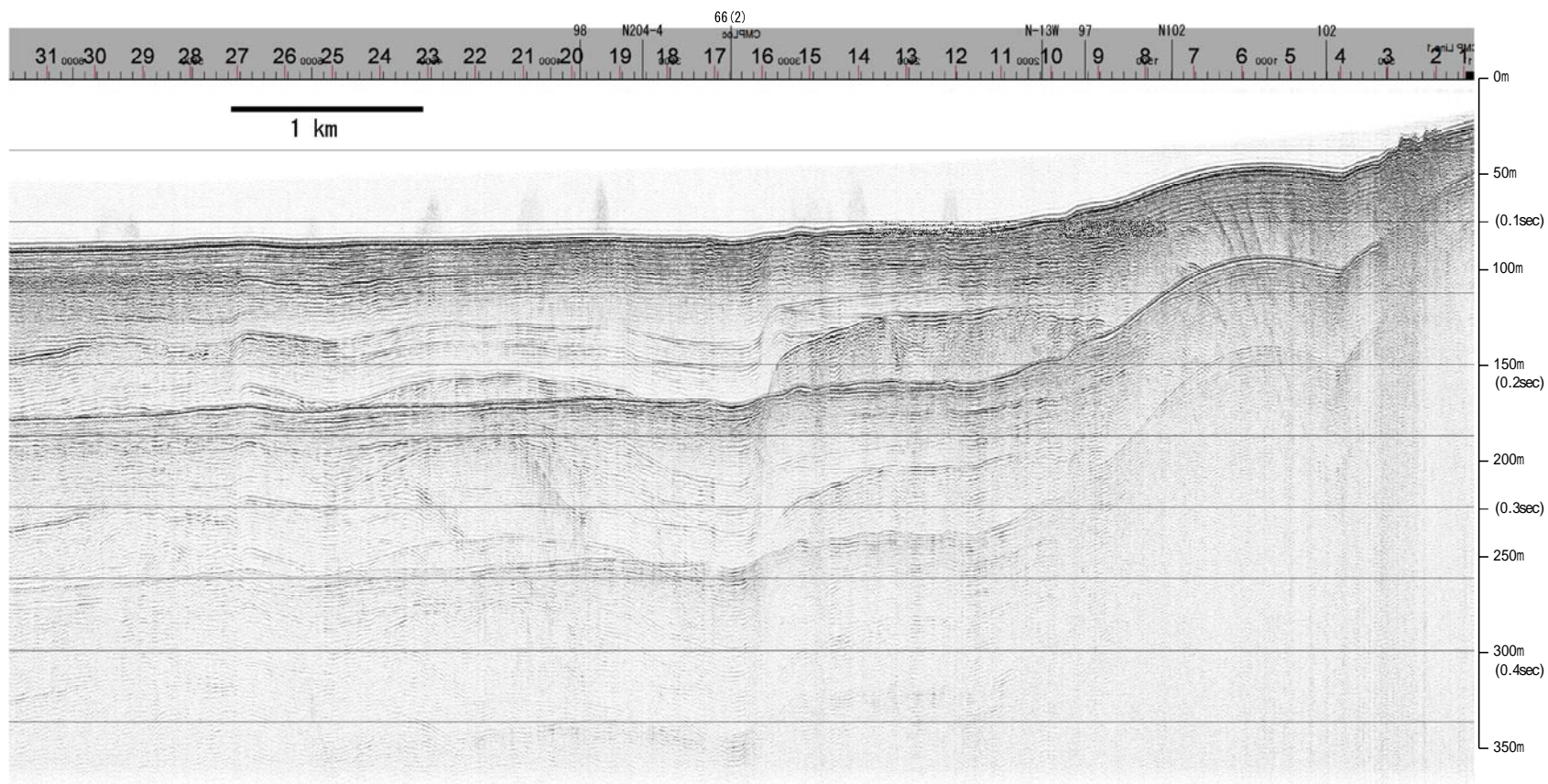


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

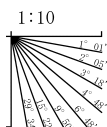
# 産総研ブーマー N29

←NNW

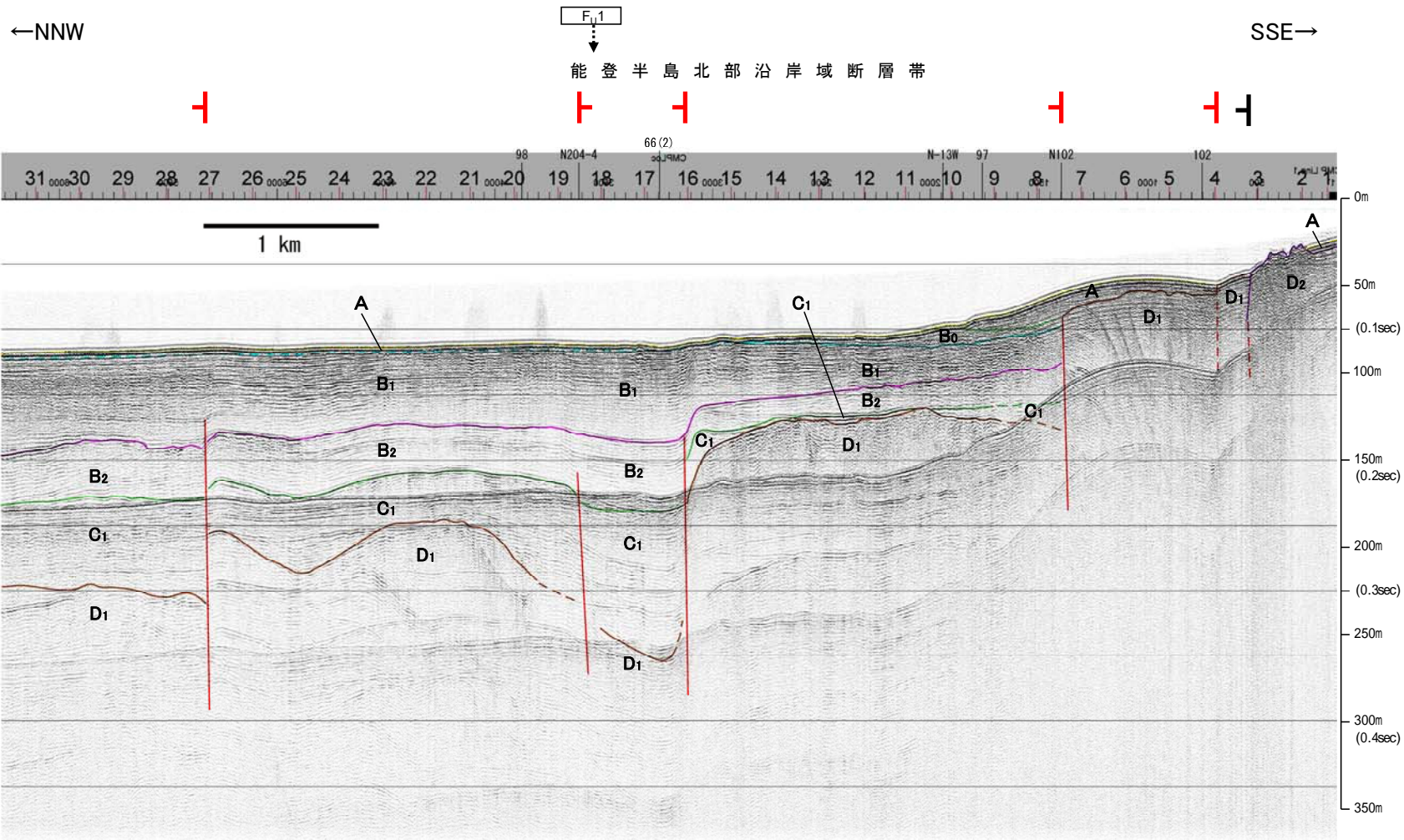
SSE→



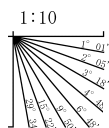
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	新第三紀	C層	
第三紀	中新世	C層	
	古第三紀	D層	
	先第三紀	D層	



# 産総研ブーマー N29

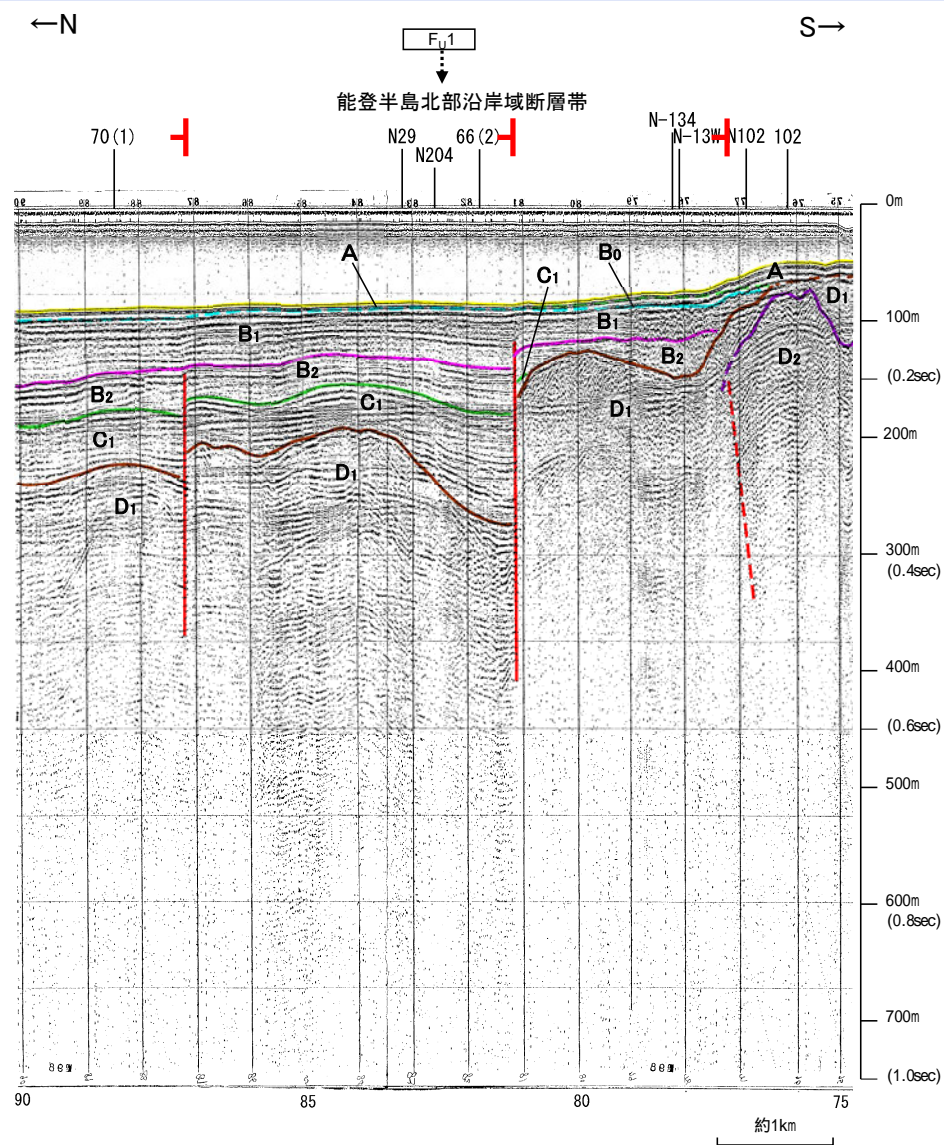
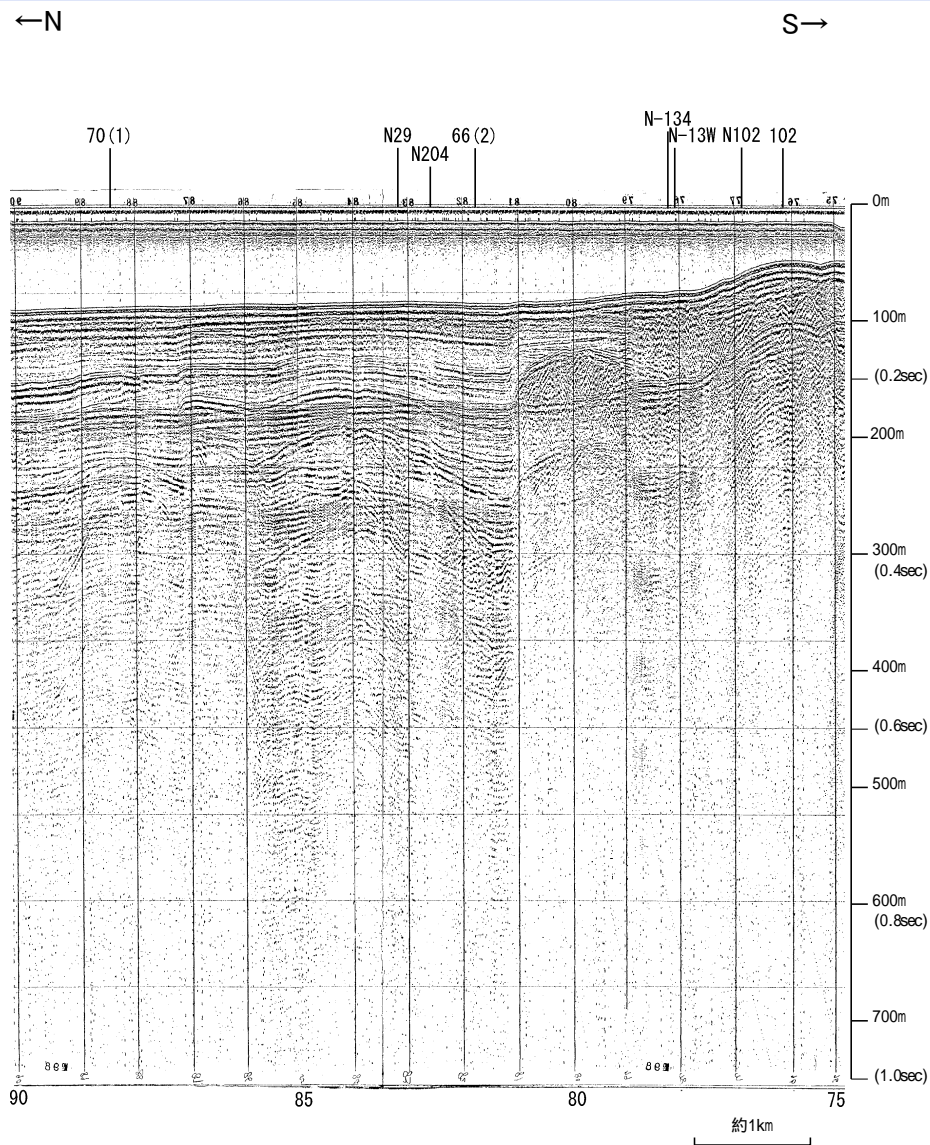


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>1</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層

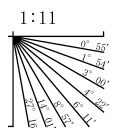


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 98

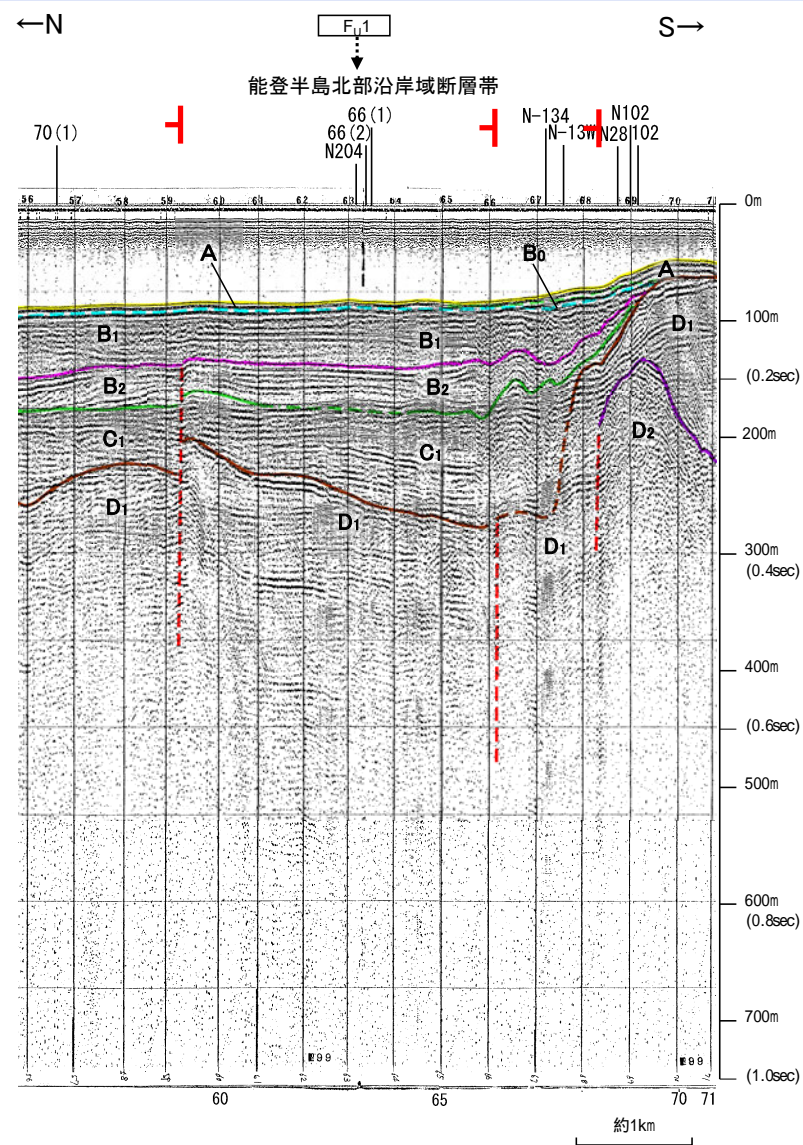
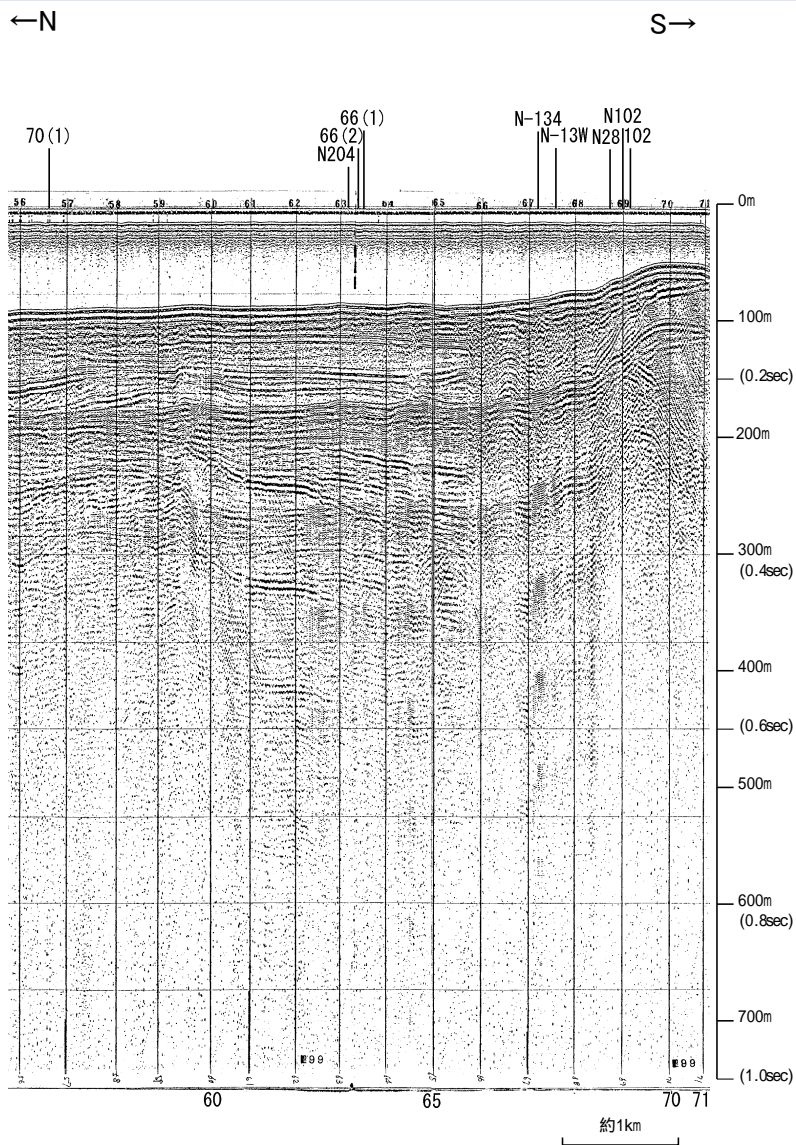


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>0</sub> 層
	中期	B <sub>1</sub> 層
	前期	B <sub>2</sub> 層
第三紀	新第三紀	C <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	

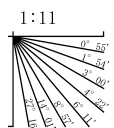


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 99

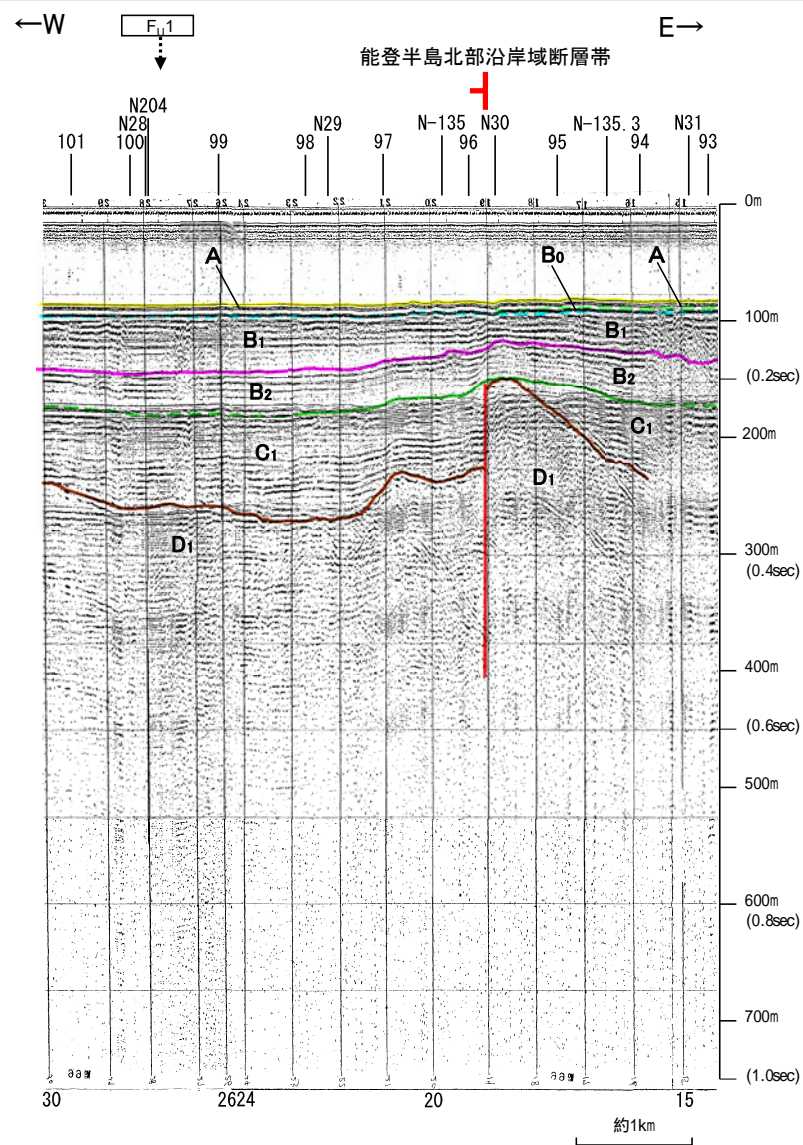
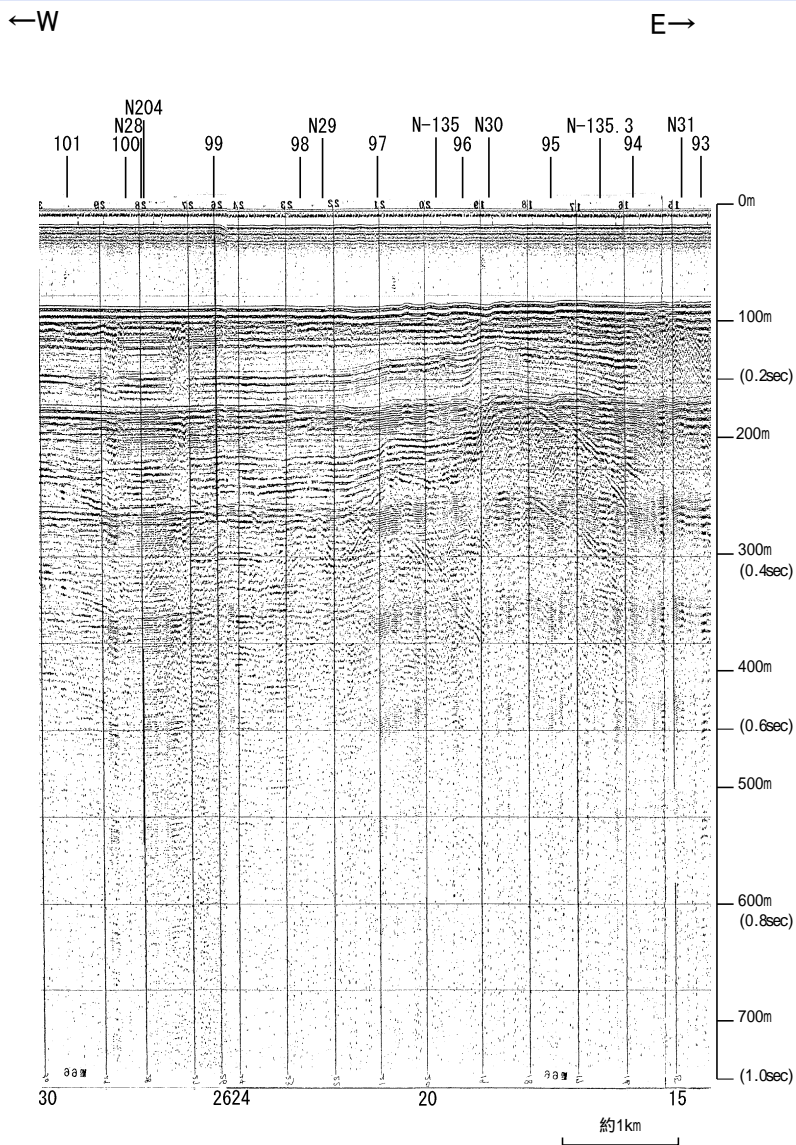


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D <sub>1</sub> 層

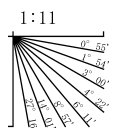


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 66(1),66(2)



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B <sub>0</sub> 層
	中期	B <sub>1</sub> 層 B <sub>2</sub> 層
	前期	C <sub>1</sub> 層
第三紀	中新世	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D <sub>2</sub> 層
先第三紀		



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである